Test-4-X

www.test-4-x.com/cdl

Canada • Ontario Class A (CDL)

Ontario

Study Guide

KNOWLEDGE POINTS	CHAPTERS	EDITION
395	98	2026-10-18

© 2026 Test4X. All rights reserved.
For personal study use. Not for resale or redistribution.

Questions or corrections: support@test-4-x.com

Disclaimer

This study guide is compiled from official government handbooks and other publicly available sources, for educational purposes only. It is intended to help you study and prepare; it does not constitute legal or professional advice.

Rules and regulations change. Always refer to the official handbook published by your licensing authority for the most current and authoritative information. The publisher assumes no liability for any decision made on the basis of this material.

This publication is independent. It is not affiliated with, endorsed by, or sponsored by any licensing or examining authority. All trademarks are the property of their respective owners.

Edition 2026-10-18 • 395 knowledge points • 98 chapters

Spotted an error, or have a question about this guide?
support@test-4-x.com

Contents

01	Turning (Right and Left Turns)	1
02	Warning signs	3
03	Brakes - Brake Fluid	8
04	Getting your licence	10
05	Right turns	13
06	Legislation	15
07	Driver's Licence Classification Chart	16
08	Backing	17
09	Temporary condition signs	21
10	Suspension System	23
11	Vehicle safety, maintenance and daily inspections	24
12	Left turns	27
13	Suspension system	28
14	Precautions and Driver Conduct	30
15	Tires	32
16	Uncoupling and coupling of combinations (class A only)	34
17	Definitions	36
18	Information and direction signs	37
19	A and D Licence Classes and Requirements	39
20	Sharing the Road	41
21	Other signs	44
22	Wheels, Hubs and Fasteners	47
23	Wheels, hubs and fasteners	48
24	Commercial Vehicle Impoundment Program	49
25	Precautions	50
26	Class A or D Road Test	51

© 2026 Test4X • www.test-4-x.com/cdl • support@test-4-x.com

Contents (cont.)

27	Yielding the Right-of-Way	52
28	Traffic lights	53
29	In-cab Check	57
30	Hours of service	58
31	Driver conduct	60
32	In-cab check	62
33	Interior Inspection	63
34	Driving — classes A and D	65
35	Sharing the road	70
36	Interior inspection	72
37	Commercial Vehicle Operator Registration (CVOR)	74
38	Driving in Roundabouts	75
39	Pedestrian signals	76
40	Size and Weight Limits for Commercial Motor Vehicles	77
41	Driving at Night and in Bad Weather	78
42	Pavement markings	80
43	Uncoupling and Coupling Test	82
44	Yielding the right-of-way	83
45	Uncoupling and coupling test	84
46	Vehicle Safety, Maintenance and Daily Inspections	85
47	Skids and Braking Systems	87
48	Keeping your licence	88
49	Backing Skills Test	91
50	Backing skills test	92
51	Driving in roundabouts	93
52	Cargo Securement	94

Contents (cont.)

53	Snow, Ice and Whiteouts	95
54	The demerit point system	96
55	On-road Driving Test	97
56	Driving at night and in bad weather	98
57	The demerit point system and losing your licence	102
58	On-road driving test	104
59	Dealing with Particular Situations	105
60	Road test	107
61	Left and Right Turns	109
62	Dealing with particular situations	111
63	Left and right turns	113
64	Annual Inspection Certificate	115
65	Daily Trip Inspection — Classes A and D	116
66	Emergency Vehicles	118
67	Daily inspection test	119
68	Intersections	122
69	Emergency vehicles	123
70	Uncoupling and Coupling of Combinations (Class A only)	124
71	Dealing with Emergencies	126
72	Lane Changes	128
73	Dealing with emergencies	129
74	Air brake inspection items	132
75	Lane changes	134
76	Traffic Signs and Lights	135
77	Driving Along	137
78	Traffic signs and lights	138

Contents (cont.)

79	Coupling and mechanical inspection items	140
80	Driving along	142
81	Hours of Service	143
82	Curve	145
83	Expressway	146
84	Driving — Classes A and D: Starting and Moving	147
85	Brake Inspection and Use of Brakes	149
86	Roadside Stop/Start	151
87	Roadside stop/start	152
88	Parking and Stopping	153
89	Performance Categories	154
90	Performance categories	155
91	Stopping at Railway Crossings	156
92	High Occupancy Vehicle (HOV) Lanes	157
93	Stopping at School Crossings and for School Buses	158
94	Driving Efficiently - Smart Driving Practices	159
95	Driving efficiently	160
96	Stopping for Pedestrian Crossovers	161
97	Mandatory Vehicle Branding Program	162
98	Clearances, Turns and Steering	163

CHAPTER 1

Turning (Right and Left Turns)

1.1 連結車両におけるオフトラックの理解

セミトレーラーユニットのような連結車両では、トラクタユニットの後輪にオフトラックが生じ、セミトレーラーの後輪ではさらに大きなオフトラックが生じます。オフトラックの大きさは、連結車両の長さと各ユニットのホイールベースによって決まります。運転者は、後輪が縁石や歩道を乗り越えないように、オフトラックを考慮しなければなりません。

- ✓ セミトレーラーの後輪は、トラクタユニットの後輪よりもオフトラックが大きい。
- ✓ オフトラックの大きさは、連結車両の長さと各ユニットのホイールベースによって決まる。
- ✓ 可能であれば、曲がるために車線変更をしない。

1.2 大型車で右折する

交差点で右折するときは、後輪が縁石や歩道を乗り越えないように、オフトラックの量に応じて旋回弧を先行させて取る必要があります。曲がり始める前に交差点内へ十分に進入してください。入る道路よりも出る道路から多くのスペースを使います。車線の左側に寄り、入る道路のスペースを使って曲がってください。

- ✓ オフトラックの量に応じて旋回弧を先行させて取る
- ✓ 入る道路よりも出る道路から多くのスペースを使う
- ✓ 中央線を越えたり、入った道路の第2車線に進入したりしなければならない場合がある
- ✓ トラクターがトレーラーに対して旋回の最も急な地点にあるときが限界点です。右側のバックミラーを通した視界が制限されるためです

1.3 オフトラックを考慮した左折

左折するときは、オフトラックを認識し、それを考慮に入れなければなりません。左側の外部ミラーを使ってトレーラーの軌道を監視してください。そうしないと、トレーラーが島にある車両や標識柱に衝突するおそれがあります。車両を中央線のすぐ右側の適切な位置に戻す前に、大きく弧を描いて曲がってください。

- ✓ 左折中は左側の外部ミラーを使ってトレーラーの軌道を監視する
- ✓ 車両を中央線のすぐ右側の適切な位置に戻す前に、大きく弧を描いて曲がる
- ✓ 速度を上げ、安全なときは右車線に移動する

1.4 曲がる際の車線封鎖

狭い道路でトラクター・トレーラーを運転するときは、後輪が縁石に乗り上げずに角を曲がるために、左車線の一部または全部を使う必要がある場合があります。別の交通車線をふさぐ必要があるときは、小型車両、オートバイ、自転車運転者があなたの車両の右側に沿って前に出ようとしていないことを確認してください。

- ✓ 細心の注意を払い、その動作が安全に行えることを確認してください
- ✓ 車線をふさぐときは、小型車両、オートバイ、自転車運転者があなたの車両の右側に沿って前に出ていないことを確認してください

CHAPTER 2

Warning signs

2.1 警告標識の目的と形状

警告標識は、前方のカーブ、曲がり角、路面のくぼみ、側道などの危険または異常な状況を運転者に知らせます。通常は黄色地に黒い文字や記号のひし形です。

- ✓ 警告標識は黄色地に黒い記号のひし形です
- ✓ 前方のカーブ、曲がり角、路面のくぼみ、側道などの危険を警告します

2.2 高さ制限（垂直クリアランス）とトラック固有の警告

最大垂直クリアランス標識（例：3.9メートル）は、構造物が高さのある車両を通せない可能性があることを示します。高さのある車両の運転者は別の経路を選ばなければなりません。その他の標識は、半径の小さいカーブではトラックに減速を促し、10トン超のトラックは道路を使用しないよう警告し、またはトラック／バス／消防車の入口を示します。

- ✓ 高さが表示された最大垂直クリアランスを超える高さのある車両は、別の経路を取らなければなりません。
- ✓ 右／左のトラック記号は、トラック入口がどちら側にあるかを示します。
- ✓ 10トン超のトラックは、標識された道路を使用しないよう勧告される場合があります。

2.3 鉄道、動物、歩行者への警告

標識は、鉄道踏切（線路が道路を横切る角度を示す）、スノーモービル横断、シカ横断、凸凹／不均一な舗装、落石、道路上の水、歩行者、学校関連の横断および隠れたスクールバス停について警告します。

- ✓ 鉄道踏切の標識では速度を落とし、列車に注意してください
- ✓ 隠れたスクールバス停では速度を落とし、赤いライトが点滅しているバスに注意してください
- ✓ 学校の横断では、横断歩道指導員の指示に従ってください

2.4 警告標識の外観と目的

警告標識は、前方にある危険または異常な状況（カーブ、曲がり角、路面のくぼみ、側道など）を運転者に知らせます。通常、ひし形で、黄色地に黒い文字または記号が表示されています。

- ✓ 警告標識は、黄色地に黒い文字または記号が表示されたひし形です
- ✓ 前方のカーブ、曲がり角、路面のくぼみ、側道、その他の危険を警告します

2.5 垂直クリアランスと高さ超過標識

最大垂直クリアランス標識（例：3.9 m）は、前方の構造物が背の高い車両のための空間を確保していない可能性があることを示すため、背の高い車両の運転者は別ルートを選ぶ必要があります。OVERHEIGHT標識も同じ状況を警告します。

- ✓ 3.9 mのクリアランス標識は、背の高い車両が別ルートを選ばなければならないことを意味します
- ✓ 高さ超過標識は、構造物が背の高い車両のための空間を提供していない可能性があることを警告します

2.6 トラック特有のカーブおよび重量警告

一部の警告標識は、カーブの半径が小さいため、トラックにそのカーブ付近で減速するよう促しています。MAXIMUM 10 tonnes の標識は、10トンを超えるトラックにその道路を使用しないよう勧告しています。

- ✓ トラックは半径の小さいカーブでは減速すべきです
- ✓ 10トンを超えるトラックは、その制限を掲示している道路を使用しないよう勧告されます

2.7 分離道路および車線の警告

標識は、分離道路が始まる場所（右側通行、各道路は一方通行）、終わる場所（前方の同じ道路で対面通行、右側通行）、右車線の終了（左へ安全に合流）、前方の信号機、前方の急勾配（低速ギアを使用）、および2つの道路が1つに合流する場所を警告します。

- ✓ 分離道路の開始/終了標識では、右側の道路を通行する
- ✓ 右車線が終了するときは、左車線の交通と安全に合流する
- ✓ 急勾配の警告では、低速ギアを使用する必要がある場合があります
- ✓ 2つの道路が合流する場所では、両方の運転者が安全に合流する同等の責任があります

2.8 スクールバスおよび学校横断の警告

隠れたスクールバス停車場の警告は、減速し、特に注意して運転し、子どもと赤色灯が点滅しているスクールバスに注意することを意味します。学校横断標識は、子どもに注意し、横断歩道指導員または安全パトロール員の指示に従うことを意味します。

- ✓ 隠れたスクールバス停車場の標識では、減速し、赤色灯が点滅しているバスに注意してください。
- ✓ 学校横断では、横断歩道指導員または安全パトロール員の指示に従ってください。

2.9 カーブ、交差点、ラウンドアバウトの警告

警告標識は、狭い橋、分岐道路、前方の交差点（矢印は優先権のある方向を示す）、ラウンドアバウト（速度を落とし、反時計回りの矢印は交通の流れを示す）、見えにくい交通状況、道路幅の減少、およびさまざまな程度の曲がり/カーブを示します。

- ✓ ラウンドアバウトに近づくときは速度を落とす。交通は反時計回りに流れる。
- ✓ 交差点標識の矢印は、どちらの方向に優先権があるかを示す。

2.10 カーブ速度とシェブロン標識

カーブ警告標識の下に設置された標識は、そのカーブの最大安全速度を示します。シェブロン（矢印形）標識は、急カーブで運転者を誘導するためにグループで設置されます。チェッカーボードの縁取りがある急な曲がり角/転回標識は危険を警告し、速度を落とす必要があることを示します。

- ✓ カーブ警告標識の下の速度標識は、そのカーブの最大安全速度を示す
- ✓ シェブロン標識は、急カーブで運転者を誘導するためにグループで設置される
- ✓ チェッカーボードの縁取りは、急な曲がり角での危険を警告する

2.11 危険、追越し、車線終了の警告

標識は、濡れると滑りやすい路面、道路端に近い危険物(下向きの線は安全に通過できる側を示す)、中央分離帯のある道路の始まりと終わり、右車線の終了(左に合流)、車線の合流、より低いギアが必要になる急坂を警告する。

- ✓ 危険標識の下向きの線は、安全に通過できる側を示している
- ✓ 右車線が終了するときは、左側の交通と安全に合流しなければならない
- ✓ 急な下り坂では低いギアを使用する

2.12 進入警告標識（トラック、バス、消防車）

これらの標識は、トラック、バス、消防車が右側（記号が左側に示されている場合は左側）に進入してくることを警告します。運転者は、これらの車両が道路に進入することに注意しなければなりません。

- ✓ トラック/バス/消防車の進入は、記号が左側に示されている場合を除き、右側です。
- ✓ 前方の道路に進入してくるこれらの車両に備えてください。

2.13 道路形状の警告標識

標識は、狭い橋、分岐する道路、前方の交差点（矢印はどの方向に優先権があるかを示す）、前方のラウンドアバウト（反時計回りの矢印）、側道の見通し不良、道路幅の減少、車線終端の合流を警告します。

- ✓ 交差点の矢印は、どの交通方向に優先権があるかを示します。
- ✓ ラウンドアバウトの反時計回りの矢印は、車両の通行方向を示します。
- ✓ ラウンドアバウトに接近するときは速度を落としてください。

2.14 カーブ、屈曲、シェブロン警告

標識は緩やかなカーブ、急カーブ／急旋回、曲がりくねった道路を警告する。カーブ警告標識の下に付けられた速度標識は、最高安全速度を示す。シェブロン（矢印形）標識は、急カーブで運転者を誘導するために群で設置される。

- ✓ カーブ警告標識の下の速度標識は、そのカーブの最高安全速度を示す
- ✓ シェブロン標識は、急カーブで運転者を誘導するために群で設置される

2.15 危険および路面の警告

標識は、昇開橋・旋回橋、舗装面の終了、自転車横断帯、前方の一時停止標識（減速）、対向車や自転車との道路共有、濡れると滑りやすい舗装路面、および下向きの線が安全に通過できる側を示す路肩の危険を警告します。

- ✓ 前方に一時停止標識があるときは減速する。
- ✓ 濡れると滑りやすい舗装路面では、減速して注意深く運転する。
- ✓ 危険マーカーでは、下向きの線が安全に通過できる側を示している。

2.16 横断、凹凸、鉄道の警告

標識は、スノーモービルの横断、シカの横断、凹凸や不均一な舗装（速度を落とし、制御を維持する）、鉄道踏切（列車に注意。標識は踏切の角度を示す）を警告する。市松模様の縁取りが付いた矢印は、急な危険カーブを警告する。

- ✓ 鉄道踏切の標識では、列車に注意し、踏切の角度を確認する
- ✓ 凹凸や不均一な舗装では、速度を落とし、制御を維持する
- ✓ 市松模様の縁取りは、急カーブでの危険を警告する

2.17 速度、歩行者、危険に関する警告

標識はランプ上の最大安全速度を示し、歩行者と道路を共有するよう警告し、落石に注意して衝突を避ける準備をし、道路に水が流れていることを警告します。

- ✓ ランプ速度標識は、そのランプの最大安全速度を示しています
- ✓ 落石や道路上を流れる水に注意し、避ける準備をしてください

CHAPTER 3

Brakes - Brake Fluid

3.1 ブレーキフルード液面の不具合

ブレーキフルードは油圧ブレーキシステムが作動するために必要です。ブレーキフルードが失われると、ブレーキが誤作動したり完全に故障したりするおそれがあります。点検時はボンネットを開け、ブレーキフルードリザーバーを確認します。

- ✓ 軽微な不具合：ブレーキフルードの液面が製造元の定めた下限マークを下回っている
- ✓ 重大な不具合：リザーバーが4分の1未満しか入っていない
- ✓ 重大な不具合：ブレーキフルードの漏れが認められる

3.2 ブレーキフルードの液量とリザーバーの欠陥

ブレーキフルードは油圧ブレーキシステムが作動するために必要です。液量不足や漏れは、ブレーキの不具合や故障を引き起こす可能性があります。受験者は、製造元の表示に対するリザーバー液量に基づき、軽微な欠陥と重大な欠陥のしきい値を区別しなければなりません。

- ✓ 軽微な欠陥：ブレーキフルードの液量が製造元の最低表示を下回っている
- ✓ 重大な欠陥：ブレーキフルードのリザーバーが4分の1未満しか入っていない
- ✓ 点検時にはボンネットを開け、フルードが最低表示を上回っており、リザーバーが少なくとも4分の1以上入っていることを確認します。

3.3 ブレーキフルード漏れ

漏れによるブレーキフルードの損失は、ブレーキの誤作動や完全な故障を引き起こす可能性があります。目立つブレーキフルード漏れは重大な欠陥です。フルード漏れの痕跡がないか、リザーバーとその周辺を目視で点検してください。

- ✓ ブレーキフルード漏れが目立つ場合、重大な欠陥が存在します
- ✓ ブレーキフルード漏れがないことを確認するため、ブレーキフルードリザーバーを点検してください

3.4 ブレーキフルード点検手順

車両を運転する前に、ボンネットを開けてブレーキフルードのリザーバーを点検し、システムに十分なフルードがあり、漏れがないことを確認してください。

- ✓ ブレーキフルードが最低必要量を上回っていることを確認する
- ✓ ブレーキフルードの漏れがないことを確認する
- ✓ リザーバーの液量が4分の1以上あることを確認する

CHAPTER 4

Getting your licence

4.1 運転免許分類表

オンタリオ州の免許は車両の種類によって分類されています。クラスAでは、あらゆるトラクター・トレーラー連結車を運転でき、クラスDおよびGの車両も運転できます。クラスDでは、総重量/登録重量が11,000kgを超える自動車、または牽引車両が4,600kgを超えないことを条件に、あらゆるトラック/連結車を運転でき、クラスGの車両も運転できます。クラスGは、乗用車、バン、小型トラック、または総重量11,000kg以下で牽引車両が4,600kgを超えない連結車を対象とします。

- ✓ クラスAでは、あらゆるトラクター・トレーラー連結車を運転でき、クラスDおよびGの車両も運転できます。
- ✓ クラスDでは、牽引車両が4,600kgを超えない場合に総重量11,000kgを超える車両を運転でき、クラスGの車両も運転できます。
- ✓ クラスAでは、乗客を輸送するバス、オートバイ、またはモペットを運転することはできません。
- ✓ エアブレーキ装備の自動車を運転するには、「Z」エアブレーキ・エンドースメントが必要です。

4.2 フルClass A構成と制限付きClass A構成

Class A車両には、フル構成または制限付き構成があります。フル構成では、MGVWRが少なくとも4,600kgのトラック/トラクターとトレーラーの組み合わせ、およびトラック/トラクターとトレーラーの両方に完全なエアブレーキシステムが必要です。制限付き構成では同じMGVWRが必要ですが、トレーラーにエアブレーキが装備されていません。非フル車両で試験を受けると、AR（A Restricted）免許になります。

- ✓ フルClass Aには、少なくとも4,600kgのMGVWRと、両方の車両に完全なエアブレーキが必要です
- ✓ 制限付きClass Aには、少なくとも4,600kgのMGVWRが必要ですが、トレーラーにエアブレーキがありません
- ✓ 非フルClass A車両で試験を受けた運転者はAR免許を受け取り、フルClass A車両を運転できません

4.3 クラスAまたはD申請の最低要件

クラスAまたはD運転免許の申請者は、年齢、免許、知識、視力、医学、および路上試験の要件を満たさなければなりません。2026年5月11日以降、申請者はオンタリオ州の居住、カナダにおける合法的滞在、および就労資格を証明する書類も提出しなければなりません。

- ✓ 18歳以上であること
- ✓ 有効なオンタリオ州クラスG以上の免許または同等の免許を保有していること
- ✓ 知識試験に合格し、視力基準を満たし、満足のいく医学証明書を提出すること
- ✓ 適切な車両タイプでの路上試験において運転能力を証明すること

4.4 クラスAまたはDの路上試験要件

路上試験では、運転者は日常点検を実施し、装備の状態を挙げて説明します。クラスAの受験者はさらに、連結車両ユニットの切り離し・連結および後退を実演します。すべての受験者は交通の中で運転し、車両を安全に取り扱います。車両にエアブレーキがある場合は、車輪止め/ブロックを持参してください。

- ✓ すべての受験者は、点検項目とその状態を挙げて日常点検を実演しなければなりません。
- ✓ クラスAの受験者は、連結車両の切り離し、連結および後退を実演しなければなりません。
- ✓ 車両にエアブレーキが装備されている場合は、車輪止めまたはブロックを持参してください。

4.5 危険物の輸送

危険物には9つのクラスがあります。危険物を輸送する運転者は、現在の雇用主から訓練を受けなければならず、雇用主が必要な訓練レベルを決定し、修了時に証明書を発行します。この証明書は、危険物を輸送する際に携帯しなければなりません。

- ✓ 危険物には9つのクラスがある
- ✓ 訓練は現在の雇用主によって提供され、必要なレベルを決定する
- ✓ 危険物を輸送する際は証明書を携帯しなければならない

4.6 医療証明書の要件

クラスAまたはDの免許を申請する際は、完了した適切な省の医療証明書を提出する必要があります。医師および検眼士は、安全な運転に影響を与える可能性のある状態を報告するよう法律で義務付けられています。その状態がハイウェイ交通法の基準を満たさない場合、申請は却下されます。

- ✓ クラスAまたはDの申請には、完了した適切な省の医療証明書が必要です
- ✓ 医師および検眼士は、安全な運転に影響する状態を報告しなければなりません
- ✓ 身体/医学的状態がHTA基準を満たさない場合、申請は却下されます

4.7 商用車両運行者登録（CVOR）

CVORは、オンタリオ州におけるトラックおよびバスの運行の安全実績を追跡します。CVOR証明書は、プレートに記載された重量/実際の重量が4,500kgを超えるトラックおよび10人以上の乗客用に設計されたバスに必要です。オンタリオ州内を走行する、オンタリオ州、米国、メキシコのナンバープレートを付けた車両に適用されます。初回申請手数料は$255です。

- ✓ 4,500kgを超えるトラックまたは10人以上の乗客用に設計されたバスにはCVOR証明書が必要です
- ✓ CVOR記録項目は違反日から5年間保持されます
- ✓ オンタリオ州交通省は、容認できない記録がある場合、CVOR証明書、ナンバープレートおよび許可証を停止または取り消すことがあります

4.8 大きさと重量の制限

商用自動車は、積載物を含めて幅2.6m（8.5ft）、高さ4.15m（13.6ft）に制限され、連結車両は長さ23m（75.5ft）に制限されます。セミトレーラーは、特別要件を満たす場合、14.65m（48ft）または16.2m（53ft）に制限されます。総重量は、HTA第VII部に基づく上限を超えることはできません。

- ✓ 最大幅は2.6メートル（8.5ft）、最大高さは4.15メートル（13.6ft）です。
- ✓ 承認されたダブルトレーラー連結車両を除き、いかなる連結車両も23メートル（75.5ft）を超えてはなりません。
- ✓ セミトレーラーは、特別要件を満たす場合、14.65mまたは16.2mに制限されます。
- ✓ 運転者、運行事業者、荷主はすべて車両重量に責任を負います。

CHAPTER 5

Right turns

5.1 オフトラックに備えた旋回弧の先行

セミトレーラーなどの連結車両にはオフトラックがあり、後輪はトラクターの前輪よりも内側の軌跡を通ります。オフトラックの量は、連結車両の長さと各ユニットのホイールベースによって決まります。右折するときは、後輪が縁石や歩道を乗り越えないように、オフトラックの量に応じて旋回弧を先行させなければなりません。

- ✓ 右折時はオフトラックの量に応じて旋回弧を先行させる
- ✓ オフトラックの量は連結車両の長さとホイールベースによって決まる
- ✓ セミトレーラーの後輪はトラクターの後輪よりもオフトラックが大きい

5.2 交差点での右折のための位置取り

曲がり始める前に、交差点内に十分に入る必要がある場合があります。入ろうとしている道路よりも、出ようとしている道路のスペースをより多く使う方がよいです。可能な限り車線の左側に寄り、入ろうとしている道路のスペースを使って曲がってください。車両の種類と車線幅によっては、中央線を越えたり、入った道路の2番目の車線に入ったりしなければならない場合があります。

- ✓ 入ろうとしている道路よりも、出ようとしている道路のスペースをより多く使う
- ✓ 曲がる前に、可能な限り車線の左側に寄る
- ✓ 曲がり始める前に、交差点内に十分に入る必要がある場合があります

5.3 右折時に車線を塞ぐとき

狭い道路では、トラクター・トレーラーが後輪を縁石に乗せずに角を曲がるために、左車線の一部または全部を使う必要がある場合があります。細心の注意を払ってください。別の車線を塞がなければならないときは、小型車、オートバイ、自転車があなたの右側をすり抜けて前に出ていないことを確認してください。重要なのは、トラクターが曲がりの最も急な地点にあるときです。右側のバックミラーを通した視界が限られるからです。

- ✓ 車線を塞ぐときは、小型車、オートバイ、自転車が右側から前に出ていないことを確認する
- ✓ トラクターが曲がりの最も急な地点にあるときが重要な時点である
- ✓ 急な右折中は右側のバックミラーを通した視界が限られる

5.4 曲がるための車線変更

可能であれば、曲がるために車線を変更しないでください。急な曲がり角を曲がるために別の車線の一部を使用しなければならない場合、安全に、かつ交通を妨げることなく行われるようにする責任はあなたにあります。

- ✓ 可能であれば、曲がるために車線変更をしないでください。
- ✓ 別の車線の一部を使用する場合は、交通を妨げることなく安全に行われるようにしなければなりません。

CHAPTER 6

Legislation

6.1 トラック運転を規制する法律と規則

オンタリオ州のトラック運転は、道路交通法（Highway Traffic Act、HTA）および運転者、車両、設備、重量、乗客を対象とするその規制によって規制されています。主な規制には、商用自動車検査（Commercial Motor Vehicle Inspections、199/07）、運行時間（Hours of Service、555/06）、安全検査（Safety Inspections、611）、積荷の安全（Security of Loads、363/04）が含まれます。危険物輸送法（Dangerous Goods Transportation Act）は危険物の輸送を規制します。

- ✓ HTAおよびその規制は、運転者、車両、設備、重量、乗客数を規制する
- ✓ 危険物輸送法は、書類、取扱い、安全表示、運転者の認定を規制する
- ✓ 危険物には9つのクラスがある

6.2 危険物輸送トレーニング

危険物を輸送する運転者は、現在の雇用主からトレーニングを受けなければならず、必要なレベルは雇用主が決定します。完了すると、雇用主は危険物輸送時に携帯しなければならない証明書を発行します。

- ✓ 運転者は現在の雇用主から危険物トレーニングを受けなければならない
- ✓ 雇用主は危険物輸送時に携帯しなければならない証明書を発行する
- ✓ 危険物には、腐食性物質から環境有害物質まで、9つのクラスがある

CHAPTER 7

Driver's Licence Classification Chart

7.1 クラスA免許の権限

クラスA免許では、牽引される車両の総重量が4,600kgを超えるすべてのトラクター・トレーラー連結車を運転できます。所持者はクラスDおよびG車両も運転できます。乗客を乗せたバス、オートバイ、モペッドの運転は許可されません。

- ✓ クラスAでは、すべてのトラクター・トレーラー連結車を運転できます。
- ✓ クラスA所持者は、クラスDおよびG車両も運転できます。
- ✓ クラスAでは、乗客を乗せたバス、オートバイ、モペッドの運転は許可されません。

7.2 クラスD免許の権限

クラスD免許では、総重量または登録総重量が11,000kgを超える自動車、または牽引される車両が4,600kgを超えない限り、あらゆるトラック／連結車両を運転できます。所持者はクラスG車両も運転できます。乗客を乗せたバス、オートバイ、モペットは運転できません。

- ✓ クラスDでは、総重量または登録総重量が11,000kgを超える自動車を運転できます
- ✓ クラスDでは、牽引される車両は4,600kgを超えてはなりません
- ✓ クラスD所持者はクラスG車両も運転できます

7.3 エアブレーキ Z エンドースメント要件

エアブレーキを装備したすべての自動車を運転するには、運転免許証に「Z」エアブレーキエンドースメントが必要です。

- ✓ エアブレーキを装備したすべての自動車を運転するには、「Z」エンドースメントが必要です。
- ✓ Zエンドースメントは、あらゆる免許クラスに適用されます。

7.4 Class G免許の重量制限

Class Gでは、車、バン、小型トラック、または車両と牽引車両の組み合わせを、牽引車両が4,600kgを超えない場合に限り、総重量11,000kgまで運転できます。4,600kgを超える住宅用トレーラーを牽引するピックアップも、総連結重量が11,000kgを超えなければClass Gのままです。

- ✓ Class Gの連結制限は総重量11,000kgで、牽引車両は4,600kgを超えてはなりません
- ✓ ピックアップとトレーラーの連結重量が11,000kg未満であれば、トレーラーが4,600kgを超えていてもClass Gとみなされます

CHAPTER 8

Backing

8.1 後退時の注意事項と準備

事前に経路を計画することにより、後退の必要性をなくせる場合があります。角を曲がる際の後退を避けるため、ブロックを一周してください。交通の中へ後退して入るのではなく、前進して交通に合流してください。後退する前に適切な注意を払い、後退しなければならない区域を確認してください。

- ✓ 後退前：携帯電話/ラジオを切る、窓を開ける、四方向ハザードを点灯させる、クラクションを鳴らす
- ✓ 車両を降りて周囲を歩いて確認し、頭上障害物、電線、側方余裕、歩行者または物体を探す
- ✓ 両方のバックミラーを使用し、後方の死角を念頭に置く
- ✓ 後退警報装置は、後退時の運転者の責任を免除するものではない

8.2 直線後退技術

最も簡単で安全な後退操作は直線後退です。可能な場合は常にこの方法を使用してください。トラクターとトレーラーを進みたい方向と一直線に合わせ、車輪がまっすぐで中央に位置していることを確認し、ゆっくり後退しながら両方のミラーを確認してください。

- ✓ 前方に進んでトラクターとトレーラーを進みたい方向と一直線に位置付ける
- ✓ 前輪と後輪がまっすぐで中央に位置していることを確認する
- ✓ 直線でゆっくり後退しながら両方のミラーを確認する
- ✓ トレーラーが左または右に流れた場合は、それに合わせて車両を整列させる

8.3 アレイドック後退

アレイドックを行う際は、運転席側からの後退が推奨されます。トレーラーが向かわせたい方向に角度がつくように車両を位置させ、ゆっくり後退しながらハンドルを右いっぱいに切ります。

- ✓ アレイドックでは運転席側からの後退が推奨される
- ✓ ゆっくり後退しながらハンドルを右いっぱいに切る
- ✓ トレーラーを監視するために運転席側の窓から見ながら、ミラーも確認する
- ✓ 曲がりが早すぎるか急すぎる場合はハンドルを少し左に切り、遅すぎるか緩すぎる場合はハンドルを右に切る

8.4 オフセット後退技術

オフセット後退には2種類あります。運転席側（左へオフセット後退）と助手席側（右へオフセット後退）です。直線になるまでまっすぐ前進し、その後、ハンドルをいっぱいに切ってミラーを見ながら後退します。

- ✓ トレーラーを目的地の方向へ向けるように、ハンドルを左いっぱいに切ります。
- ✓ トラクターのタイヤの外側の縁がランディングギアの中央と一直線になるまで、右ミラーを見ながら後退します。
- ✓ 停止し、ハンドルを右いっぱいに切ってから、トラクターがトレーラーとまっすぐ一直線になるまで後退します。
- ✓ ハンドルをまっすぐに戻し、両方のミラーを見ながら目的地に向かってゆっくり後退します。

8.5 後退するときの誘導者の使用

責任ある誘導者は、後退する区域を監視し、死角地帯に注意を払うことで助けることができます。誘導者は、あなたと車両の後方区域をはっきりと見ることができる場所に立つ必要があります。

- ✓ 誘導者は、あなたと車両の後方区域をはっきりと見ることができる位置に立つ必要があります。
- ✓ 歩行者や車両が進路に入ってきた場合、誘導者はあなたに警告する必要があります。
- ✓ 後退警報装置は、運転者の責任を免除するものではありません。

8.6 後退時の一般的な注意事項

事前に経路を計画すれば、後退する必要をなくせる場合があります。角を曲がるために後退するのを避けるには、ブロックを一周してください。交通の中へ後退するのではなく、前進して交通の中へ出てください。ドライブウェイに後退で入る際は、あらゆる注意を払う責任があります。後退する前に：携帯電話/ラジオを切り、窓を開け、四方向ハザードランプを作動させ、クラクションを鳴らしてください。降車して周囲を歩いて確認し、頭上障害物、電線、側面の余裕、歩行者、物体を調べてください。両方のバックミラーを使い、後方の死角を忘れないでください。

- ✓ 後退を避ける経路を計画し、後退で入るのではなく前進して交通の中へ出る
- ✓ 後退する前に：携帯電話/ラジオを切り、窓を開け、四方向ハザードランプを作動させ、クラクションを鳴らす
- ✓ 降車して周囲を歩いて確認し、頭上障害物、電線、余裕を調べる
- ✓ 両方のバックミラーを使い、後方の死角を常に意識する

8.7 直線後退手順

直線後退は最も簡単で安全な後退操作であり、可能な限り使用する必要があります。トラクターとトレーラーを進みたい方向と一直線になるように前方に引き出して位置を合わせ、前輪と後輪がまっすぐで中央にあることを確認し、両方のミラーを見ながらゆっくりと直線に後退し、トレーラーが左右にずれた場合は車両を調整します。

- ✓ 直線後退は最も簡単で安全な後退操作です - 可能な限り使用してください
- ✓ 後退する前に前輪と後輪がまっすぐで中央にあることを確認してください
- ✓ 両方のミラーを見ながらゆっくり後退し、トレーラーがずれた場合は修正してください

8.8 アレイドックの後退

アレイドックを行うときは、運転席側から後退するのが推奨されます。トレーラーが進めたい方向に向くように車両を位置付け、ゆっくり後退しながらハンドルを右いっぱいに切り、運転席の窓から外を見てトレーラーを確認し、ミラーも確認します。曲がりが早すぎるか急すぎる場合はハンドルを少し左に切り、遅すぎるか広すぎる場合はハンドルを右に切ります。

- ✓ アレイドックを行うときは運転席側から後退する
- ✓ 目的地に向けてトレーラーを角度付け、ゆっくり後退しながらハンドルを右いっぱいに切る
- ✓ 修正：早すぎるか急すぎる場合はハンドルを左に、遅すぎるか広すぎる場合はハンドルを右に切る

8.9 オフセット後退手順

オフセット後退には2種類あります。運転席側（左へのオフセット後退）と助手席側（右へのオフセット後退）です。一直線になるまでまっすぐ前進し、ハンドルを左いっぱいに切ってトレーラーを目的地の方向へ向け、右ミラーを見ながら、トラクターのタイヤの外側の縁がランディングギアの中央に合うまで後退します。停止してハンドルを右いっぱいに切り、トラクターがトレーラーと一直線になるまで後退し、その後、車輪をまっすぐにして、両方のミラーを見ながら目的地に向かってゆっくり後退します。

- ✓ 2種類：運転席側（左）と助手席側（右）
- ✓ トラクターのタイヤの外側の縁をランディングギアの中央に合わせる
- ✓ 目的地へ後退するときは車輪をまっすぐにし、両方のミラーを見る

8.10 後退するときに誘導者を使用すること

責任ある誘導者は、あなたが後退している区域を見守り、死角エリアに注意を払うことができます。誘導者は、あなたと車両後方の区域の両方をはっきりと見ることができる場所に立ち、歩行者や車両について警告する必要があります。バックアップアラーム装置は、後退するときの運転者の責任を免除するものではありません。

- ✓ 誘導者は、あなたと後方区域の両方をはっきりと見ることができる場所に立つ必要があります
- ✓ バックアップアラーム装置は、後退するときの運転者の責任を免除するものではありません

CHAPTER 9

Temporary condition signs

9.1 一時的状況標識の目的と色

一時的状況標識は、道路工事区域、迂回、回り道、車線閉鎖、交通整理員などの異常な一時的状況を警告します。通常、オレンジ色の背景に黒い文字または記号が付いたひし形です。

- ✓ 一時的状況標識は、オレンジ色の背景のひし形です。
- ✓ これらは、工事区域、迂回路、車線閉鎖、交通整理員について警告します。

9.2 建設ゾーンの運転要件

標識は、前方の建設工事、測量班、交通誘導員（徐行し、指示に従ってください）、迂回路、切削または溝切りされた路面（停止性能とグリップの低下）、合流が必要な車線規制、追い越し禁止の先導車またはペース車を示しています。作業員がいる指定建設ゾーンでは、速度違反の罰金が2倍になります。

- ✓ HTAによる速度違反の罰金は、作業員がいる指定建設ゾーンでは2倍になる
- ✓ 標識を掲げた先導車またはペース車を追い越してはならない
- ✓ 交通誘導員に従い、停止できるよう準備する
- ✓ 車線規制時は開いている車線で交通に合流する

9.3 一時的状況標識の外観

一時的状況標識は、道路工事区域、迂回、う回路、車線閉鎖、交通整理員などの異常な一時的状況を警告します。通常は、オレンジ色の背景に黒い文字や記号があるひし形です。

- ✓ 一時的状況標識はオレンジ色の背景を持っている
- ✓ 工事、う回路、車線閉鎖、交通整理員について警告する

9.4 建設工事および作業区域の標識

標識は、前方で建設工事（例：1 km）、前方で道路工事、測量作業員が作業中、前方に交通誘導員（ゆっくり運転し、指示に注意）、建設工事区域の開始（一層注意して運転し、速度制限の引き下げに備える）を示します。

- ✓ 交通誘導員の標識では速度を落とし、指示に注意してください。
- ✓ 建設工事区域に入る場合は、一層注意して運転し、速度制限の引き下げに備える必要があります。

9.5 迂回および車線閉鎖標識

標識には、通常ルートからの一時的な迂回、点滅する方向矢印、切削または溝切り舗装の警告（停止性能とグリップ力の低下）、前方車線閉鎖標識（開いている車線に合流）、閉鎖車線の矢印（指示どおりに合流できるよう速度を調整）が含まれる。

- ✓ 切削または溝切り舗装では、制限速度を守り、特に注意して運転すること
- ✓ 前方の車線が閉鎖されている場合は、開いている車線の交通に合流すること

9.6 先導車両、STOP/SLOW および迂回標識

DO NOT PASS WHEN FLASHING 標識を付けた先導車両またはペース車両を追い越してはいけません。STOP/SLOW パドルは、速度を落とし、停止できるよう準備することを意味します。通常ルートに戻るまで、迂回標識に従ってください。

- ✓ 先導車両またはペース車両の標識が点滅しているときは、追い越してはいけません。
- ✓ STOP/SLOW パドルでは、速度を落とし、停止できるよう準備してください。
- ✓ 通常ルートに戻るまで、迂回標識に従ってください。

9.7 建設ゾーンにおける罰金の倍額

「建設ゾーンで作業員がいる場合、速度違反の罰金は2倍」という標識は、指定された建設ゾーンで作業員がいる場合の速度超過に対してHTA罰金を2倍にします。

- ✓ 作業員がいる場合、建設ゾーンではHTAの速度超過罰金が2倍になります
- ✓ これは指定された建設ゾーンに適用されます

CHAPTER 10

Suspension System

10.1 エアサスペンションの漏れとエアバッグ

サスペンションシステムにおけるエアバッグの正常な外観を把握し、空気が抜ける原因となる損傷の兆候を認識しなければなりません。空気漏れの音や損傷したエアバッグがないか点検してください。

- ✓ 軽微な欠陥：エアサスペンションシステムに空気漏れが認められる。
- ✓ 重大な欠陥：いずれかのエアバッグが損傷しており（パッチ当て、切断、打痕、編組までのひび割れ、または空気抜け）、内部に空気がない。

10.2 リーフスプリングの欠陥

リーフスプリングを目視検査し、破損したリーフを特定してください。メインリーフは重要であり、他のリーフよりも厳重に扱われます。

- ✓ 軽微な欠陥：いずれかのスプリングに破損したリーフが1枚だけある
- ✓ 重大な欠陥：メインリーフが破損している、または他のリーフが1枚を超えて破損している

10.3 位置ずれまたは欠落したサスペンション部品

部品がずれたり他の部品と接触したりするなどの重大な危険状態を認識するため、サスペンション構成部品および取り付け用ハードウェアを目視検査しなければなりません。

- ✓ 重大な欠陥：リーフスプリングまたはサスペンション部品のいずれかの部分が欠落している
- ✓ 重大な欠陥：サスペンション部品が位置ずれしているか、他の車両構成部品と接触している

10.4 サスペンション締結具およびUボルト

サスペンション締結具（ナット、ボルト）およびUボルトは、締め付け状態と有無を検査しなければなりません。隙間や緩みは不具合を示します。

- ✓ 軽微な不具合：サスペンション締結具のいずれかが緩んでいる、欠落している、または破損している
- ✓ 重大な不具合：スプリングUボルトのいずれかが緩んでいる

CHAPTER 11

Vehicle safety, maintenance and daily inspections

11.1 トラック検査所と携行すべき書類

省の執行職員と警察は、トラック検査所で検査を行う。検査所が開いているときは、トラックは進入して停止しなければならない。運転者は、免許証、登録証、CVOR証明書、保険証書、日常点検報告書、日報を含む必要書類を携行し、要求があれば提出しなければならない。

- ✓ 検査所が開いているときは、トラックは検査のために進入して停止しなければならない
- ✓ 有効な免許証、登録証、CVOR証明書、保険証書、日常点検報告書、日報を携行しなければならない
- ✓ 当日分および過去14日分の日報を携行しなければならない
- ✓ 計量所への進行を拒否または怠ることは違反であり、最高$20,000の罰金および最大30日の免許停止となる可能性がある

11.2 タイヤとホイールの点検

タイヤには適切な溝の深さが必要であり、ホイールは確実に取り付けられていなければなりません。後輪タイヤは隣接する2本の溝に少なくとも1.5 mm（0.06インチ）の溝が必要です。4,500 kgを超える車両の前輪タイヤは少なくとも3 mm（0.12インチ）必要です。ホイールの締結具は取り付け後80 kmから160 kmの間に再確認する必要があります。

- ✓ 後輪タイヤは隣接する2本の溝に少なくとも1.5 mm（0.06インチ）の溝が必要です
- ✓ 4,500 kgを超える車両の前輪タイヤは少なくとも3 mm（0.12インチ）の溝が必要です
- ✓ 取り付け後80 kmから160 kmの間にホイールの締結具を再確認する必要があります
- ✓ ホイールとタイヤは認定タイヤ取付業者または整備士が取り付ける必要があります

11.3 貨物の固定

運転者は、貨物が均等にバランスよく、適切に固定されていることに責任を負います。すべての積荷は、何も落下しないように結束、被覆、または固定しなければなりません。後方に1.5 m（5フィート）以上張り出す積荷には、（灯火が必要な場合は）赤色灯を、それ以外の場合は赤色旗／標識を付ける必要があります。オンタリオ州は、貨物固定に関するNSC基準10を採用しています。

- ✓ 運転者は、貨物がバランスよく、ずれないように固定されていることを確認する責任を負います。
- ✓ 後方に1.5 m以上張り出す積荷には、赤色灯、旗、または標識を付けて表示しなければなりません。
- ✓ 貨物は運転前に点検し、積載地点から80 km以内で再確認しなければなりません。
- ✓ オンタリオ州は、貨物固定に関する国家安全コード基準10を採用しています。

11.4 毎日の運転前点検要件

HTAにより、毎日の車両点検（サークルチェック／運転前点検）が義務付けられています。運転者は、過去24時間以内にSchedule 1点検が行われ、完了した報告書がある場合を除き、運転してはなりません。欠陥は重大欠陥または軽微欠陥に分類され、運転者は重大欠陥のある車両を運転できず、軽微欠陥を記録し報告しなければなりません。

- ✓ 車両点検は24時間ごとに完了しなければならない
- ✓ 運転者は重大欠陥のある車両を運転してはならない
- ✓ 軽微欠陥は点検報告書に記録し、事業者に報告しなければならない
- ✓ 運転者は最新の点検報告書と点検スケジュールの両方を携帯しなければならない

11.5 運行停止と不具合報告

点検中または運行中に発見された安全上の不具合は、できるだけ早く運行事業者に報告しなければなりません。重大な不具合は、再び運行する前に修理する必要があります。車両が運行停止となる最も一般的な理由は、エアブレーキの調整不良です。その他の理由には、固定が不十分な積載、不具合のあるライトやタイヤ、折れたスプリングなどがあります。

- ✓ 重大な不具合は、車両を再び運行する前に修理しなければなりません
- ✓ エアブレーキの調整不良は、最も一般的な運行停止理由です
- ✓ 承認されたコースを修了したか、認定整備士でない限り、自分のエアブレーキを調整することはできません

11.6 160km 圏内の日次運行記録免除

運転者が開始地点から半径160km以内で運行し、その日の終わりに同じ地点に戻る場合、日次運行記録の携帯が免除されることがありますが、勤務時間（Hours of Service）の要件はすべて引き続き適用されます。

- ✓ 開始地点に戻る160km圏内の運転者は、日次運行記録の携帯を免除される場合があります。
- ✓ 日次運行記録の携帯が免除されていても、勤務時間の要件は引き続き適用されます。

11.7 ステアリングの遊び（ラッシュ）

遊び（ラッシュ）とは、タイヤが動き始めるまでにステアリングホイールが動く距離です。エンジンをかけ、車輪をまっすぐ前に向けた状態で、タイヤの抵抗を感じるまで指でステアリングホイールを回して確認します。回転が大きすぎる場合は、遊びが過大であることを示します。

- ✓ エンジンをかけ、車輪をまっすぐ前に向けた状態でステアリングの遊びを確認する
- ✓ タイヤが動く前に回転が大きすぎる場合は、遊び（ラッシュ）が過大であることを示す

11.8 貨物の再点検間隔

運転者は、貨物および固定（セキュアメント）システムを再点検し、次のいずれか早い方に基づく間隔で調整しなければならない：勤務状態の変更、3時間の運転、または240kmの運転。貨物が封印されており、運転者がそれを開封しないよう命じられている場合、または貨物にアクセスできない場合には、点検は必要ない。

- ✓ 勤務状態の変更時、3時間運転後、または240km運転後のいずれか早い時点で貨物を再点検すること
- ✓ 運転者が開封しないよう命じられている封印貨物、またはアクセスできない貨物には再点検は不要

11.9 年次検査証明書

事業者は、NSC Standard 11 Part Bに準拠して、各車両およびトレーラーを、ライセンスを有する整備士による年次検査を受けさせなければなりません。基準に適合した車両には、年次検査証明書、記録、およびステッカーが交付され、ステッカーはフロントガラスの外側左下またはキャブ/トレーラーの左側に貼付されます。運転者は日常点検中にステッカーの有効性を確認しなければなりません。

- ✓ 事業者は、各車両/トレーラーをライセンスを有する整備士による年次検査を受けさせなければなりません
- ✓ 検査ステッカーは、フロントガラスの外側左下隅またはキャブ/トレーラーの左側に貼付されます
- ✓ 運転者は日常点検中に検査証明書ステッカーの日付を確認しなければなりません

11.10 毎日点検項目一覧

毎日点検の一部として、O. Reg. 199/07の該当する別表に記載されたすべての項目を点検する必要があり、エアブレーキシステム（装備されている場合）、キャブ、貨物の固定、連結装置、運転者用操作装置/座席、ブレーキ、緊急装備、排気装置、フレーム/車体、燃料、ガラス/ミラー、ヒーター/デフロスター、ホーン、ランプ/反射器、ステアリング、サスペンション、タイヤ、ホイール、ワイパー/ウォッシャーが含まれます。

- ✓ 毎日点検中に、O. Reg. 199/07の該当する別表のすべての項目を点検する
- ✓ エアブレーキシステムと連結装置は、装備されている場合にのみ点検する
- ✓ 危険物の点検は、資格を有する運転者にのみ適用される

CHAPTER 12

Left turns

12.1 左折時のオフトラックの考慮

左折するときは、オフトラックを認識し、それを考慮しなければなりません。トレーラーの進路を監視するには、左側の外部ミラーを使用してください。そうしないと、トレーラーが車両や交通島にある標識柱に衝突する可能性があります。車両をセンターラインのすぐ右の適切な位置に戻す前に、大きく弧を描いて曲がり、その後、速度が上がるにつれて安全なときに右車線へ移動してください。

- ✓ 左折するときは左側の外部ミラーを使用してトレーラーの進路を監視する
- ✓ 大きく弧を描いて曲がり、車両をセンターラインのすぐ右に戻す
- ✓ 速度を上げながら、安全なときにのみ右車線へ移動する

CHAPTER 13

Suspension system

13.1 エアサスペンションの漏れと損傷したエアバッグ

エアサスペンションシステムは、無傷で膨張していなければならないエアバッグを使用します。受験者は、エアバッグの正常な外観、損傷の兆候、および損傷によって空気が抜ける場合を認識しなければなりません。目立つ空気漏れは軽微な欠陥ですが、損傷して空気が抜けたエアバッグは重大な欠陥です。

- ✓ 軽微な欠陥：エアサスペンションシステムに目立つ空気漏れがある
- ✓ 重大な欠陥：いずれかのエアバッグが損傷しており（当て布修理、切れ、打痕、補強コードまでのひび割れ、または空気抜け）、内部に空気がない
- ✓ 空気漏れがなく、エアバッグが損傷しておらず、まだ空気が入っていることを確認するために点検する

13.2 破損したリーフスプリング

リーフスプリングの目視検査は重要です。受験者は、どのリーフが「メイン」リーフであるかを知っておく必要があります。欠陥の重大度は、何枚のリーフが破損しているか、およびメインリーフが関与しているかによって異なります。

- ✓ 軽微な欠陥：いずれかのスプリングに破損したリーフが1枚だけある
- ✓ 重大な欠陥：メインリーフが破損している、または他のリーフが2枚以上破損している
- ✓ ひび割れまたは破損したスプリングリーフを特定するために目視検査を実施する

13.3 ずれている、または欠落しているサスペンション部品

サスペンションシステムの構成部品および取り付け金具は、重大な不安全状態がないか目視検査しなければなりません。欠落している、ずれている、または接触しているサスペンション部品は重大な欠陥です。

- ✓ 重大な欠陥：リーフスプリングまたはサスペンションの一部が欠落している、所定の位置からずれている、または他の車両部品と接触している
- ✓ 割れ/破損したリーフおよび変位または接触している部品がないか検査する（アクセスできない場合はそのプロセスを説明する）

13.4 サスペンション締結具およびUボルト

サスペンション締結具とUボルトはサスペンションを車両に固定するものであり、常に締まっている必要があります。緩んだ、欠落した、または破損した締結具は軽微な欠陥ですが、緩んだUボルトは重大な欠陥です。

- ✓ 軽微な欠陥：サスペンション締結具が緩んでいる、欠落している、または破損している
- ✓ 重大な欠陥：スプリングUボルトが緩んでいる
- ✓ サスペンション締結具とUボルトに、緩み、欠落、破損した部品がないか目視で点検する

CHAPTER 14

Precautions and Driver Conduct

14.1 商用車の車間距離

複数のトラックが停車後に高速道路へ進入するとき、運転者は十分な空間を空ける必要があります。商用自動車は高速道路での速度で最小車間距離を維持しなければなりません。

- ✓ 商用自動車は、高速道路において時速60km(40mph)を超える速度で走行する場合、他の車両との間に少なくとも60メートル(200フィート)の最小距離を維持しなければなりません。
- ✓ 例外は、他の自動車を追い越し、追い抜く場合です。
- ✓ 不適切な追い越しやブラフ行為(車両の大きさを使って威嚇すること)を避けてください。

14.2 速度制限装置の要件

速度制限装置の要件は、1995年以降に製造され、製造業者の車両総重量定格（MGVWR）が11,794キログラム（26,000ポンド）以上で、電子制御エンジンを搭載した車両に適用されます。

- ✓ 速度制限システムは、105 km/h（65 mph）以下に適切に設定されなければならない。
- ✓ 1995年以降に製造され、MGVWRが11,794 kg（26,000 lbs.）以上で、電子制御エンジンを搭載した車両に適用される。
- ✓ バス、移動式クレーン、モーターホーム、救急車、心停止対応緊急車両、消防車両は免除される。

14.3 一般的な安全運転の注意事項

自動車の運行に関する法律を厳格に守り、適切な運転習慣に従ってください。すべてのバックミラーを使用し、細心の注意を払ってトラックを後退させてください。道路、天候、交通状況に合わせて運転方法と速度を調整してください。

- ✓ 許可された積載量を超えてトラックに積み込まないでください。
- ✓ 道路、天候、交通状況に合わせて速度を調整してください。
- ✓ 急停車を必要とする状況を避けてください。
- ✓ 許可を受けていない者に運転席に座らせたり、トラックを運転させたりしないでください。

14.4 交通の妨害と適切な合図

坂道で減速することは避けられないことが多いですが、良い運転者は右側にとどまり、後続の交通を通過させることで遅れを減らします。後続のドライバーに追い越しても安全だと伝えるために左折の方向指示器を出してはいけません。

- ✓ 交通の流れの速度を維持できないときはハザードランプを点灯してください
- ✓ 後続のドライバーに追い越しても安全だと伝えるために左折の方向指示器を出してはいけません — これは法律違反であり、他のドライバーを混乱させます
- ✓ 坂道では速い交通が通過できるよう右側にとどまってください

CHAPTER 15

Tires

15.1 タイヤの漏れとパンク

タイヤは適正な空気圧に保ち、定期的に漏れを点検してください。パンクを確認するためにタイヤを蹴ったり、木槌を使ったりすることは許容されます。目で見てわかる漏れと、感じたり聞こえたりする漏れを区別してください。

- ✓ 軽微な欠陥：タイヤに漏れが明らかに見えるが、どのタイヤでも感じたり聞こえたりすることはできない
- ✓ 重大な欠陥：いずれかのタイヤがパンクしている、または漏れを感じたり聞こえたりできる
- ✓ 漏れを聞き、感じて点検する

15.2 タイヤのトレッド深さの限度

車両安全規則に基づき、タイヤのトレッド深さの点検方法と、各タイヤ位置における最小許容深さを理解していなければなりません。

- ✓ 重大な欠陥：トレッド深さが許容摩耗限界を下回っている
- ✓ ステアタイヤ（操舵輪）には最小3mmのトレッド深さが必要
- ✓ その他のタイヤには最小1.5mmのトレッド深さが必要

15.3 タイヤの損傷とコードの露出

トレッドとサイドウォールの損傷を区別すること。タイヤはゴムで覆われたスチールコードで作られており、コードの露出は重大な欠陥です。

- ✓ 軽微な欠陥：トレッドまたはサイドウォール部分の損傷
- ✓ 重大な欠陥：いずれかのタイヤのトレッドまたは外側サイドウォールにおけるコードの露出
- ✓ 重大な欠陥：マッドフラップ以外の別のタイヤまたは車両部品に接触しているタイヤ

15.4 タイヤの接触および露出したコード

タイヤは、他のタイヤや車両部品（マッドフラップを除く）に接触してはなりません。タイヤはゴムで覆われたスチールコードで作られており、コードの露出は重大な安全上の問題です。どちらも重大な欠陥です。

- ✓ 重大な欠陥：タイヤが他のタイヤ、またはマッドフラップ以外の車両部品に接触している
- ✓ 重大な欠陥：いずれかのタイヤのトレッドまたは外側サイドウォールでコードが露出している
- ✓ タイヤがマッドフラップに接触していることは安全上の問題ではない

15.5 タイヤと構成部品の接触

タイヤは他の車両構成部品に接触してはなりません。タイヤがマッドフラップに触れていることは安全上の懸念ではありませんが、その他の接触は重大な欠陥です。

- ✓ 重大な欠陥：タイヤが別のタイヤまたはその他の車両構成部品に接触している
- ✓ マッドフラップとの接触のみ許容される

15.6 トレッドおよびサイドウォールの損傷

受験者はトレッドとサイドウォールを区別し、切れ目などの目視で確認できる損傷を認識しなければなりません。トレッドまたはサイドウォール部分への損傷は軽微な欠陥です。

- ✓ 軽微な欠陥：トレッドまたはサイドウォール部分への損傷
- ✓ トレッドとサイドウォールの切れ目やその他の損傷など、目視で確認できる兆候がないかタイヤを点検する

CHAPTER 16

Uncoupling and coupling of combinations (class A only)

16.1 連結/切り離し前の安全手順

切り離しまたは連結の前に、運転者は窓を下げ、オーディオシステムを切り、後退する前にホーンを鳴らし（路上試験中は電気ホーンのみ）、場所が適切で安全であることを確認しなければなりません。

- ✓ 連結/切り離しの前に窓を下げ、オーディオシステムを切る
- ✓ 後退する前にホーンを鳴らす（路上試験中は電気ホーンのみ）
- ✓ 場所が適切で安全であることを確認する

16.2 切り離し手順

切り離すには：両方のユニットを固定し（パーキングブレーキを作動、トランスミッションをパーク/ニュートラル、トレーラーの車輪に輪止め）、トレーラーを持ち上げずにランディングギアを地面まで下げ、エア/電気ラインと安全チェーンを取り外して収納し、第五輪のロックを解除し、切り離してトレーラーの安定性を確認してから、トラクターをゆっくりと引き離します。

- ✓ トラック/トラクターとトレーラーの両方のパーキングブレーキを作動させ、トレーラーの車輪に輪止めをする
- ✓ 第五輪からトレーラーを持ち上げることなく、ランディングギアが地面にちょうど接するまで下げる
- ✓ 第五輪のロックを解除する前に、エア/電気ラインと安全チェーンを取り外して収納する
- ✓ トラクターをゆっくり引き離す前に、トレーラーが安定していることを確認する

16.3 連結手順と位置合わせ

連結するには：第5輪/連結装置とラインを点検する；ユニットを配置し、位置合わせと高さを確認する；第5輪がトレーラーの直前または少し下にあり、キングピンに当たらない状態で、歩く速度でゆっくり後退する；キングピンの位置合わせを確認する；第5輪を係合する；その後、ロックを確認する。トレーラーは、トラクターによってわずかに持ち上げられる程度に低くしておく必要があります。

- ✓ 第5輪がトレーラーの直前または少し下にあり、キングピンに当たらない状態で、歩く速度でゆっくり後退する
- ✓ 係合する前に、キングピンが第5輪下部カプラーと位置合わせされていることを確認する
- ✓ トラクターが下に後退して入るときに、トレーラーがわずかに持ち上げられる程度に低くしておく必要がある
- ✓ トレーラーが低すぎるとトラクターが前端を損傷するおそれがあり、高すぎると正しく連結できないことがある

16.4 引っ張りテスト（tug test）とロック確認

連結後、トラクターとトレーラーを引っ張ってトレーラーがロックされていることを確認する引っ張りテスト（「ピンを叩く」）を行います。その後、降車して、第五輪の上に隙間がないこと、リリースレバーがロック位置にあること、ジョー／ロックラッチがキングピンの周囲で閉じていること（トレーラーの下に入って）を目視で確認します。

- ✓ トレーラーがトラクターにロックされていることを確認するために引っ張りテストを行います。
- ✓ 上部プレートと第五輪の間に隙間がある場合、連結が確実でないことを示します。
- ✓ リリースレバーがロックされ、ジョーがキングピンの周囲で閉じていることを確認します（トレーラーの下に入って）。

16.5 ラインの接続とカップリングの完了

エアラインと電気ラインを接続し（青＝サービス、赤＝供給／非常用）、装備されている場合はブレークアウェイ装置を接続し、ランディングギアを完全に上げてハンドルを収納し、トレーラーに空気を供給して正常圧力を確立し、運転席から漏れを点検した後、ゆっくり前進しながらブレーキ操作を試験する。

- ✓ 業界標準色：青＝サービス、赤＝供給または非常用
- ✓ 移動前にランディングギアを完全に上げ、ハンドルを収納する
- ✓ トレーラーに空気を供給し、漏れを点検した後、ゆっくり前進しながらブレーキ操作を試験する

CHAPTER 17

Definitions

17.1 主要な重量および車両の定義

総重量とは、車両と積載物を合わせた重量です。登録総重量とは、HTA許可が発行された重量です。製造業者の車両総重量定格（MGVWR）とは、製造業者が指定した総重量であり、多くの場合キャブのデカールまたはプレートに表示されています。商用自動車は、恒久的に取り付けられたトラックまたは配送車体を備えています。

- ✓ 総重量 = 車両と積載物を合わせた重量
- ✓ 登録総重量 = HTA許可が発行された重量
- ✓ MGVWR = 製造業者が指定した総重量

17.2 セミトレーラーおよびトレーラーの定義

セミトレーラーは、車体またはシャシーの前部が牽引車両の上に載るように設計されています。トレーラーは、自動車によって牽引・推進・移動される車両であり、牽引する車両の一部ではなく、別個の車両と見なされます。トレーラーの定義には、農業用器具、移動式住宅、サイドカーは含まれません。

- ✓ セミトレーラーの前部は、牽引車両の車体またはシャシーに載っています。
- ✓ トレーラーは、それを牽引する自動車の一部ではなく、別個の車両と見なされます。

CHAPTER 18

Information and direction signs

18.1 情報標識および方向標識の識別

情報標識および方向標識は、距離と目的地を知らせます。通常、緑色の背景に白い文字の長方形です。その他の色は、施設、サービス、観光スポットへ案内します。

- ✓ 情報/方向標識は、緑色で白い文字の長方形です
- ✓ 距離、目的地、出口、施設を示します

18.2 情報標識および方向標識の外観

情報標識と方向標識は、距離と行き先について知らせます。通常は緑色の背景に白い文字の長方形です。その他の色は、施設、サービス、観光スポットへ案内します。

- ✓ 情報/方向標識は緑色の背景に白い文字です
- ✓ その他の色の標識は施設、サービス、観光スポットへ案内します

18.3 高速道路の出口およびインターチェンジ番号

予告標識と出口標識は、運転者が高速道路を出るかそのまま走行し続けるために正しい車線を選ぶのに役立ちます。出口車線の矢印は黄色いボックス内に表示され、その下に「exit」という語が付きます。インターチェンジ番号は、高速道路の起点からの距離（km）に相当します（例：Hwy 401のインターチェンジ204はウィンザーから204 kmの地点）。距離はインターチェンジ番号を差し引くことで求められます。

- ✓ 出口車線の矢印は、黄色いボックス内に表示され、その下に「exit」が付きます。
- ✓ インターチェンジ番号は、高速道路の起点からのキロメートル数に相当します。
- ✓ 距離を計算するには、一方のインターチェンジ番号からもう一方を差し引きます。

18.4 高速道路の出口とインターチェンジ番号

事前案内標識は、黄色いボックスに「出口」と表示された矢印を使って、どの車線が高速道路から出るのかを示します。インターチェンジ番号は、高速道路の起点からのキロメートル距離に対応しています（例：Hwy 401のインターチェンジ204は、ウィンザーから204 kmの地点にあります）。インターチェンジ間の距離は、番号を引くことで求められます。「VIA」は目的地まで進む道路を示します。

- ✓ 高速道路のインターチェンジ番号は、高速道路の起点からのキロメートル距離と同じです。
- ✓ 2つのインターチェンジ間の距離は、それぞれの番号を引くことで求められます。
- ✓ 「VIA」は目的地に到達するために進む道路を示します。

18.5 VIA、ラウンドアバウト、施設標識

「VIA」は目的地に到達するために進むべき道路を示します。ラウンドアバウト標識は、これから現れる出口とその出口がどこへ通じるかを示します。可変メッセージ標識は、遅延や車線閉鎖について運転者に最新情報を提供します。青色/その他の標識は、病院、空港、大学、カープール駐車場などの道路外施設や、鉄道駅、空港、フェリー、車椅子対応施設への経路を示します。

- ✓ 「VIA」は、目的地に到達するために従わなければならない道路を示します
- ✓ 可変メッセージ標識は、現在の遅延や車線閉鎖について運転者に最新情報を提供します

CHAPTER 19

A and D Licence Classes and Requirements

19.1 トラックまたはトラクター・トレーラーの運転を学ぶこと

トラックまたはトラクター・トレーラーの運転を学ぼうとする免許を持つ運転者は、Class G以上の免許を保有し、それぞれトラックの場合はClass D、トラクター・トレーラーの場合はClass Aの有効な免許を持つ運転者の同乗を受けなければなりません。運転能力はDriveTestセンターまたは認定機関（Recognized Authority）で評価されます。

- ✓ トラックまたはトラクター・トレーラーの運転を学ぶには、Class G以上の免許を保有しなければならない
- ✓ Class D（トラック）またはClass A（トラクター・トレーラー）の免許を持つ運転者が同乗しなければならない
- ✓ 路上試験はDriveTestセンターまたは認可された認定機関（Recognized Authority）で受けられる

19.2 フル Class A と制限付き Class A の構成

フル Class A 車両とは、MGVWR が 4,600 kg 以上で、トラック／トラクターとトレーラーの両方にフルエアブレーキシステムを備えたトラック／トラクターおよびトレーラーの組み合わせです。制限付き構成は同じ MGVWR ですが、トレーラーにエアブレーキが装備されていません。非フル車両で路上試験を完了すると、AR（A Restricted）免許となります。

- ✓ フル Class A には、4,600 kg 以上の MGVWR と、トラック／トラクターおよびトレーラーの両方のフルエアブレーキが必要です
- ✓ 制限付き Class A では、トレーラーにエアブレーキが装備されていません
- ✓ 非フル Class A 車両で路上試験を受けると AR（A Restricted）免許となり、フル Class A 車両を運転できません

19.3 クラスAまたはクラスD申請の最低要件

申請者は18歳以上で、有効なオンタリオ州クラスG以上の運転免許または同等の免許を所持し、大型トラックおよびトラクター・トレーラーの運転知識試験に合格し、視力基準を満たし、適切な医療証明書を提出し、該当する車両タイプによる路上試験で運転能力を示さなければなりません。

- ✓ 18歳以上であること
- ✓ 有効なオンタリオ州クラスG以上の運転免許または同等の免許を所持していること
- ✓ 知識試験に合格し、視力基準を満たし、適切な医療証明書を提出すること

19.4 医療証明書の要件

クラスAまたはDを申請する場合、オンタリオ州交通省が認める、記入済みの医療証明書が必要です。医師および検眼士は、安全な運転に影響を与える身体的、神経学的、心血管系その他の状態を報告することが法律で義務付けられています。その状態がHTA（ハイウェイ交通法）規制基準を満たさない場合、申請は拒否されます。

- ✓ クラスAまたはDには、オンタリオ州交通省が認める医療証明書が必要です。
- ✓ 医師／検眼士は、法律により、安全な車両運転に影響を与える状態を報告しなければなりません。
- ✓ 身体的または医学的状態がHTA規制基準を満たさない場合、申請は拒否されます。

CHAPTER 20

Sharing the Road

20.1 小型車との道路共有

小型車の運転者の多くは、大型車を運転することがどのようなものかを理解していません。トラクター・トレーラーは平均的な乗用車の2倍の停止距離が必要で、速度に乗るまでにはるかに長い時間がかかります。小型車の運転者は、大型車が近くにいると、急な、または予期しない動きをすることがあります。

- ✓ トラクター・トレーラーは平均的な乗用車の2倍の停止距離が必要です。
- ✓ より小さく速い車両が追い越そうとしているときは礼儀を持って対応し、前方に安全に入れるよう速度を落としてください。
- ✓ 右左折、減速、停止の前に意図を明確に合図してください。
- ✓ 右左折を完了する前に、他の車両があなたの曲がるためのスペースに入り込んでいないか必ず確認してください。

20.2 自転車利用者との道路共有

自転車利用者は、縁石から約1メートル離れて、または実用上可能な限り右端に近づいて走行することが求められますが、安全のために車線のどの部分でも使用することができます。追い越す際は、少なくとも1メートルの間隔を空け、可能な場合は車線変更をしてください。

- ✓ 追い越す際は、自分の車両と自転車利用者の間に少なくとも1メートルの間隔を空けてください。可能な場合は必ず車線変更して追い越してください
- ✓ 右折する際は、ミラーと右側の死角を確認し、自転車利用者の進路を妨げないようにしてください
- ✓ 左折する際は、停止して対向する自転車が通過するのを待ってから曲がってください
- ✓ 信号では、バイクボックスの後ろで停止してください。ボックス内で停止しないでください
- ✓ ドアを開ける前に、ミラーと死角を確認し、通過する自転車利用者がいないか確認してください

20.3 歩行者との道路共有

横断中、歩行中、ジョギング中、または横断歩道を利用中の歩行者には特に注意してください。追加の注意を要する子ども、高齢者、障害のある歩行者に注意してください。移動機器の利用者は歩行者と同じように扱われます。

- ✓ 通学区域、住宅地域、子どもが歩いたり遊んだりする可能性がある場所では、徐行し慎重に運転してください
- ✓ 歩行者に特別な危険があることを示すコミュニティ安全ゾーン標識に注意してください
- ✓ 目の不自由な歩行者は白杖や盲導犬を使用することがあります — 適切な配慮をしてください
- ✓ 移動機器を操作する人は歩行者と同じように扱われ、歩道がない場合は対向車に面して左側の路肩を通行します
- ✓ 路面電車の安全島およびゾーンは適切な速度で通過してください

20.4 オートバイおよびモペッドとの道路共有

オートバイ、限定速度オートバイ（limited-speed motorcycles）、モペッドは、大きさのため見つけにくく、突然動くことがあります。衝突時に負傷する可能性が高くなります。これらの車両には車線全体を使用する権利があります。

- ✓ オートバイとモペッドは、右端を走行する場合でも、車線全体を使用する権利があります。
- ✓ 方向指示器を点けたままの対向オートバイの前で左折するときは注意してください。方向指示器が自動的に消えていない可能性があります。
- ✓ 進行する前に、オートバイの運転者が実際に曲がっていることを確認してください。

20.5 自治体バスと道路を共有する

多くの道路にはバスベイと呼ばれる、道路の内側にへこんだ停車区域があります。種類は三つあります。ブロック中央のへこんだバスベイ、交差点の前後にあるへこんだ区域、駐車区域の間にあるバス停区域です。交通に再進入しようとしているバスには道を譲らなければなりません。

- ✓ バスベイにいるバスが出発しようとして左折ウィンカーを点滅させており、あなたが隣接車線から接近している場合、そのバスが交通に再進入できるようにしなければなりません。
- ✓ バスベイには三つの種類があります。ブロック中央のへこんだバスベイ、交差点の前後のへこんだ区域、駐車区域の間にあるバス停区域です。

20.6 農機具との道路共有

農機具は他の道路利用者に比べてゆっくり移動します。ほとんどのトラクターとコンバインの最高速度は40 km/hで、しばしば大型であるため、運転者は後方を見るのが困難です。農機具は低速車両標識を表示しなければなりません。

- ✓ 道路上の農機具は、40 km/h以下で走行することを警告する橙色と赤色の低速車両標識を表示しなければなりません。
- ✓ 速度を落とし、十分な車間距離を保ち、安全に追い越せるときまで追い越してはいけません。
- ✓ 作付けと収穫の繁忙期には、日没後に農家が道路上にいる可能性があるため注意してください。

CHAPTER 21

Other signs

21.1 オーバーサイズ積載物の標示要件

HTA第109条に基づく寸法を超える車両／積載物は、端部に一辺40cm以上の明るい赤色または橙色の旗を掲示し、清潔かつ有効な状態に保たなければなりません。また、前面と後面に「OVERSIZE LOAD」標識（黄色地に高さ200mm以上の黒文字、150m先から視認可能）または「D」標識を表示する必要があります。夜間は、標識は高輝度再帰反射材でなければならず、灯火を妨げてはならず、使用しないときは取り外すか覆わなければなりません。

- ✓ オーバーサイズ積載物の旗は一辺40cm以上で、明るい赤色または橙色でなければならない
- ✓ OVERSIZE LOADの文字は高さ200mm以上で、150メートル先から視認できなければならない
- ✓ 夜間標識は高輝度再帰反射材でなければならない
- ✓ 標識は灯火を妨げてはならず、使用しないときは取り外さなければならない

21.2 低速車両標識

低速車両標識は赤い縁取りのあるオレンジ色の三角形で、その車両が時速40km以下で走行することを他の人に知らせます。農用トラクター、農業機械、および時速40kmを超えて維持できない車両は、これを表示しなければなりません。これらの車両に注意し、必要に応じて速度を落としてください。

- ✓ 低速車両標識は赤い縁取りのあるオレンジ色の三角形です
- ✓ 時速40km以下で走行する車両は低速車両標識を表示しなければなりません

21.3 危険物およびLCVプラカード

危険物を輸送するとき、安全標識、プラカード、またはラベルが危険物の分類と危険の性質を示します。LCVプラカードは、長い商用車両（最大40メートルのダブルトレーラー）を示します。LCVは後部の標識で識別し、追い越す際にはその延長された長さと制限速度を予想してください。

- ✓ 危険物プラカードは分類と危険の性質を示す
- ✓ LCVは最大40メートルのダブルトレーラーである。追い越す際には長さと制限速度を予想する

21.4 過大積載標識と旗

HTA第109条に基づく寸法を超える車両／積載物は、端部に少なくとも40cm角の明るい赤色または橙色の警告旗を取り付けなければなりません。さらに、車両前部と積載物後部には OVERSIZE LOAD 標識（黄色地に高さ200mm以上の黒文字、150m先から視認可能）または「D」標識を表示しなければなりません。夜間は、標識は高輝度再帰反射材でなければなりません。

- ✓ 警告旗は積載物の端部に明るい赤色／橙色で、少なくとも40cm角でなければならない
- ✓ OVERSIZE LOADの文字は高さ200mm以上で、150メートル先から視認できなければならない
- ✓ 夜間、標識は高輝度再帰反射材でなければならない
- ✓ 標識は灯火を妨げてはならず、使用しないときは取り外すか覆わなければならない

21.5 危険物プラカード

危険物を輸送する際、危険物の分類と危険の性質を識別するために、安全標識、プラカード、またはラベルが表示されます。これらはトラック、貨物、パレット上で迅速な識別を可能にします。

- ✓ 危険物プラカードは、危険物の分類と危険の性質を識別します。
- ✓ 危険物プラカードは、トラック、貨物、さらにはパレットにも表示されることがあります。

21.6 長尺商用車（LCV）プラカード

LCVプラカードは、長尺商用車 — 最大40メートルのダブルトレーラー — を示します。高速道路で追い越しを準備するときは、後部の標識でLCVを識別し、その延長された車長と制限速度を予測してください。

- ✓ LCVは最大40メートルまであり得るダブルトレーラーである
- ✓ LCVを追い越すときは、延長された車長と制限速度を予測する

21.7 緊急迂回と二言語標識

EDR（緊急迂回ルート）標識は、OPP（オンタリオ州警察）がすべての交通をハイウェイから迂回させ、再びハイウェイに戻す際に、予定外のハイウェイ閉鎖を迂回するよう交通を案内します。一部の情報標識は、緊急ルートの判断を助けるために番号システムを使用しています。二言語標識は指定地域に表示されます。最もよく理解できる言語でメッセージを読んでください。

- ✓ EDR標識は、ドライバーをハイウェイ閉鎖区間の周りへ案内し、ハイウェイへ戻るように導きます
- ✓ 二言語地域では、最もよく理解できる言語でメッセージを読んでください

21.8 緊急迂回および対応標識

EDR（緊急迂回ルート）標識は、予定外のオンタリオ州高速道路閉鎖時にOPP（オンタリオ州警察）がすべての交通を迂回させる際に使用されます。代替ルート沿いの標示は、運転者が閉鎖区間を迂回し、再び高速道路に戻るよう案内します。一部の情報標識には、緊急車両がルートを判断するのに役立つ番号システムがあります。

- ✓ EDR標示は、予定外の高速道路閉鎖を迂回し、再び進入できるよう交通を案内します。
- ✓ 緊急対応番号は、緊急車両のルート選択を支援します。

21.9 二言語標識

指定された二言語地域では、最もよく理解できる言語でメッセージを読んでください。二言語のメッセージは同じ標識にある場合も、別々の場合もあり、英語の標識の直後にフランス語の標識が続くことがあります。

- ✓ 二言語標識のメッセージは、最もよく理解できる言語で読む
- ✓ 二言語のメッセージは一体で表示される場合も、英語の標識の後にフランス語の標識が続く場合もあります

CHAPTER 22

Wheels, Hubs and Fasteners

22.1 ハブオイルとホイールシール

ホイールハブは潤滑を必要とするベアリングを使用しています。オイル潤滑式ハブには、オイルレベルを確認できるサイトグラス窓がある場合があります。ホイールシールは潤滑剤を内部に保持します。シールが漏れると、ベアリング故障を引き起こす可能性があります。

- ✓ 軽微な欠陥：ハブオイルレベルが最低値未満（サイトグラス付きの場合）
- ✓ 軽微な欠陥：ホイールシールの漏れの証拠
- ✓ ホイールの内側でオイルや汚れを確認し、漏れているシールを発見する

22.2 差し迫ったホイール/ハブ/ベアリングの故障

ホイールおよびハブ構成部品の正常な外観を把握し、潜在的な故障を示す重大な不安全状態の視覚的兆候を認識すること。

- ✓ 重大な欠陥: ホイール、ハブ、またはベアリングの故障が発生する可能性を示す視覚的証拠
- ✓ 内側および外側のホイールアセンブリを点検し、視界が良くなる場合はフードを開けること

22.3 ホイール締結具

ホイールシステムの視覚的な特徴と、締結具をしっかり締めておくことの重要性を理解すること。欠落した締結具を発見し、ナットとホイールの間の隙間など、緩みの兆候を認識すること。

- ✓ 重大な欠陥：いずれかのホイールに、緩んでいる、欠落している、または効果のない締結具がある
- ✓ ナットとホイールの間の隙間は、緩んでいるか効果のない締結具を示す

22.4 損傷したホイール、リム、または取り付け部品

ホイール、リム、およびそれらを取り付けるために使用されるすべての部品に、損傷、ひび割れ、または破損がないか点検してください。

- ✓ 重大な欠陥：ホイール、リム、または取り付け部品が損傷、ひび割れ、または破損している
- ✓ 内側と外側のホイールアッセンブリの両方を点検してください

CHAPTER 23

Wheels, hubs and fasteners

23.1 ホイール/ハブ/ベアリングの故障が差し迫っている証拠

受験者は、ホイールおよびハブ構成部品の正常な外観を理解し、深刻な不安全状態を示す視覚的な兆候を認識しなければなりません。差し迫った故障の視覚的な証拠がある場合は、重大な欠陥です。

- ✓ 重大な欠陥：ホイール、ハブ、またはベアリングの故障が発生する可能性を示す視覚的な証拠
- ✓ ホイールおよびハブアセンブリを検査し、故障が差し迫っている兆候を確認する

23.2 ホイールファスナーの緩み、欠落、または機能不全

ホイールファスナー（ナットとボルト）は常に適切に締め付けられていなければなりません。受験者は、欠落しているファスナーを検出し、ナットとホイールの間の隙間など、緩んでいるファスナーまたは機能していないファスナーの兆候を認識する必要があります。これは重大な欠陥です。

- ✓ 重大な欠陥：いずれかのホイールに緩んでいる、欠落している、または機能していないファスナーがある
- ✓ ナットとホイールの間の隙間は、緩んでいるまたは機能していないファスナーを示す
- ✓ 欠落しているファスナーと緩みの目視サインを点検する

23.3 損傷、ひび割れ、または破損したホイール/リム/取付部品

受験者は、個々のホイール構成部品の正常な外観を理解しておく必要があります。ホイール、リム、または取付部品の損傷、ひび割れ、破損は重大な欠陥です。視認性が向上する場合はフードを開き、内側と外側のホイールアセンブリを点検してください。

- ✓ 重大な欠陥：ホイール、リム、または取付部品が損傷、ひび割れ、または破損している
- ✓ 内側と外側のホイールアセンブリを点検し、視認性が向上する場合はフードを開く

23.4 ハブオイルとホイールシール

ホイールハブは潤滑を必要とするベアリングを使用しており、潤滑は多くの場合オイルで、サイトグラスを通して確認できます。ホイールシールが漏れるとベアリング故障を引き起こす可能性があります。ハブオイル不足とシール漏れはどちらも軽微な欠陥です。

- ✓ 軽微な欠陥：ハブオイル量が最低値未満（サイトグラス付きの場合）
- ✓ 軽微な欠陥：ホイールシール漏れの証拠
- ✓ サイトグラスでオイルが最低値以上あることを確認し、ホイール内部にオイルや染みがないか確認する。

CHAPTER 24

Commercial Vehicle Impoundment Program

24.1 重大な欠陥に対する車両留置

O. Reg. 512/97 に基づき、登録官（Registrar）は、重大な欠陥（ブレーキ、ステアリング、ホイール/リム、タイヤ、フレーム、サスペンション）のある商用車を留置することができます。初回違反の留置期間は15日間、2年以内の2回目は30日間、2年以内の3回目以降は60日間です。罰金は最高20,000ドルに達することがあります。

- ✓ 重大な欠陥には、ブレーキ、ステアリング、ホイール/リム、タイヤ、フレーム、サスペンションが含まれる
- ✓ 初回違反の留置期間は15日間で、2年以内の2回目は30日間に倍増する
- ✓ 2年以内の3回目以降の違反は60日間の留置となる
- ✓ 重大な欠陥のある状態で運転した場合の罰金は最高20,000ドル

24.2 重大な欠陥に対する車両差押え

O.Reg 512/97に基づき、登録官は重大な欠陥（エア/油圧ブレーキ、ステアリング、ホイール/リム、タイヤ、フレームおよびサスペンション）のある商用車を差し押さえることができます。差押え期間は、初回違反で15日、2年以内の2回目で30日、2年以内の3回目以降で60日です。重大な欠陥のある車両を運転した場合の罰金は、最大$20,000です。

- ✓ 初回の重大欠陥違反 = 15日間の差押え; 2年以内の2回目 = 30日; 3回目 = 60日
- ✓ 重大欠陥にはブレーキ、ステアリング、ホイール/リム、タイヤ、フレーム/サスペンションが含まれる
- ✓ 重大欠陥のある車両を運転した場合の罰金は最大$20,000

CHAPTER 25

Precautions

25.1 一般的な安全運転の注意事項

法律を厳格に守り、良好な運転慣行に従ってください。トラックを後退させる際は、すべてのバックミラーを使用し、可能であれば誰かに誘導してもらい、細心の注意を払ってください。悪天候では、格別の注意をもって運転手順を変更する必要があります。道路、天候、交通状況に応じて速度を調整してください。トラックを許可された積載量を超えて積載しないでください。急停車が必要となる状況を避けてください。許可されていない者が運転席に座ったり、操作装置を操作したりすることを決して許さないでください。

- ✓ トラックを許可された積載量を超えて積載しないこと
- ✓ 道路、天候、交通状況に合わせて速度を調整すること
- ✓ 許可されていない者にトラックやその操作装置を操作させないこと
- ✓ 急停車が必要となる状況を避けること

CHAPTER 26

Class A or D Road Test

26.1 路上試験要件

路上試験では、日常点検を実演しなければなりません（点検項目を挙げ、状態を説明する）。Class A 受験者は、連結車両ユニットの切り離しと連結、および後退（バック）を実演しなければなりません。すべての受験者は交通の中で運転し、車両を安全に操作しなければなりません。車両にエアブレーキが装備されている場合は、輪止め／ブロックを持参してください。

- ✓ 日常点検を実演し、点検項目を挙げ、状態を説明しなければなりません
- ✓ Class A 受験者は、連結ユニットの切り離し、連結、および後退を実演しなければなりません
- ✓ 車両にエアブレーキが装備されている場合は、輪止めまたはブロックを持参してください

26.2 路上試験の形式と時間配分

すべての路上試験には決められた時間枠があります。試験官は各部分に許される時間を知らせ、試験について説明しますが、試験中に助言（コーチング）をすることはできません。開始前に質問してください。RV制限付きクラスDの受験者は、日常点検を実演する必要はありません。

- ✓ 路上試験には試験官が事前に説明する決められた時間枠がある
- ✓ 試験官は試験中に助言できない — 開始前に質問すること
- ✓ RV制限付きクラスDの受験者は日常点検を実演しない

CHAPTER 27

Yielding the Right-of-Way

27.1 交差点における通行優先権

他の人に先に通行させなければならない通行優先権を譲らなければならない具体的な規則があります。これらの規則は、信号や標識のない交差点、全方向停止、左折および譲歩標識に適用されます。

- ✓ 信号や標識のない交差点では、右から接近するすべての車両に譲歩しなければなりません
- ✓ 全方向停止の交差点では、最初に完全に停止した車両に譲歩しなければならず、同時に停止した場合は左側の車両が右側の車両に譲歩しなければなりません
- ✓ 左折するときは接近する交通と歩行者が通過するまで待たなければならず、右折するときは歩行者が横断するまで待たなければなりません
- ✓ 譲歩標識は、必要に応じて速度を落とすか停止してから、交差する道路の交通に譲歩しなければならないことを意味します
- ✓ 私有地または進入路から道路に進入するときは、道路の車両と歩道の歩行者に譲歩しなければなりません

27.2 横断箇所で歩行者に道を譲る

特別に標示された横断歩道、クロスオーバー、交通指導員がいる学校横断箇所では、歩行者が道路を完全に横断するまで優先権を譲って待たなければなりません。合図を出しても優先権は得られません。

- ✓ 標示された横断歩道、クロスオーバー、交通指導員がいる学校横断箇所では、歩行者が完全に横断するまで譲って待つこと
- ✓ 合図を出しても優先権は得られない — 進路が安全であることを確認しなければならない

CHAPTER 28

Traffic lights

28.1 青、黄、赤信号の意味

青信号では、既に交差点内にいる車両や歩行者に道を譲った後で、左折、直進、右折をすることができます。右左折するときは歩行者に道を譲らなければなりません。黄信号は赤信号がまもなく現れることを意味します — 安全に停止できる場合は停止してください。赤信号は、停止線、横断歩道、歩道の端、または交差点の端で完全に停止することを意味します。

- ✓ 青信号では、既に交差点内にいる歩行者と車両に道を譲る
- ✓ 黄信号は、安全に停止できる場合は停止を意味し、赤信号がまもなく現れる
- ✓ 赤信号では停止線で停止する。停止線がない場合は、横断歩道、歩道、または交差点の端で停止する

28.2 赤信号での右左折

標識で禁止されていない限り、完全に停止した後、進路が安全である場合にのみ、赤信号で右折できます。赤信号での左折は、一方通行路から一方通行路へ進む場合に限り、完全に停止した後で、かつ安全が確認できたときにのみ行えます。

- ✓ 禁止されていない限り、赤信号での右折は、完全に停止した後、進路が安全な場合にのみ許可されます。
- ✓ 赤信号での左折は、一方通行路から一方通行路へ進む場合に限り、完全に停止した後にのみ許可されます。

28.3 点滅灯、回転灯、消灯信号

赤い点滅信号または赤い回転灯では完全に停止し、安全な場合にのみ進んでください。黄色の点滅信号または黄色の回転灯は注意して運転することを意味します。停電時などで信号が消えている場合は、全方向一時停止として扱い、交差点内の車両と右側から進入する車両に道を譲ってください。

- ✓ 赤い点滅信号または赤い回転灯では、進む前に完全に停止する必要があります
- ✓ 黄色の点滅信号または黄色の回転灯は、注意して進むことを意味します
- ✓ 消灯している、または作動していない信号は全方向一時停止として扱い、右側の交通に道を譲る

28.4 青信号、黄信号、赤信号

青信号は、交差点内の車両や歩行者に譲った後で、左折、直進、または右折してもよいことを意味します。右左折時には横断中の歩行者に譲らなければなりません。黄信号（アンバー）は赤信号がまもなく現れることを意味し、安全に停止できる場合は停止し、そうでない場合は注意して進んでください。赤信号は完全に停止することを意味します。

- ✓ 青信号では、曲がる前に交差点内に既にいる歩行者や車両に譲ってください
- ✓ 黄信号では、安全に停止できる場合は停止し、そうでない場合は注意して進んでください
- ✓ 赤信号では、完全に停止してください

28.5 赤信号で停止する位置

赤信号では、標示された停止線で停止してください。停止線がない場合は、横断歩道（標示の有無を問わず）で停止してください。横断歩道がない場合は、歩道の端で停止してください。歩道がない場合は、交差点の端で停止してください。青信号になり、交差点が空いていることを確認してから進んでください。

- ✓ 停止線で停止し、停止線がなければ横断歩道、次に歩道の端、次に交差点の端で停止する
- ✓ 青信号になり、交差点が空いていることを確認してから進む

28.6 アドバンス青信号または矢印

点滅する青信号、または青信号と同時に表示される左向きの青い矢印は、正しい車線から左折、直進、右折できることを示します。対向車は依然として赤信号だからです。歩行者は、歩行者用信号が指示しない限り、点滅する青信号で横断してはなりません。

- ✓ アドバンス青信号（点滅する青信号／左向き矢印）は、対向車が赤信号であることを意味します
- ✓ アドバンス青信号では、正しい車線から左折、直進、右折できます
- ✓ 歩行者は、点滅する青信号で横断してはなりません

28.7 同時左折および保護左折

左折用の緑色矢印が赤信号とともに表示されている場合、左折車線から左折できます。対向する左折車両も同じ矢印に従う場合があります。矢印の後に黄色の矢印が出たら、まもなく青信号になるという意味です。左折を開始せず、安全であれば停止してください。完全保護左折には専用の信号機があり、直進交通の青信号が表示された後は左折を開始してはいけません。

- ✓ 左折用の緑色矢印があれば、左折車線から左折できます
- ✓ 緑色矢印の後の黄色の矢印は、左折を開始してはいけないという意味です。安全であれば停止してください
- ✓ 完全保護左折では、直進交通の青信号が表示された後は左折を開始してはいけません
- ✓ 交差点内にいるときに信号が変わった場合は、注意して左折を完了してください

28.8 点滅信号と無灯信号

赤色の点滅信号では完全に停止し、安全なときだけ進んでください。黄色の点滅信号は、交差点を注意して通過するという意味です。停電で信号機が無灯の場合は、その交差点を全方向一時停止として扱い、交差点内の車両と右側から来る車両に道を譲ってください。

- ✓ 赤色の点滅信号は完全に停止し、安全なときに進むという意味です
- ✓ 黄色の点滅信号は注意して進むという意味です
- ✓ 無灯または作動していない信号機は全方向一時停止として扱ってください

28.9 進行可能な青信号と同時左折

点滅する青信号または青信号を伴う左折用青矢印（進行可能な青信号）により、対向車が赤信号である間に左折、直進、または右折ができます。赤信号を伴う左折用青矢印は左折を許可し、その後の黄矢印は青信号がまもなく表示されることを意味します — 左折を開始しないでください。安全な場合は停止してください。歩行者は歩行者信号で許可されない限り、点滅する青信号または左折用青矢印で横断してはいけません。

- ✓ 進行可能な青信号は、対向車がまだ赤信号である状態を意味します
- ✓ 黄矢印が表示されたときに左折を開始しないでください。安全に実行できる場合は停止してください
- ✓ 歩行者は信号で許可されない限り、点滅する青信号または左折矢印で横断することはできません

28.10 公共交通優先信号と完全保護左折

公共交通優先信号（信号機の上部にある白い縦棒）では、競合する交通が赤信号の間、すべての車両と歩行者は公共交通車両に譲らなければなりません。完全保護左折交差点には別個の信号機があり、緑の矢印でのみ左折でき、直進交通用の青信号が表示された後は左折を開始してはいけません。

- ✓ 公共交通優先信号では、車両と歩行者は公共交通に譲らなければならない
- ✓ 完全保護左折では、直進交通用の青信号が表示された後に左折を開始してはならない

28.11 交通ビーコン

交通ビーコンは、交差点の上や標識／障害物に取り付けられた単一の点滅灯です。赤色の点滅ビーコンは、完全に停止し、安全なときだけ進むことを意味します。黄色の点滅ビーコンは、注意して運転するよう警告します。

- ✓ 赤色の点滅ビーコンは、進む前に完全に停止しなければならないことを意味します。
- ✓ 黄色の点滅ビーコンは、注意して運転するよう警告します。

28.12 公共交通優先信号

公共交通優先信号では、車両と歩行者は公共交通車両に道を譲らなければなりません。上部の丸い信号は暗い背景に白い縦棒を示し、公共交通が通過または曲がることができる一方、競合する交通は赤信号に直面します。

- ✓ 公共交通優先信号では、車両と歩行者は公共交通に道を譲らなければなりません
- ✓ 暗い背景に白い縦棒があると、他の交通が赤信号に直面する間、公共交通の進行が許可されます

CHAPTER 29

In-cab Check

29.1 計器および空気圧ゲージ

すべての計器とインジケーターが正常で、正しく作動していることを確認してください。エアブレーキ車両では、空気圧ゲージが作動し、通常の作動範囲内にあることを確認してください。

- ✓ すべての計器とインジケーターが正常で作動していることを確認
- ✓ 空気圧ゲージ（エアブレーキ車両のみ）は通常の作動範囲内でなければならない

29.2 車内点検の概要

外観点検の後、車両に乗り込み、車内点検を行います。すべての項目を指さすか触れ、何を点検しているかを十分に説明しなければなりません。点検を行うには、車両を始動します。この部分では、軽微または重大な欠陥を列挙する必要はありません。

- ✓ すべての項目を指さすか触れ、何を点検するのか説明すること
- ✓ 点検を行うために車両を始動すること
- ✓ この部分では軽微/重大な欠陥を列挙する必要はない

29.3 座席、シートベルト、ミラー、フロントガラス

運転席がしっかり固定されていること、シートベルトが安全で良好な状態であること、フロントガラスが障害物やガラスの損傷がなくクリアであること、ミラーが適切に調整されていることを確認する。

- ✓ 運転席とシートベルトが確実に固定され、正常に作動する状態であることを確認する
- ✓ フロントガラスが障害物や損傷がなくクリアで、ミラーが適切に調整されていることを確認する

29.4 ヒーター/デフロスター、ステアリング、ワイパー

すべての位置でヒーターとデフロスターが作動することを確認する。ステアリングホイールが確実に取り付けられ、正常に反応し、過度な遊びがないことを確認する。ワイパーとウォッシャー液が正常に作動することを確認する。

- ✓ ヒーターとデフロスターはすべての位置で作動しなければならない
- ✓ ステアリングホイールは確実に固定され、過度な遊びがあってはならない
- ✓ ワイパーとウォッシャー液は正常に作動しなければならない

CHAPTER 30

Hours of service

30.1 1日の勤務時間制限

運転者は1日に10時間の勤務外時間を取らなければならず、1日に13時間を超えて運転することはできず、勤務時間が14時間を過ぎた後は運転できません。少なくとも8時間の勤務外時間の後は、16時間が経過した後に運転できません。

- ✓ 運転者は1日に10時間の勤務外時間を取らなければならない
- ✓ 運転者は1日に13時間を超えて、または勤務時間が14時間を過ぎた後に運転することはできない
- ✓ 8時間の勤務外時間の後は、16時間が経過した後に運転できない

30.2 サイクル要件とリセット

運行事業者は7日間（70時間）または14日間（120時間）のサイクルを指定します。14日間サイクルでは、運転者は連続24時間のオフデューティを取らずに70時間を超えて運転することはできません。すべての運転者は、直前の14日間に少なくとも連続24時間のオフデューティ時間が必要です。リセットには36時間のオフ（7日間）または72時間のオフ（14日間）が必要です。

- ✓ 7日間サイクルの限度はオン・デューティ70時間、14日間サイクルの限度は120時間です
- ✓ 14日間サイクルの運転者は、70時間を蓄積する前に連続24時間のオフデューティ時間が必要です
- ✓ サイクルのリセットには連続36時間のオフ（7日間）または72時間のオフ（14日間）が必要です

30.3 勤務時間規制を遵守しなければならない対象者

勤務時間規制（O. Reg. 555/06）は、4,500 kgを超える商用自動車の運転者およびバス／スクールバスに適用されます。免除には、4,500 kg以下の車両、短期リース車両、農産物／林産物運搬車、レッカー車、モーターホーム、路線バス、緊急車両が含まれます。

- ✓ 4,500 kgを超える商用車およびバス／スクールバスに適用される
- ✓ バス以外の4,500 kg以下の車両は免除される
- ✓ レッカー車、モーターホーム、路線バス、緊急車両は免除される

30.4 勤務状態区分

勤務時間区分は4つあります：非勤務（寝台以外）、寝台での非勤務、運転中の勤務、運転を伴わない勤務。勤務中の活動には、運転、点検/清掃/修理、共同運転者としての移動（寝台以外）、荷積み/荷卸し、検査時の待機が含まれます。

- ✓ 4つの勤務区分：非勤務、寝台での非勤務、運転中の勤務、運転を伴わない勤務
- ✓ 勤務には点検、荷積み/荷卸し、検査時の待機が含まれる

30.5 日次運行記録の要件と免除

日次運行記録は手書き、コンピューター生成、または記録装置による作成が可能で、運転者名、日付、共同運転者、サイクル、走行距離計の読み、ナンバープレート番号、運行者情報、勤務状態の時刻/場所、総距離、署名を含めなければなりません。半径160 km以内を運転し、同じ場所に戻り、その日に1つの運行者にのみ勤務する場合は、運行記録は不要です。

- ✓ 日次運行記録には、勤務状態の開始/終了時刻、場所、走行距離計の読み、運転者の署名を含めなければなりません。
- ✓ 運行記録の免除には、半径160 km以内の運転、出発地点への帰着、その日の運行者が1つであることが必要です。
- ✓ 運行記録が免除される場合、運行者はその日の勤務状態時間の記録を保持しなければなりません。

CHAPTER 31

Driver conduct

31.1 交通の妨害と合図

優れた運転者は、坂道では右側に寄って後続車に追い越させることで遅れを減らします。交通の流れの速度を維持できないときはハザードランプを点灯してください。後続の運転者に追い越しても安全だと伝えるために左折ウインカーを決して使用しないでください。これは法律違反であり、あなたが左折や車線変更の合図をしていると考える他の運転者を混乱させます。

- ✓ 坂道では右側に寄り、後続車に追い越させる
- ✓ 交通の流れの速度を維持できないときはハザードランプを点灯する
- ✓ 後続の運転者に追い越しても安全だと伝えるために左折ウインカーを決して使用しない - 違法です

31.2 商用車両の車間距離

トラックが停車後に高速道路へ入る際は、十分な空間を確保できる間隔を空けてください。商用自動車は、時速60km（40mph）を超える速度で高速道路上を走行する場合、他の車両との間に少なくとも60メートル（200フィート）の最小距離を維持しなければなりません。ただし、追い越しおよび追い抜きをする場合を除きます。

- ✓ 時速60kmを超える速度では、車両間に最低60メートル（200フィート）を維持する
- ✓ この距離要件は、追い越しおよび追い抜きをする場合には適用されない

31.3 スピードリミッター要件

スピードリミッター要件は、1995年以降に製造され、製造者の総車両重量定格（MGVWR）が11,794kg（26,000ポンド）以上で、電子制御エンジンを搭載した商用車に適用されます。速度制限システムは105km/h（65mph）以下に設定しなければなりません。バス、移動式クレーン、モーターホーム、救急車、心停止緊急車両、消防車両は免除されます。

- ✓ スピードリミッターは105km/h（65mph）以下に設定しなければなりません
- ✓ 1995年以降の車両で、MGVWRが11,794kg（26,000ポンド）以上かつ電子制御エンジンを搭載する場合に適用されます
- ✓ バス、移動式クレーン、モーターホーム、救急車、消防車両は免除されます

31.4 不適切な追い越しと威嚇行為

方向指示器を点けてすぐに、接近した密集交通に割り込むのは避けてください。複数車線の高速道路で、速度差が小さすぎて後続交通を不当に妨げる場合は、他の大型車両を追い越してはいけません。車両の大きさを使って他者を威嚇する運転者（ブラフ行為）は重大な危険を生みます。

- ✓ 車の流れが接近し密集しているときは、交通に割り込んではいけない
- ✓ 速度差が後続交通を妨げる場合は、他の大型車両を追い越してはいけない
- ✓ 車両の大きさを使って威嚇したり、交通を無理やり押し通ったりしてはいけない

CHAPTER 32

In-cab check

32.1 キャブ内ゲージと空気圧

すべてのゲージとインジケーターが正常で、正しく機能していることを確認してください。エアブレーキ車両では、空気圧ゲージが正しく作動し、通常の動作範囲内にあることを確認してください。

- ✓ すべてのゲージとインジケーターが正常で、正しく機能していることを確認してください
- ✓ エアブレーキ車両では、空気圧ゲージが通常の動作範囲内にあることを確認してください

32.2 車内点検の概要と要件

外観点検の後、受験者は車両に乗り込み、エンジンを始動して車内点検を行います。受験者は各項目を指さすか触れ、何を点検しているのかを説明しなければなりませんが、この部分では軽微な欠陥または重大な欠陥を列挙する必要はありません。

- ✓ すべての項目を指さすか触れ、各項目で何を点検するのかを完全に説明する
- ✓ 車両を始動し、必要な車内点検をすべて行う
- ✓ 車内点検中は、軽微な欠陥または重大な欠陥を列挙する必要はない

32.3 座席、シートベルト、ミラー、フロントガラス

運転席とシートベルトが安全に固定され、良好な作動状態にあること、フロントガラスが障害物や損傷のない透明な状態であり、ミラーが適切に調整されていることを確認する。

- ✓ 運転席が安全に固定され、シートベルトが安全に固定され、良好な作動状態にあることを確認する
- ✓ フロントガラスが障害物や損傷のない透明な状態であり、ミラーが適切に調整されていることを確認する

32.4 ヒーター/デフロスター、ステアリング、ワイパー

ヒーターとデフロスターがすべての位置で作動すること、ステアリングホイールが確実に取り付けられて過度な遊びがないこと、フロントガラスのワイパーとウォッシャー液が正常に作動することを確認してください。

- ✓ ヒーターとデフロスターがすべての位置で作動することを確認する
- ✓ ステアリングホイールが確実に固定され、正常に反応し、過度な遊びがないことを確認する
- ✓ フロントガラスのワイパーとウォッシャー液が正常に作動することを確認する

CHAPTER 33

Interior Inspection

33.1 運転席とシートベルト

運転席は、車両を制御するために適切に位置決めされ、所定の位置にロックされていなければなりません。シートベルトは正しく着用し、良好な作動状態に保たなければなりません。

- ✓ 軽微な不具合：座席が損傷している、または設定位置に留まらない
- ✓ 重大な不具合：シートベルトまたはテザーベルトが不安定、欠落、または誤作動している
- ✓ ベルトが装着時と取り外し時に正常に作動することを確認する

33.2 フロントガラス用ワイパー／ウォッシャー欠陥

ワイパーとウォッシャーの操作方法を理解し、定期的に点検する。ブレードがフロントガラスを十分に拭き取れなくなった時を認識する。気象条件によって、ワイパーの故障が重大な欠陥となるかどうかが決まる。

- ✓ 軽微な欠陥：制御装置／システムの故障、またはワイパーブレードが損傷、欠落、もしくは運転者の視界を確保できない
- ✓ 重大な欠陥：気象条件によりワイパー／ウォッシャーが必要なときに、運転席側ワイパーの拭き取り範囲を清掃できない
- ✓ ワイパーとウォッシャーがすべての方向で機能することを確認する

33.3 車内点検の形式

キャブ内チェックの後、Schedule 1からランダムに生成された2つの項目を見つけて点検します。各項目について、点検を実演し、考えられる欠陥を説明し、軽微および／または重大な欠陥に対して取るべき措置を説明しなければなりません。

- ✓ Schedule 1からランダムに生成された2つの項目を点検する
- ✓ 点検を実演し、欠陥を説明する
- ✓ 軽微および重大な欠陥に対して取るべき措置を説明する

33.4 緊急装備

あなたの輸送の種類に必要な緊急装備と、その点検方法を理解してください。緊急フレア、ランプ、または反射板の位置を口頭で特定してください。

- ✓ 軽微な欠陥：必要な緊急装備が欠けている、損傷している、または作動しない
- ✓ 緊急フレア、ランプ、または反射板の位置を口頭で特定し、それらが作動することと固定されていることを確認する

33.5 ヒーター/デフロスターシステム

ヒーター/デフロスターは、結露でフロントガラスが曇らないように、常に使用可能でなければなりません。すべての方向位置をテストしてください。

- ✓ 軽微な不具合：ヒーター/デフロスターシステムが正しく作動しない
- ✓ すべての方向位置でファンをオンにし、正しく作動することを確認する
- ✓ 該当する場合、デフロスターがフロントガラスを曇りのない状態に保つことを確認する

33.6 ガラスとミラー

車両周囲の明確な視界は不可欠です。運転者に求められる視界を低下させるひび割れや損傷がないか、必要なミラーと窓を点検し、ミラーが調整されていることを確認してください。

- ✓ 軽微な欠陥：ミラーまたは窓ガラスにひび割れ、破損、損傷、欠落、または不適切な調整があり、求められる視界を低下させている
- ✓ ミラーが適切に調整されていることを確認する

CHAPTER 34

Driving — classes A and D

34.1 エンジンのかけ方

始動するには、パーキングブレーキをかけ、クラッチを踏み込み、トランスミッションをニュートラルに入れ、電源を入れスターターを作動させ、必要に応じてエンジン回転数を上げ、油圧を確認します。エアブレーキ車では、発進前にエア圧計が十分な圧力を示し、警告ブザーまたは警告灯が消えている必要があります。

- ✓ 始動前にパーキングブレーキをかけ、クラッチを踏み込み、トランスミッションをニュートラルに入れる
- ✓ エアブレーキ車では、発進前にエア圧が十分で、警告ブザーまたは警告灯が消えていること
- ✓ 始動後、ゲージで適切なエンジン油圧を確認する

34.2 ブレーキの使用と下り勾配

車両が減速するにつれて一定の圧力をかけ、その後ゆるめ、停止直前に解除して急な揺れを避ける。滑りやすい路面（限界ブレーキング）を除き、ブレーキをポンピングしてはならない。長い下り勾配では過度なブレーキ使用を避け、エンジンブレーキと登坂時と同じギアを使用する。低空気圧警告が作動した場合は直ちに停止する。

- ✓ 乾燥した路面ではブレーキをポンピングしてはならない。ポンピングは空気圧を低下させ、何の役にも立たない。
- ✓ 長い勾配で速度を制御する主要な手段としてエンジンブレーキを使用する。
- ✓ 坂を下るときは、登るときと同じギアを使用する。
- ✓ 低空気圧警告装置が作動した場合は直ちに停止し、空気圧の低下を修正してから進む。

34.3 コンビネーション車両のブレーキとスキッド制御

コンビネーションでは、トレーラーとトラックのブレーキはフットバルブを介して同時に作動します（バランス制動）。トレーラーブレーキはハンドバルブで独立して作動させることができます。トラクターがジャックナイフした場合（後輪が横に滑った場合）は、トレーラーブレーキのみを作動させます。トレーラーの後輪が滑った場合は、すべてのブレーキを解除し、アクセルを徐々に踏み込みます。

- ✓ バランス制動は、フットバルブを介してトレーラーとトラックトラクターのブレーキに等しい圧力を加える
- ✓ トラクターがジャックナイフした場合は、トレーラーブレーキのみを作動させる
- ✓ トレーラーの後輪が横に滑った場合は、すべてのブレーキを解除し、アクセルを徐々に踏み込む

34.4 スプリングブレーキとブレーキ故障

スプリングブレーキは、サービスブレーキが故障したときの駐車または非常用に作動し、空気圧が約414 kPa（60 psi）未満に低下すると自動的に作動します。平坦な道路でブレーキが故障した場合は、シフトダウンしてエンジンブレーキを使用してください。より短い距離で停止するには非常ブレーキを使用し、修理が完了するまで再び運転しないでください。

- ✓ 空気圧が約414 kPa（60 psi）未満に低下すると、スプリングブレーキは自動的に作動します
- ✓ ブレーキが故障した場合は、シフトダウンしてエンジンブレーキを使用し、より短い距離で停止するには非常ブレーキを使用してください
- ✓ 修理が完了するまで再び運転しないでください

34.5 連結車両の駐車

駐車した車両を所定の位置に保つには、パーキングブレーキをかけ、片側または両側の後輪の前後に輪止め／ブロックを当てて車両を固定します。駐車した車両を保持するためにトレーラーハンドバルブやトラクタプロテクションバルブを絶対に使用しないでください。

- ✓ 駐車した車両を固定するには、パーキングブレーキをかけ、後輪の前後に輪止めを当てる
- ✓ 駐車した車両を保持するためにトレーラーハンドバルブやトラクタプロテクションバルブを絶対に使用しない

34.6 停止位置と坂道

すべての一時停止標識と赤信号では完全に停止し、該当する場合は停止線、次に横断歩道、次に歩道の端、次に交差点の端で停止してください。長く急な坂道を下る前に低速ギアにシフトダウンしてください。減速した速度で急な坂道を登る場合は、運転を続け、登坂中は四方向ハザードランプを点灯させ続けてください。

- ✓ 停止線、横断歩道、歩道の端、交差点の端の優先順位で停止すること
- ✓ 下り坂を開始する前にシフトダウンすること。下り坂では上り坂と同じギアでいること
- ✓ 減速した速度で急な坂道を登る場合は四方向ハザードランプを点灯させること

34.7 鉄道踏切での停止

鉄道踏切は赤と白のX標識で示されています。踏切を渡る前に速度を落とし、音を聞き、左右を確認してください。列車が接近している場合は、最も近いレールまたは遮断機から少なくとも5メートル離れた場所で停止してください。バスおよびその他の公共車両は、保護されていない踏切では停止しなければなりません。スクールバスはすべての踏切で停止しなければなりません。列車は停止するまでに最大2キロメートルかかることがあります。

- ✓ 列車が接近している場合は、最も近いレールまたは遮断機から少なくとも5メートル離れて停止する
- ✓ 遮断機/バリアが下りている、下がっている途中、または上がっている途中は、決してそれを回り込んだり、下をくぐったり、通り抜けたりして運転してはならない
- ✓ バスおよび公共車両は、遮断機、信号機、または一時停止標識で保護されていない踏切で停止しなければならない
- ✓ 線路を渡っている間はギアチェンジを避ける。列車は停止するまでに最大2 kmかかることがある

34.8 スクールバスに対する停車

上部の交互点滅赤色灯を点灯して停止しているスクールバスに近づくときは、後方からでも前方からでも必ず停止してください。後方から近づく場合は、少なくとも20メートル後ろで停止してください。中央分離帯のある分離道路では、バスの後方の車両のみ停止する必要があります。アームが格納され、ライトの点滅が止むまで停止したままにしてください。

- ✓ 赤色灯が点滅している停止中のスクールバスの後方で、少なくとも20メートル離れて停止する
- ✓ 中央分離帯のある道路では、バスの後方から来る車両のみ停止しなければならない
- ✓ 初回違反の罰金は400ドルから2,000ドルで、6点の減点。5年以内の2回目は1,000ドルから4,000ドル
- ✓ スクールバスはすべての鉄道踏切で停止するが、その停止では上部の交互点滅赤色灯を使用しない

34.9 旋回、操舵、オフトラック

後輪は前輪より短い経路をたどり、ホイールベースが長いほどオフトラックが大きくなる。カーブでは、旋回弧を先導する。右カーブでは、後輪が車線を越えたり舗装から外れたりするのを防ぐため、前輪を車線の左側に近づけて保つ必要がある。左カーブでは、前輪を舗装の右端に近づけて保つ必要がある。

- ✓ 後輪は前輪より短い半径の経路をたどる（オフトラック）
- ✓ 右カーブでは、前輪を車線の左側に近づけて保つ
- ✓ 左カーブでは、前輪を舗装の右端に近づけて保つ

34.10 車両の発進とトランスミッション

発進するときは、クラッチとパーキングブレーキを徐々に解除し、エンストを防ぐためにエンジン回転数を上げます。発進後、少なくとも15 m（50 ft）以内にブレーキを確認してください。最も低い適切なギアで発進し、ドライブラインに衝撃荷重をかけず、クラッチを過度に滑らせないでください。

- ✓ 発進後、少なくとも15メートル（50フィート）以内にブレーキを確認すること
- ✓ 車両を最も低い適切なギアで発進させること
- ✓ ドライブラインに衝撃荷重をかけたり、クラッチを過度に滑らせたりしないこと

34.11 車軸間デファレンシャルロック

タンデム後車軸車両で使用されるデファレンシャルロックにはロック位置とロック解除位置があり、通常はロック解除状態に保ちます。車輪がスリップするおそれがある場合にのみロックを使用してください。ロックは両方の車軸に動力を均等に伝達します。車輪が実際に空転しているときはロックを作動させないでください。

- ✓ 通常は車軸間デファレンシャルロックをロック解除位置に保つ
- ✓ 片方または両方の車輪がスリップするおそれがある場合にのみロックを使用する
- ✓ 車輪が実際に空転しているときはデファレンシャルロックを作動させない

34.12 ブレーキ点検手順

運転者は、ブレーキが適切に作動していない状態を識別しなければならない。動力補助付き油圧ブレーキの場合は、補助をなくすためにペダルをポンピングし、適度に踏み込み、エンジンを始動する（ペダルは少し下がって止まるはずである）。下がり続ける場合、または下がらない場合は、運行停止とする。動力補助なしのブレーキの場合は、踏み込んだ状態を保持する。継続的に下がる場合は、運行停止とする。

- ✓ 動力補助付き油圧ブレーキでは、エンジン始動時にペダルが少し下がった後、止まるはずである。
- ✓ ペダルが下がり続ける場合（または動力補助なしで継続的に下がる場合）は、車両を運行停止にしなければならない。
- ✓ 故障が検出された場合は、ブレーキシステムを専門的に点検してもらう必要がある。

34.13 学校横断歩道での停止

学校横断歩道の交通指導員が赤と白の停止標識を掲げている場合は、横断歩道の手前で停止し、指導員を含むすべての人が道路全体から完全に離れ、安全に進むことができるまで停止したままでいてください。違反すると高額の罰金と3点の減点が科されます。

- ✓ 指導員を含むすべての人が道路全体から完全に離れるまで停止し、停止したままでいる
- ✓ 学校横断歩道での停止に従わない場合、高額の罰金と3点の減点が科される

34.14 歩行者用クロスオーバーでの停止

歩行者用クロスオーバーでは、運転者と自転車運転者は停止し、歩行者を横断させなければなりません。歩行者と交通誘導員が安全に歩道にいることを確認してからでなければ進んではいけません。歩行者用クロスオーバーから30メートル以内ではいかなる車両も追い越してはならず、歩行者を横断させるために停止した車両を追い越しては決してなりません。

- ✓ 歩行者用クロスオーバーでは停止し、歩行者が完全に横断するまで待ってから進む
- ✓ 歩行者用クロスオーバーから30メートル以内では、いかなる車両も追い越してはならない
- ✓ 歩行者を横断させるために停止した車両を追い越しては決してならない

34.15 クリアランス

大型車両の運転者は、車両の高さと幅を把握し、橋やアンダーパスのクリアランス標識に従わなければなりません。オンタリオ州における最大高さは4.15メートルです。道路補修、悪路、路面凍結、洪水により、本来十分なクリアランスが減少することがあります。

- ✓ オンタリオ州における最大車両高は4.15メートルです
- ✓ 橋やアンダーパスのクリアランス標識に注意し、従ってください
- ✓ 特定の高速道路、時間帯、曜日にトラックを禁止する標識に従ってください

CHAPTER 35

Sharing the road

35.1 小型車と道路を共有する

ほとんどの小型車の運転者は大型車の操作を理解していません。トラクター・トレーラーは乗用車の2倍の停止距離を必要とし、速度に達するまでにより長い時間がかかります。車間距離を詰めすぎないでください。追い越されるときは、速度を落として速い車が前方に入れるようにして、礼儀正しく対応してください。意思を明確に合図してください。あなたの曲がるスペースに入ってくる運転者に注意してください — ゆっくり進み、後方を確認し、曲がり終える前に確認してください。

- ✓ トラクター・トレーラーは平均的な乗用車の2倍の停止距離を必要とする
- ✓ 小型で速い車が安全に追い越して前に入れるよう、速度を落とす
- ✓ 曲がり終える前に、自分の曲がるスペースにどの車両も入っていないことを確認する

35.2 自転車利用者との道路共有

自転車利用者は通常、縁石から約1メートル離れて走行しますが、安全のために車線のどの部分でも使用することがあります（障害物の回避、線路を90°で横断すること、危険な追い越しを防ぐことなど）。自転車利用者を追い越すときは少なくとも1メートルの間隔を空け、可能な場合は車線を変更してください。右折するときはミラーと右側の死角を確認してください。左折するときは停止し、対向する自転車が通過するのを待ってください。自転車ボックスの後ろで停止し、ボックス内では停止しないでください。駐車中にドアを開ける前に自転車利用者がいないか確認してください。

- ✓ 自転車利用者を追い越すときは少なくとも1メートルの間隔を空け、可能な場合は車線を変更する
- ✓ 右折するときは右側の死角を確認し、自転車利用者の進路をふさがないようにする
- ✓ 左折するときは停止し、対向する自転車が通過するのを待つ
- ✓ 交通信号では自転車ボックス内ではなく、その後ろで停止する

35.3 オートバイとモペットとの道路共有

オートバイ、限定速度モーターサイクル及びモペットは、大きさのため見つけにくく、急な動きをすることがあります。右端の近くを走ることもありますが、車線全体を使用する権利があります。多くのオートバイの方向指示器は自動的に消えないため、方向指示器を点けたまま近づいてくるオートバイの前で左折する際は注意し、実際に曲がるのか確認してください。

- ✓ オートバイとモペットには車線全体を使用する権利があります
- ✓ 方向指示器を点けたまま近づいてくるオートバイの前で左折する際は注意してください。実際には曲がらない可能性があります

35.4 自治体バスとの道路共有

バスベイには、ブロック中央の引っ込んだ停車帯、交差点の前後にある引っ込んだ場所、および駐車区域の間にあるバス停区域が含まれます。バスベイ内のバスが退出するために左折ウインカーを点滅させており、あなたが隣接車線から接近している場合、そのバスが交通に再合流できるようにしなければなりません。

- ✓ バスベイから出ようと合図しているバスが交通に再合流できるようにしなければなりません。
- ✓ バスベイには3種類あります：ブロック中央、交差点付近、駐車区域の間。

35.5 農業機械との道路共有

農業機械は低速で走行します（最大40km/h、けん引時はさらに低速）。多くの場合、車体が大型で、運転者が後方を見るのが困難です。農家は作付けや収穫の時期に畑へ直接曲がり入ることがあり、暗くなった後も道路を走行していることがあります。農業機械は後部に橙色と赤色の低速車両標識を表示しなければなりません。速度を落とし、十分な距離を保ち、安全になるまで追い越さないでください。

- ✓ 農業機械は後部に橙色と赤色の低速車両標識を表示しなければなりません
- ✓ 低速車両標識は時速40km以下での走行を示します
- ✓ 安全になるまで農業機械から十分な距離を保ち、追い越さないでください

35.6 歩行者と道路を共有する

違法横断者を含む歩行者には特に注意してください。道路に転がり込んだボールを子供が追いかけてくることがあります。学校区域、住宅地域、子供が遊ぶ可能性のある場所では徐行してください。高齢者や障害のある歩行者には特に注意してください。移動補助機器を使用する人は歩行者として扱われ、歩道がない場合は対向交通に面する左側の路肩を通行します。路面電車の安全島は適切な速度で通過してください。

- ✓ 学校区域と住宅地域では徐行し、注意深く運転する
- ✓ 移動補助機器を使用する人は歩行者と同様に扱われる
- ✓ 歩道がない場合、移動補助機器の使用者は対向交通に面する左側の路肩を通行する
- ✓ 歩行者への特別な危険を示すコミュニティ安全ゾーンの標識に注意する

CHAPTER 36

Interior inspection

36.1 運転席およびシートベルトの不具合

運転席は、車両を操作できるよう適切に位置し、設定した位置に保持されなければなりません。シートベルトは確実に固定され、機能していなければなりません。損傷している、またはロックしないシートは軽微な不具合です。固定されていない、欠落している、または誤作動するシートベルトまたはテザーベルトは重大な不具合です。

- ✓ 軽微な不具合：シートが損傷している、または運転位置に保持されない
- ✓ 重大な不具合：シートベルトまたはテザーベルトが固定されていない、欠落している、または誤作動する
- ✓ シートベルトを装着した状態と外した状態でテストし、正しく機能することを確認する

36.2 フロントガラスのワイパーとウォッシャー

ワイパーとウォッシャーは、使用可能であることを確認するため定期的に試験しなければなりません。制御装置またはシステムの故障、およびブレードの損傷や欠落は軽微な欠陥です。天候上それらの使用が必要なときに、運転席側の払拭範囲をきれいにできない場合は重大な欠陥です。

- ✓ 軽微な欠陥：制御装置またはシステムの故障、またはワイパーブレードの損傷、欠落、もしくは運転者の視界をきれいにできないこと
- ✓ 重大な欠陥：天候上ワイパーまたはウォッシャーが必要なときに、運転席側のワイパーが払拭する範囲をきれいにできない場合
- ✓ ワイパーとウォッシャーが全方向で機能し、フロントガラスをきれいにすることを確認するため点検する

36.3 車内点検の形式

車内点検の後、受験者は別表1から無作為に生成された2つの項目を見つけて点検します。各項目について、点検を実演し、考えられる欠陥を説明し、軽微な欠陥または重大な欠陥を発見した場合に取るべき措置を説明します。

- ✓ 別表1から無作為に生成された2つの項目を点検しなければならない
- ✓ 点検を実演し、欠陥を説明し、軽微な欠陥および／または重大な欠陥に対する措置を説明する

36.4 緊急装備および安全装置

発炎筒、ランプ、反射板などの必要な緊急装備が搭載され、作動し、しっかり固定されていなければなりません。受験者は、自分の輸送類型にどの装備が必要かを知っておく必要があります。装備の欠落、損傷、不具合は軽微な欠陥です。

- ✓ 軽微な欠陥：必要な緊急装備が欠落している、損傷している、または適切に作動しない
- ✓ 緊急用の発炎筒、ランプ、反射板の位置を口頭で特定し、それらが作動し、しっかり固定されていることを確認する

36.5 ヒーター／デフロスターシステム

ヒーター／デフロスターは、フロントガラスを結露から澄んだ状態に保つため、常に使用可能でなければなりません。正しく作動しないシステムは軽微な欠陥です。すべての風向位置でファンをテストしてください。

- ✓ 軽微な欠陥：ヒーター／デフロスターシステムが正しく作動しない
- ✓ すべての風向位置でファンをオンにし、デフロスターがフロントガラスを曇りなく保つことを確認する

36.6 ガラスとミラー

車両周辺の状況を明確に確認できることは不可欠です。ひび割れ、破損、損傷、欠落、または調整不良があり、視界を低下させる必須のミラーまたは窓ガラスは軽微な欠陥です。

- ✓ 軽微な欠陥：必須のミラーまたは窓ガラスが、ひび割れ、破損、損傷、欠落、または調整不良により、要求される視界を提供できない場合
- ✓ 要求される視界を低下させるひび割れや損傷がないかミラーと窓を点検し、ミラーが適切に調整されていることを確認する

CHAPTER 37

Commercial Vehicle Operator Registration (CVOR)

37.1 CVOR証明書の要件

CVORはトラックおよびバスの運行の安全性の実績を追跡します。登録プレート重量(または実際重量)が4,500kgを超えるトラック、および10人以上の乗客を運ぶように設計されたバスを運行するには、CVOR証明書が必要です。オンタリオ、米国、またはメキシコでプレート登録された車両がオンタリオで走行する場合に適用されます。申請手数料は255ドルです。

- ✓ プレート重量/実際重量が4,500kgを超えるトラックにはCVOR証明書が必要です
- ✓ 10人以上の乗客を運ぶように設計されたバスにはCVORが必要です
- ✓ オンタリオ、米国、またはメキシコでプレート登録された車両がオンタリオで走行する場合に適用されます

37.2 CVOR記録と制裁

CVOR記録には、運送事業者情報（走行キロ数、違反率、安全評価）、報告対象の衝突事故、有罪判決、およびすべての車両検査が含まれます。すべての項目は、違反日から5年間記録に残ります。記録が許容できない状態になると、省は警告、監査、またはCVOR証明書、ナンバープレートおよび許可証の取消しや停止を含む制裁を課すことがあります。

- ✓ CVOR記録の項目は違反日から5年間残ります
- ✓ 許容できない記録は警告書、監査、または制裁につながる可能性があります
- ✓ 制裁にはCVOR証明書、ナンバープレートおよび許可証の取消しまたは停止が含まれます

CHAPTER 38

Driving in Roundabouts

38.1 ラウンドアバウトでの大型車の運転

ラウンドアバウトを通行する大型車の運転者は、中央エプロン(中央島の走行可能な部分)を含む道路全体の幅を必要とする場合があります。また、進入前に両方の車線を占有する必要がある場合があります。

- ✓ 大型車は中央エプロンを含む道路全体の幅を使用する必要がある場合があります
- ✓ ラウンドアバウトに進入する前に、車両は両方の車線を占有する必要がある場合があります
- ✓ 大型車の後輪は、曲がり切るために中央エプロンに乗り上げることがあります
- ✓ 大型車は大きく振れることがあるため、横に十分なスペースを空けてください

38.2 ラウンドアバウト内の緊急車両

ラウンドアバウト内にいるときに緊急車両が接近してきた場合は、意図する出口まで進み、交通島を越えてから路肩に寄せて停止してください。

- ✓ ラウンドアバウト内にいるときに緊急車両が接近してきた場合は、出口まで進み、交通島を越えてから路肩に寄せて停止してください
- ✓ まだラウンドアバウトに進入していない場合は、右側に寄せて停止し、緊急車両が通過するまで待ってください

CHAPTER 39

Pedestrian signals

39.1 歩行者信号の表示と通行優先権

白い歩行者の表示は、歩行者が横断できることを意味します。点滅または点灯しているオレンジ色の手は、横断を始めてはならないことを意味します。手の表示が出たときにすでに横断している歩行者は、安全な場所へすみやかに移動すべきであり、引き続き通行優先権があります。押しボタンがある場所では、歩行者は押して横断信号を点灯させなければなりません。

- ✓ 白い歩行者の表示は横断を許可し、オレンジ色の手は横断を始めてはならないことを意味する
- ✓ 横断中の歩行者はすべての車両に対して通行優先権がある
- ✓ 歩行者は点滅する緑信号または左折用緑矢印では横断してはならない

39.2 歩行者用信号のシンボル

白い歩行者のシンボルは、歩行者が信号の方向に横断でき、すべての車両に対して優先権があることを意味します。点滅または点灯している橙色の手のシンボルは、横断を開始してはいけないことを意味します。すでに横断している歩行者は速やかに安全な場所に到達する必要があり、引き続き優先権があります。

- ✓ 白い歩行者のシンボルは、歩行者が横断できるようにし、優先権を与えます
- ✓ 点滅または点灯している橙色の手のシンボルは、横断を開始してはいけないことを意味します
- ✓ 歩行者は、点滅する緑色信号または左折用の緑色矢印で横断してはいけません

39.3 交差点用歩行者信号

押しボタンがある場所では、歩行者はボタンを押して歩行信号を点灯させなければならず、これにより横断時間が長くなります。交差点用歩行者信号には、横断歩道、歩行/非歩行信号、押しボタン、および幹線道路のみの信号機があり、より小さな交差道路は一時停止標識で制御されています。

- ✓ 押しボタンが設置されている場所では、歩行者はボタンを押して歩行信号を作動させなければならない
- ✓ 交差点用歩行者信号は幹線道路にのみ信号機があり、交差道路には一時停止標識がある

CHAPTER 40

Size and Weight Limits for Commercial Motor Vehicles

40.1 幅、長さ、高さの制限

商用車の幅は2.6 m（8.5 ft）に制限されています。車両から30 cmを超えて張り出さないミラーは除外されます。セミトレーラーは14.65 m（48 ft）、または特別要件を満たす場合は16.2 m（53 ft）に制限されています。適格なダブルトレーラー連結を除き、どの連結車両も23 m（75.5 ft）を超えることはできません。積載物を含む最大高さは4.15 m（13.6 ft）です。

- ✓ 最大幅は2.6メートル（8.5 ft）です。
- ✓ 最大連結長は23メートル（75.5 ft）で、適格なダブルトレーラーは例外です。
- ✓ 積載物を含む最大高さは4.15メートル（13.6 ft）です。

40.2 最大許容総重量の決定

総重量がHTA第VII部の制限を超える場合、道路で運行することはできません。許容重量は、車軸数、タイヤサイズ、サスペンション形式、車軸間距離、積載物の種類（骨材／非骨材）、および操舵軸重量によって異なります。複数の計算値のうち低い方が最大値となります。運転者、運行者、荷主はすべて責任を負い、起訴されることがあります。

- ✓ HTA第VII部で許可された最大重量を超えることはできない
- ✓ 計算された重量値のうち低い方が最大許容総重量である
- ✓ 運転者、運行者、荷主はすべて車両重量に責任を負う

CHAPTER 41

Driving at Night and in Bad Weather

41.1 霧の中での安全運転

最善の策は霧の中での運転を避けることです。霧に巻き込まれた場合は、ロービームを使用し、車間距離を広げてください。ハイビームは水分の粒子に反射し、見えにくくなります。

- ✓ 霧の中ではロービームを使用する。ハイビームは湿気に反射して見えにくくなる
- ✓ 道路の走行部分に停車しないこと。玉突き衝突を引き起こす可能性がある
- ✓ 車間距離を広げ、中央線ではなく道路の右端を目安にする
- ✓ 霧が濃すぎる場合は、道路から完全に外れて停車し、非常点滅灯を点け、ロービームを点けたままにする
- ✓ 霧が晴れそうに見えても、急に加速しない

41.2 雨の日の運転とハイドロプレーニング現象

雨は道路を滑りやすくします。特に降り始めの雨滴が落ちる時は危険です。速度が速すぎたり水量が多すぎたりすると、タイヤが水の上を走ることがあります。これがハイドロプレーニング現象で、車両の制御が非常に難しくなります。

- ✓ 路面が濡れているときは減速し、ハイドロプレーニング現象を避けるために溝の深い良好なタイヤを維持する
- ✓ 雨の日は前方の車両との車間距離をより多く取る
- ✓ 水たまりでの運転は避ける。水たまりは穴を隠したり、視界を妨げたり、ブレーキを効きにくくしたりする可能性がある
- ✓ スリップの可能性を減らすため、ハンドル操作、ブレーキ、アクセル操作を滑らかに行う

41.3 ヘッドライトの照射距離を超えた運転とグレア

制動距離が見える距離より長いとき、ヘッドライトの照射距離を超えて運転しています。グレアとは、見えにくくするまぶしい光です。夜間はグレアを減らすため、正しいヘッドライトのビームを使用してください。

- ✓ ヘッドライトの照射距離を超えて運転しないこと — 制動距離は見える距離を超えてはなりません
- ✓ 対向車から150メートル（500フィート）以内、または60メートル（200フィート）以内で追従するときは、ロービームを使用すること
- ✓ 対向車の明るいヘッドライトとすれ違うときは、上方とその先、やや右を見ること
- ✓ 田舎道では、カーブや丘の頂上でロービームに切り替えること

41.4 浸水した道路での運転

浸水した道路では、水によりブレーキが効かなくなるおそれがあるため、運転を避けてください。やむを得ず運転する場合は、その後ブレーキをテストして乾かしてください。

- ✓ 浸水した道路を避ける — 水によりブレーキが効かなくなるおそれがある
- ✓ その後、時速50kmで素早くしっかりと停止してブレーキをテストし、車両が直線で停止することを確認する
- ✓ ブレーキが乾いた後も片側に引っ張られる、またはペダルがスポンジ状のままである場合は、直ちに車両を修理に出す

CHAPTER 42

Pavement markings

42.1 線の色と追い越し規則

黄色い線は反対方向に通行する車両を分離し、白い線は同じ方向に通行する車両を分離します。車線の左側にある実線は追い越しが安全でないことを意味し、破線は前方が明瞭で、安全に追い越しを完了するのに十分なスペースがあれば追い越してよいことを意味します。

- ✓ 黄色い線は対向交通を分離し、白い線は同一方向の交通を分離します
- ✓ 左側の実線は追い越し禁止を意味し、破線は前方が明瞭であれば追い越しが許可されることを意味します

42.2 線の色と意味

路面標示は標識や信号と連携して、進行方向と通行できる場所を示します。黄色い線は反対方向に進む交通を分離し、白い線は同じ方向に進む交通を分離します。

- ✓ 黄色い線は反対方向に進む交通を分離します
- ✓ 白い線は同じ方向に進む交通を分離します

42.3 実線と破線の追い越し線

車線の左側の実線は、追い越しが安全でないことを意味します。左側の破線は、前方が明確で、安全に追い越しを完了するのに十分な破線が前方にある場合に追い越してもよいことを意味します。

- ✓ 左側の実線は追い越しが安全でないことを意味します
- ✓ 左側の破線は、前方が明確で追い越しを完了する余地がある場合に追い越しを許可します

42.4 停止線、横断歩道、矢印

停止線は、どこで停止すべきかを示す一本の白線です。停止線がない場合は、横断歩道、次に歩道の端、次に交差点の端で停止します。横断歩道は、平行する二本の白線です。車線上の白い矢印は、その矢印の方向にのみ進めることを意味します。二本の実線は、交通を固定物から離れる方向に導きます。

- ✓ 停止線で停止する。停止線がない場合は、横断歩道、歩道の端、次に交差点の端で停止する
- ✓ 車線の白い矢印は、その方向にのみ進めることを意味する
- ✓ 二本の実線は、橋脚などの固定物から交通を離れる方向に導く

42.5 連続線、停止線、横断歩道

左側の連続線（より幅が広く、間隔の狭い破線）は、あなたの車線が終了または出口であることを意味し、車線変更をしなければなりません。右側の連続線は、車線が続くことを意味します。停止線は、どこで停止すべきかを示す一本の白線です。停止線がない場合は、横断歩道、次に歩道の端、次に交差点の端で停止してください。横断歩道は、2本の平行な白線で示されます。

- ✓ 左側の連続線は車線が終了することを意味します。続行するには車線変更してください
- ✓ 停止線で停止してください。停止線がない場合は、横断歩道、歩道の端、次に交差点の端で停止してください

42.6 矢印、横断歩道、物体標示

車線に描かれた白い矢印は、その方向にのみ進めることを意味します。歩行者横断歩道には二重の平行な白線が2組あり、接近する各車線にX印があり、頭上に黄色い灯があります — 線の手前で停止し、歩行者に道を譲ってください。実線および黄色/黒の標示は、橋脚などの固定物体から交通を遠ざけるように導きます。

- ✓ 白い車線矢印は、その方向にのみ進めることを意味します
- ✓ 歩行者横断歩道では、線の手前で停止し、歩行者に道を譲ってください

42.7 コンティニュイティライン

コンティニュイティラインは、通常の破線より幅が広く、間隔が狭い破線です。左側のコンティニュイティラインは、通常、自分の車線が終了または出口に向かっていることを意味し、そのまま進むには車線変更が必要です。右側のコンティニュイティラインは、自分の車線が影響を受けずに続いていることを意味します。

- ✓ 左側のコンティニュイティラインは、自分の車線が終了または出口に向かっていることを意味します — 車線変更してください
- ✓ 右側のコンティニュイティラインは、自分の車線が影響を受けずに続いていることを意味します

42.8 歩行者用クロスオーバーの標示

歩行者用クロスオーバーは、道路を横切る2本の二重平行白線、各進入車線のX標示、頭上黄色灯で示されます。線の手前で停止し、歩行者に道を譲ってください。

- ✓ 歩行者用クロスオーバーには、二重白線、X標示、頭上黄色灯があります
- ✓ クロスオーバーでは、線の手前で停止し、歩行者に道を譲ってください

CHAPTER 43

Uncoupling and Coupling Test

43.1 切り離しと連結の手順

日常点検テストの後、車両を降りて、トラック／トラクターとトレーラーの切り離しと連結を安全に実演します。車両はあらかじめ決められた安全な場所に配置されます。最初に切り離しを行い、その後で連結を行います。

- ✓ 切り離しと連結の両方を安全に実演しなければなりません
- ✓ 最初に切り離しを行い、その後で連結を行います
- ✓ 場所は、この手順を行うのに安全な場所としてあらかじめ決められています

CHAPTER 44

Yielding the right-of-way

44.1 交差点における通行優先権のルール

標識や信号のない交差点では、右側から接近するすべての車両に道を譲らなければなりません。全方向停止交差点では、最初に停止した車両に道を譲ります。2台が同時に停止した場合は、左側の車両が右側の車両に道を譲ります。左折するときは、接近する交通と歩行者を待ち、譲らなければなりません。右折するときは、歩行者を待ち、譲らなければなりません。譲れの標識は、減速または停止して、交差する道路内または道路上の交通に道を譲ることを意味します。私道やドライブウェイから進入するときは、道路の車両と歩道の歩行者に道を譲らなければなりません。

- ✓ 標識や信号で制御されていない交差点では、右側から接近する車両に道を譲る
- ✓ 全方向停止交差点では、2台が同時に停止した場合、左側の車両が右側の車両に道を譲る
- ✓ 右左折するときは歩行者に道を譲り、ドライブウェイから進入するときは道路の交通と歩行者に道を譲る
- ✓ 合図を出しても通行優先権は得られない - 進路が安全であることを必ず確認しなければならない

44.2 歩行者用横断歩道での譲り方

特別に標示された歩行者用横断歩道またはクロスオーバー、および交通指導員がいる学校横断歩道では、優先通行権を譲り、歩行者が道路を完全に横断するまで待たなければなりません。

- ✓ 横断歩道またはクロスオーバーでは、進む前に歩行者が完全に横断するまで待つ
- ✓ 交通指導員がいる学校横断歩道に譲る

CHAPTER 45

Uncoupling and coupling test

45.1 切り離しおよび連結手順

毎日の点検試験の後、受験者は車両を降りて切り離しおよび連結の部分を実施し、あらかじめ定められた安全な場所でトラック／トラクターとトレーラーの安全な切り離しおよび連結を実演します。切り離しを先に行い、その後で連結を行います。

- ✓ トラック／トラクターとトレーラーの切り離しおよび連結を安全に実演しなければならない
- ✓ 車両は、この手順に適した安全なあらかじめ定められた場所に配置される
- ✓ 切り離しを先に行い、その後で連結を行う

CHAPTER 46

Vehicle Safety, Maintenance and Daily Inspections

46.1 携帯および提出書類

商用車ドライバーは、適切なクラスの有効な運転免許証、車両・トレーラーの登録証、CVOR証明書、保険証明書、24時間以内に完了した日常点検報告書および点検予定表、当日と過去14日間の運行日誌、ならびに裏付け書類（燃料、通行料、宿泊費の領収書）を携帯し、要求に応じて提出しなければなりません。

- ✓ 有効な運転免許証、登録証、CVOR証明書および保険証明書を携帯しなければなりません
- ✓ 24時間以内に完了した日常点検報告書と点検予定表を携帯しなければなりません
- ✓ 当日および過去14日間の運行日誌を携帯しなければなりません

46.2 タイヤのトレッド深さ要件

自動車の後輪タイヤは、隣接する2本の溝で測定したトレッドが1.5 mm（0.06 in）未満であってはならない。車両総重量定格が4,500 kgを超える自動車の前輪タイヤは、隣接する2本の溝に少なくとも3 mm（0.12 in）のトレッドがなければならない。

- ✓ 後輪タイヤは、隣接する2本の溝に少なくとも1.5 mm（0.06 in）のトレッドがなければならない
- ✓ 前輪タイヤ（4,500 kgを超える車両）は、少なくとも3 mm（0.12 in）のトレッドがなければならない
- ✓ タイヤとホイールは、認定タイヤ取付者または整備士によって取り付けられなければならない

46.3 計量所および検査遵守

警察官または省の職員はいつでもどこでも安全検査を実施でき、あなたに最寄りの検査所まで運転することを要求することができます。計量所へ向かうことを拒否または怠ることは違反であり、最大20,000ドルの罰金（第124条(5)）および最大30日の免許停止が科されることがあります。積荷の再分配または取り除きを拒否したり、計量を妨害したりすると、200ドルから20,000ドルの罰金が科されます（第124条(6)）。

- ✓ 計量所へ向かうことを拒否すると、最大20,000ドルの罰金および最大30日の免許停止となります
- ✓ 積荷の再分配を拒否したり、計量を妨害したりすると、200ドルから20,000ドルの罰金が科されます
- ✓ 求められた場合、車両の検査に協力しなければなりません

46.4 ホイール締結具の再点検

新しいタイヤ/ホイールの取り付け後、または修理のためにホイールを取り外した後は、ホイール、ホイール締結具、タイヤを点検してください。ホイールメーカーは、取り付け後80kmから160kmの間にホイール締結具を再点検することを推奨しています。

- ✓ 取り付け後80kmから160kmの間にホイール締結具を再点検する
- ✓ 新規取り付け後または修理のための取り外し後に、ホイール、締結具、タイヤを点検する

46.5 ステアリングの遊び点検

遊び（フリープレイ）またはガタ（ラッシュ）とは、タイヤが動き始める前にステアリングホイールが動く距離です。エンジンをかけた状態で車輪を正面向きにし、指でステアリングホイールを左右に回し、タイヤの抵抗を感じるまで確認します。回転が過大であれば、遊びまたはガタが過大であることを示します。

- ✓ エンジンをかけた状態で車輪を正面向きにしてステアリングの遊びを点検する
- ✓ タイヤが動く前にステアリングホイールが過度に回転する場合は、遊びまたはガタが過大であることを示す

CHAPTER 47

Skids and Braking Systems

47.1 スキッドからの回復

スキッドは、1本以上のタイヤが路面とのグリップを失ったときに発生し、多くの場合、滑りやすい路面で、通常は状況に対して速度を出しすぎたために起こります。急ブレーキや急激なハンドル操作、急加速はスキッドを引き起こすことがあります。

- ✓ スキッドを避けるには、速度を落として運転し、操作装置を滑らかに操作し、曲がるときはゆっくりと行ってください
- ✓ 車両がスキッドした場合は、アクセルまたはブレーキを緩め、非常に滑りやすい路面では、可能であればトランスミッションをニュートラルに入れてください
- ✓ 進みたい方向にハンドルを切り続け、切り過ぎないように注意してください
- ✓ 制御を取り戻したら、穏やかに滑らかにブレーキをかけてください

47.2 アンチロック・ブレーキ・システム（ABS）

ABSは制動中に車輪速度を感知し、車輪がロックしようとすると制動力を弱め、タイヤのスリップと操舵制御の喪失を防ぎます。強い制動や低摩擦路での安全性を高めます。

- ✓ ABSは車輪のロックを防ぎますが、停止距離を短縮するものではありません
- ✓ ABS付き車両では、ブレーキペダルを強く踏み、システムに車輪のロックを制御させてください
- ✓ 緊急制動中にペダルに脈動を感じてもペダルを離さないでください — これは正常なABSの作動です

47.3 スレッショルドブレーキング

スレッショルドブレーキングは、滑りやすい状況でも自分の車線内で制御された停止に導くもので、一般にABS非装備車両で行われます。

- ✓ スキッドを起こさない範囲でできるだけ強くブレーキをかけます。車輪がロックし始めたら、圧力を少し緩めて再度かけます。
- ✓ ブレーキをポンピングしないでください。
- ✓ 希望する速度まで減速するまで、この方法でブレーキングを続けてください。

CHAPTER 48

Keeping your licence

48.1 運転免許証の携帯と更新

オンタリオ州では、写真と署名入りの一体型免許証があり、運転するときは常に携帯しなければなりません。80歳未満のクラスA、B、C、E、Fの運転者は、更新のために視力検査と知識試験に合格する必要があり、通常は5年ごとです。エアブレーキ免許保持者については、筆記エアブレーキ試験は筆記知識試験のサイクルに合わせて行われ、実技エアブレーキ試験は路上試験が実施される場合にのみ必要です。

- ✓ 運転するときは常に免許証を携帯し、警察に提示しなければなりません
- ✓ 80歳未満のクラスA/B/C/E/F運転者は、更新のために視力検査と知識試験に合格する必要があり、通常は5年ごとです
- ✓ 実技エアブレーキ試験は、路上試験が実施される場合にのみ必要です

48.2 年齢に基づく更新および再免許の規則

クラスA〜Fの65〜79歳の運転者は、過失による衝突事故の後、または3点以上の減点が累積した後は、視力検査、知識試験、路上試験に合格しなければなりません。80歳以上の運転者は、更新前に視力検査、知識試験、路上試験に合格しなければなりません。免許が停止、取消し、または3年以上失効している場合は、商業クラスの資格を得る前に再申請し、段階的免許制度のすべての要件を満たす必要があります。

- ✓ 65〜79歳の運転者は、過失衝突事故または3点以上の減点後に再試験を受けなければなりません
- ✓ 80歳以上の運転者は、更新のたびに視力検査、知識試験、路上試験に合格しなければなりません
- ✓ 3年以上失効した免許は、すべての試験を含む完全な再申請が必要です

48.3 商用運転免許の医療報告スケジュール

商用運転免許保有者（Class Dを除く）は、年齢に応じて1〜5年ごとに健康診断に合格しなければなりません。期限の3か月前に通知と空欄の用紙が届きます。提出しないと免許がClass Gに降格されます。報告頻度: 46歳未満は5年ごと、46〜64歳は3年ごと、65歳以上は毎年、Class Dは80歳以上は毎年です。

- ✓ 必要な医療報告書を提出しないと、免許がClass Gに降格されます。
- ✓ 46歳未満の運転者は5年ごと、46〜64歳は3年ごと、65歳以上は毎年報告します。
- ✓ 医療通知は、報告書の期限の3か月前に届きます。

48.4 氏名または住所の変更および免許に関する法律

氏名または住所を変更した場合は6日以内にオンタリオ州交通省に届け出なければならず、住所が変更された場合は新しい免許証を取得する必要があります（無料）。免許証を貸したり、他人に使用させたり、改ざんされた免許証や偽造免許証、他人の免許証を使用したり、オンタリオ州の運転免許証を複数保有することは違法です。

- ✓ 氏名または住所の変更から6日以内に交通省に届け出ること
- ✓ 免許証を貸与したり、改ざんしたり、オンタリオ州の運転免許証を複数保有することは違法である

48.5 免許の携帯および更新要件

オンタリオ州では、写真と署名入りの一体型運転免許証を発行しており、運転するときは常に携帯しなければなりません。A、B、C、EまたはFクラスの80歳未満の運転者（およびDクラスの65歳超の運転者）は、通常5年ごとに更新のために視力試験と知識試験に合格する必要があります。65〜79歳の運転者は、過失のある衝突事故後、または3点以上の減点が累積した場合、視力、知識、路上試験に合格する必要があります。80歳以上の運転者は、更新前に視力、知識、路上試験に合格する必要があります。

- ✓ 運転するときは常に運転免許証を携帯しなければならない
- ✓ 通常5年ごとに視力試験と知識試験を受けて更新する
- ✓ 65〜79歳の運転者は、過失のある衝突事故または3点以上の減点後に再試験を受けなければならない
- ✓ 80歳以上の運転者は、更新のために視力、知識、路上試験に合格しなければならない

48.6 商用運転者の医療報告

商用免許保有者は定期的に基準を満たす医療報告書を提出する必要があり、提出しない場合はClass Gに降格されます。報告頻度は年齢によって異なります。46歳未満は5年ごと、46〜64歳は3年ごと、65歳以上は毎年、Class D運転者は80歳以上で毎年です。通知と未記入の用紙は提出期限の3か月前に届きます。

- ✓ 必要な医療報告書を提出しないと、免許はClass Gに降格されます
- ✓ 46歳未満の運転者は5年ごと、46〜64歳は3年ごと、65歳以上は毎年に報告します
- ✓ 通知と医療用紙は報告期限の3か月前に郵送されます

48.7 運転免許に関する法律と再申請

免許を貸したり、他人に使用させたり、改ざんされた免許や偽造免許を使用したり、他人の免許を自分のものとして使用したり、オンタリオ州の免許を複数保有することは違法です。免許が停止、取消し、または期限切れの状態で3年を超える場合、商用クラスを再取得する前に再申請し、段階的免許制度のすべての要件を満たさなければなりません。

- ✓ オンタリオ州の運転免許を貸与、改ざん、または複数保有することは違法です
- ✓ 3年を超えて期限切れまたは停止となった免許は、段階的免許制度を通じた完全な再申請が必要です

48.8 氏名または住所の変更

氏名または住所を変更した場合は、6日以内にオンタリオ州交通省（Ministry of Transportation）に届け出て、新しい免許を取得する必要があります。氏名・住所の変更による新しい免許の発行手数料はかかりません。氏名の変更には、理由に応じて婚姻証明書、養子縁組の裁判所命令、または改名証明書が必要です。

- ✓ 氏名または住所の変更後6日以内にオンタリオ州交通省へ届け出る
- ✓ 新しい免許が必要で、氏名・住所の変更に手数料はかからない
- ✓ 新しい免許が届いたら古い免許を破棄する

CHAPTER 49

Backing Skills Test

49.1 後退試験の操作

後退試験では、後退中の安全な操作と、周囲の物体に対する車両位置の判断を評価します。次のいずれか1つの操作を行います。運転席側の90度アレイドック、左オフセット、または右オフセット。コーンが境界を示し、コーンに当たってはいけません。試験官は外側の見える位置にいますが、助言はしません。

- ✓ 次のいずれか1つの操作を行う：運転席側の90度アレイドック、左オフセット、または右オフセット
- ✓ コーンに当たらない。コーン内でできるだけまっすぐに終了する
- ✓ 車両を固定し、終了したことを試験官に知らせる

49.2 後退の採点基準

観察、合図/クラクション、速度、プルアップ、最終位置に基づいて採点されます。後退する前に車両から降りて経路を確認しなければならず、後退中はミラーを使用します。後退する前に四方向ハザードを点滅させ、クラクションを鳴らしてください。歩く速さでのみ後退してください。

- ✓ 後退する前に車両から降りて経路を確認し、後退中はミラーを使用する
- ✓ 後退する前に四方向ハザードを点滅させ、電気クラクションを鳴らす
- ✓ 常に歩く速さで後退する
- ✓ 過度のプルアップはエラーとして数えられる（最初のプルアップは減点されない）
- ✓ 最終位置にできるだけ近づけて後退する

CHAPTER 50

Backing skills test

50.1 後退試験の目的と操作

後退技能試験は、後退中の安全な操作と、周囲の物体に対する車両位置の判断を評価します。次の3つの操作のうち1つを実施します：90度アレイドック（運転席側）、左オフセット、または右オフセット。コーンが境界を示し、コーンに接触してはなりません。

- ✓ 次の3つの操作のうち1つを実施する：90度アレイドック（運転席側）、左オフセット、または右オフセット
- ✓ コーンに接触しないこと；車両はコーン内でできるだけまっすぐに保つこと
- ✓ 終了したら車両を安全に固定し、試験官に知らせる
- ✓ 試験官は車両の外にいて、指導や案内は行わない

50.2 後退の採点カテゴリー

後退は、観察、合図/ホーン、速度、プルアップ、最終位置で採点されます。経路を確認するために車両から降り、後退中はミラーを使用し、歩く速さで後退しなければなりません。過度なプルアップはエラーとして数えられます。

- ✓ 後退する前に車両から降りて経路と周囲を確認し、後退中はミラーを使用する
- ✓ 後退する前に四方向フラッシャーを作動させ、電気ホーンを鳴らす
- ✓ 常に歩く速さで後退する
- ✓ 最初のプルアップは減点されないが、過度な回数はエラーとして数えられる
- ✓ できるだけ最終位置に近づくように車両を後退させる

CHAPTER 51

Driving in roundabouts

51.1 ラウンドアバウトでの大型車の運転

ラウンドアバウト内で大きく膨らむ可能性がある大型車の横には、余分な間隔を空けてください。大型車は、中央エプロン（中央島の乗り上げ可能な盛り上がり部分）を含む道路全幅を使用する必要がある場合があり、進入前に両方の車線を占有する必要がある場合があります。ラウンドアバウト内にいるときに緊急車両が接近した場合は、そのまま出口へ進み、交通島を越えた先で路肩に寄せて停車してください。まだ進入していない場合は、右に寄って待ってください。

- ✓ 大型車は中央エプロンを含む道路全幅を使用することがあります
- ✓ 大型車はラウンドアバウトに進入する前に両方の車線を占有する必要がある場合があります
- ✓ 緊急車両が接近しているラウンドアバウトでは、先に退出してから交通島を越えた先で停車してください

CHAPTER 52

Cargo Securement

52.1 貨物に対する運転者の責任

運転者は、貨物が均等にバランスされ、荷崩れしないように固定されていることを確認する責任があります。すべての積荷は、どの部分も落下しないように、結束、被覆、または確実に固定しなければなりません。緩んだ荷物や動く荷物は、衝突や横転を引き起こす可能性があります。後方に1.5 m（5 ft）以上突き出た積荷は、灯火が必要な場合は赤色灯で、それ以外の場合は赤い旗または標識で表示しなければなりません。

- ✓ 貨物は均等にバランスを取り、どの部分も落下しないように固定しなければならない
- ✓ 後方に1.5 m（5 ft）以上突き出た積荷は、赤色灯または赤い旗/標識で表示しなければならない
- ✓ 運転者は、貨物が適切に固定されていることを確認する責任がある

52.2 貨物の再点検間隔

貨物は運転前に点検し、積み込まれた場所から80km以内で再確認しなければなりません。運転者は、次のいずれか早い方で貨物を再点検し、貨物の固定を調整しなければなりません：勤務状態の変更、3時間の運転、または240kmの走行。貨物が封印されており、開封しないよう命じられている場合、または接近できない場合は、再点検は必要ありません。

- ✓ 積込地点から80km以内で貨物を再確認する
- ✓ 次のいずれか早い方で貨物を再点検する：勤務状態の変更、3時間の運転、または240km
- ✓ 開封しないよう命じられた封印貨物または接近できない貨物は再点検不要

52.3 国家安全コード基準10

オンタリオ州は、CCMTAが策定した貨物固定（Cargo Securement）のための国家安全コード（NSC）基準10を採用しています。貨物を運搬するすべての商用車両はこれを遵守しなければなりません。オンタリオ州規則363/04「Security of Loads」も参照してください。

- ✓ オンタリオ州は貨物固定に関するNSC基準10を採用しています
- ✓ 貨物を運搬するすべての商用車両はNSC基準10を遵守しなければなりません
- ✓ オンタリオ州規則363/04は「Security of Loads」（積荷の安全）を規定しています

CHAPTER 53

Snow, Ice and Whiteouts

53.1 雪道およびホワイトアウトでの運転

雪は固く締まっていたり、滑りやすかったり、轍があったり、柔らかかったりします。吹雪による雪は、視界を完全に遮るホワイトアウトを引き起こすことがあります。状況を予測し、速度を落としてください。

- ✓ 吹雪の中ではロービーム前照灯を使用してください。ハイビームは氷の粒子に反射します。
- ✓ 道路の走行部分に停車しないでください — 玉突き衝突を引き起こす可能性があります。
- ✓ 車間距離を広げ、視界がほぼゼロになったら道路を外れた安全な駐車区域に入るようにしてください。
- ✓ 立ち往生したり取り残された場合は、車両にとどまり、換気のために窓を少し開け、エンジンは控えめに動かし、非常点滅灯を使用してください。
- ✓ 暖かい衣類、食料、懐中電灯、シャベル、毛布を含む冬用運転サバイバルキットを携行してください。

53.2 ブラックアイスの見分け方

気温が氷点下まで下がると、濡れた道路は凍結します。日陰の区域、橋、高架道路は最初に凍結します。ブラックアイスは、アスファルトが黒く光って見えるようにする薄い氷の層です。

- ✓ 日陰の区域や橋、高架道路上の道路区間は最初に凍結します。
- ✓ 道路が黒く光るアスファルトのように見える場合は、ブラックアイスを疑ってください。通常の冬のアスファルトは灰白色に見えるはずです。
- ✓ ブラックアイスが疑われる場合は、速度を落として注意してください。

53.3 除雪車と道路を共有する

除雪車両は、150メートルから見える青色の点滅灯を備えており、幅が広く低速で走行する車両であることを警告しています。一部の車両には、右側に最大3メートルまで張り出すウィングがあります。

- ✓ 青色の点滅灯は、150メートルから見え、幅が広く低速で走行する除雪車両を警告します。
- ✓ 一部の除雪車には、右側に最大3メートルまで張り出すウィングがあります。
- ✓ 高速道路で千鳥状に並ぶ除雪車の間を通過しようとしないでください — 十分なスペースがなく、雪の堤により車両の制御を失うことがあります。

CHAPTER 54

The demerit point system

54.1 減点ポイント制度の仕組み

減点ポイントは運転関連の有罪判決に対して記録され、違反日から2年間、運転記録に残ります。ポイントがたまりすぎると、免許停止となることがあります。また、医学上の理由でも免許が停止されることがあります。医師は、安全運転に影響を与える可能性のある疾患がある16歳以上の人を通報しなければなりません。

- ✓ 減点ポイントは違反日から2年間、運転記録に残る
- ✓ 減点ポイントが多すぎると免許停止につながることがある
- ✓ 医師は安全運転に影響を与える可能性のある医学的疾患を通報しなければならない

54.2 飲酒運転・薬物運転ゼロトレランス

商用ドライバー（クラスA〜F、CVOR車両、道路建設機械）は運転中、アルコールまたは薬物をゼロに保つ必要があります。車両が動いていなくても飲酒運転は犯罪です。警察は呼気検査、現場体検査、薬物認識評価、または口腔液・尿・血液サンプルを要求することができ、拒否または不合格は刑法犯罪として起訴されます。21歳以下のドライバーはゼロの血中アルコール濃度を保つ必要があります。

- ✓ 商用ドライバーは運転中、アルコールまたは薬物がゼロでなければなりません
- ✓ 呼気検査・体検査の要求を拒否または不合格の場合、刑法犯罪として起訴されます
- ✓ 21歳以下のドライバーはゼロの血中アルコール濃度を保つ必要があります

54.3 薬物および薬剤が運転に与える影響

あらゆる形態の薬物 — 大麻、違法薬物、処方薬、市販薬 — は、めまい、視界のかすみ、吐き気、眠気などを通じて運転能力を損なう可能性があります。薬を服用して運転する前に医師または薬剤師に相談してください。薬物とアルコールを併用すると、数日後でも危険な場合があります。

- ✓ 処方薬および市販薬は運転能力を損なう可能性があるため、医師または薬剤師に確認してください
- ✓ 薬物をアルコールと併用すると、数日後でも危険な場合があります

CHAPTER 55

On-road Driving Test

55.1 路上試験の概要

さまざまな交通状況がある試験ルートを運転します。常にシートベルトを着用し、安全かつ責任をもって運転してください。すべての標識、信号、法律に従い、事故や違反なしで試験を完了してください。状況が実際に発生しない場合は、どのように行動するかを説明することでその状況をシミュレートするよう求められることがあります。

- ✓ 常にシートベルトを着用し、すべての交通標識、信号、法律に従ってください
- ✓ 事故や走行違反なしで試験を完了してください
- ✓ 試験官の指示に従ってください。状況が発生しない場合は、自分の行動を説明してシミュレートしてください
- ✓ 状況には、曲がること、交差点、車線変更、道路に沿った走行、カーブ、高速道路、路肩停車・発進が含まれます

CHAPTER 56

Driving at night and in bad weather

56.1 ヘッドライトの照射距離を超えた運転とグレア

停止距離がヘッドライトで見える距離より長い場合、ヘッドライトの照射範囲を超えて運転していることになり、安全に停止するための十分な余地がありません。反射標識は誤解を招くことがあります。グレアについては、夜間は対向車のライトの上方、その先、少し右を見てください。対向車から150メートル（500フィート）以内、または60メートル（200フィート）以内で追従する場合はロービームを使用してください。田舎道のカーブや丘の頂上ではロービームに切り替えてください。

- ✓ ヘッドライトの照射範囲を超えて運転しない - 停止距離が見える距離を超えてはならない
- ✓ 対向車から150メートル（500フィート）以内ではロービームを使用する
- ✓ 車両を60メートル（200フィート）以内で追従する場合はロービームを使用する

56.2 霧の中での運転

最善の行動は霧の中での運転を避けることです。警告がある場合は遅らせてください。霧に巻き込まれた場合：徐々に減速し、ライト類をすべて点灯し、ロービームを使用し（ハイビームは水分に反射します）、フォグライトをロービームと併用し、追い越しや車線変更を避け、道路の右端を目安にし、車間距離を広げ、霧が濃すぎる場合は安全な駐車エリアに完全に退避してください。走行路上で停止したり、急に加速したりしないでください。

- ✓ 霧の中ではロービームの前照灯を使用する。ハイビームは水分に反射して視界を悪化させる
- ✓ センターラインではなく道路の右端を目安にする
- ✓ 道路の走行部分で停止しない - 安全な駐車エリアに退避する
- ✓ 霧が晴れそうに見えても急に加速しない

56.3 雨天走行とハイドロプレーニング現象

雨は道路を滑りやすくします。特に降り始めの雨滴で滑りやすくなります。過剰な水や速度の出しすぎは、タイヤが水の上を走るハイドロプレーニング現象を引き起こし、制御が難しくなります。溝の深い良質なタイヤを維持し、濡れた路面では速度を落としてください。水しぶきを避け、停止できるように車間距離を広げてください。ポットホールを隠したり、視界を妨げたり、エンジンに水を入れたり、ブレーキの効きを悪くする可能性がある水たまりを避けてください。

- ✓ ハイドロプレーニング現象を防ぐため、路面が濡れているときは速度を落とす
- ✓ 溝の深い良質なタイヤを維持する
- ✓ 水しぶきを避け、停止できるように車間距離をより広く取る
- ✓ ポットホールを隠し、ブレーキの効きを低下させる可能性がある水たまりを通らない

56.4 冠水した道路とブレーキのテスト

冠水した道路では運転を避けてください。水によりブレーキが効かなくなることがあります。やむを得ず走行する場合は、その後50km/hで素早くしっかりと停止してブレーキを乾燥させるテストを行ってください。車両は片側に引っ張られることなく直線で停止し、ペダルはスポンジのように柔らかくなく、しっかりした感触でなければなりません。乾燥後も片側への引っ張りやスポンジのようなペダル感触が続く場合は、直ちに修理してください。

- ✓ 冠水した道路を避ける - 水によりブレーキが効かなくなることがあります
- ✓ 水に濡れた後は50km/hで素早くしっかり停止してブレーキをテストする
- ✓ 乾燥後もブレーキのスポンジ感触や片側への引っ張りがある場合は、直ちに車両を修理に出す

56.5 スキッドへの対応

スキッドはタイヤがグリップを失ったときに発生し、主に滑りやすい路面や速度の出し過ぎによって起こります。避けるには、速度を落として運転し、操作装置を滑らかに操作してください。ステアリング操作中にブレーキをかけたり加速したりすると、タイヤがスキッドに近づくことがあります。スキッドした場合は、慌てずにアクセルまたはブレーキから足を緩め、非常に滑りやすい路面では可能ならニュートラルに入れ、進みたい方向にステアリングを続け、過剰なステアリングを避け、制御を取り戻したら穏やかにブレーキをかけてください。

- ✓ ほとんどのスキッドは、路面状況に対して速度を出し過ぎることが原因で起こる
- ✓ スキッド時はアクセルまたはブレーキから足を緩め、進みたい方向にステアリングを切る
- ✓ 非常に滑りやすい路面では、可能ならトランスミッションをニュートラルに入れる
- ✓ 過剰なステアリングを避け、制御を取り戻したら穏やかにブレーキをかける

56.6 アンチロックブレーキ（ABS）

ABSは制動中に車輪速度を感知し、ロックする可能性のある車輪への制動力を弱め、スリップと操舵不能を防ぎます。ABSは停止距離を短縮しません。強くブレーキを踏むと、ペダルに脈動を感じることがあります — 緊急制動中はペダルを放さないでください。ABS搭載車では、ペダルを強く踏み、システムに車輪のロックを制御させてください。

- ✓ ABSは車輪のロックと操舵制御の喪失を防ぎますが、停止距離を短縮するものではありません
- ✓ ABS搭載車で緊急制動中は、脈動を感じてもブレーキペダルを放さないでください
- ✓ ABS搭載車ではブレーキペダルを強く踏み、システムに車輪のロックを制御させてください

56.7 スレッシュホールドブレーキング

スレッシュホールドブレーキングはABS非搭載車両で行う。車輪がロックし始めるまで可能な限り強くブレーキをかけ、その後圧力を少し緩めて車輪のロックを解除し、再度ブレーキをかけることで、スキッドを起こさず最大限の制動を加える。ブレーキをポンピングしてはいけない。希望する速度に達するまで続ける。

- ✓ スレッシュホールドブレーキングはABS非搭載車両で行う
- ✓ 車輪がロックし始めたら強くブレーキをかけ、少し緩めてから再度かける
- ✓ スレッシュホールドブレーキング中はブレーキをポンピングしない

56.8 雪、ホワイトアウト、凍結路での運転

わだちのできた雪道では速度を落とし、急ハンドル、急ブレーキ、急加速を避けてください。吹雪・ホワイトアウトではロービームを使用してください（ハイビームは氷の粒子に反射します）。車間距離を広げ、追い越しを避け、視界がほぼゼロの場合は路肩に停車してください。立ち往生した場合は車に留まり、窓を少し開け、エンジンは控えめにかけ、ハザードランプを使用してください。冬用サバイバルキットを携帯してください。ブラックアイスに注意してください — 通常は灰白色に見えるはずのアスファルトが光っている箇所。橋や高架道路は最初に凍結します。

- ✓ 吹雪ではロービームを使用する。ハイビームは氷の粒子に反射する
- ✓ 悪天候で立ち往生したら、車に留まりエンジンは控えめにかける
- ✓ 冬の運転用サバイバルキットを携帯する（暖かい衣類、食料、懐中電灯、シャベル、毛布）
- ✓ 光るアスファルトのブラックアイスに注意する。橋や高架道路は最初に凍結する

56.9 除雪車と道路を共有する

除雪車両は150メートルから見える青色の点滅灯を備えており、幅が広く低速で走行する車両であることを警告しています。一部の除雪車には、右側に最大3メートルまで張り出すウィングが付いています。高速道路では、除雪車が全車線を除雪するために千鳥配置になることがあります。千鳥配置の除雪車の間を追い越そうとしないでください。十分なスペースがなく、濡れた雪の盛り上がりによって車両が制御不能になるおそれがあります。

- ✓ 除雪車の青色点滅灯は150メートルから見えます
- ✓ 除雪車のウィングは右側に最大3メートルまで張り出すことがあります
- ✓ 高速道路で千鳥配置の除雪車の間を追い越してはいけません

CHAPTER 57

The demerit point system and losing your licence

57.1 商用運転者に対するゼロ・トレランス

商用運転者（クラスA〜F）は、商用車、CVOR対象車両、または道路建設機械を運転する際、アルコールや薬物が一切検出されてはなりません。薬物／アルコールの検出は、免許停止、金銭的制裁、刑事訴追、懲役を含む重大な処罰につながります。

- ✓ 商用運転者は運転中、アルコールや薬物が一切検出されてはなりません
- ✓ ゼロ・トレランスはクラスA〜F車両、CVOR車両、道路建設機械に適用されます
- ✓ 違反は免許停止、金銭的制裁、刑事訴追につながる可能性があります

57.2 飲酒運転法律

アルコールまたは薬物の影響下での運転は犯罪です。車両が動いていなくても起訴されることがあります。警察は呼気検査、標準化された現場酔っぱらい検査、薬物認識評価、および口腔液、尿または血液サンプルを要求することができます。いかなる要求を拒否または不合格の場合、刑法上の起訴対象となります。21歳以下の運転者は血中アルコール濃度がゼロである必要があります。

- ✓ 車両が動いていなくても、ハンドルを握った飲酒運転の状態で起訴される可能性があります
- ✓ 呼気検査、現場酔っぱらい検査またはサンプル要求を拒否または不合格の場合は刑法上の犯罪です
- ✓ 21歳以下の運転者は血中アルコール濃度がゼロである必要があります

57.3 減点制度

減点制度は、より良い運転行動を促します。運転違反による有罪判決は減点を記録し、減点は違反日から2年間記録に残ります。減点が多くなりすぎると、免許停止につながることがあります。

- ✓ 減点は違反日から2年間記録に残ります
- ✓ 減点が多くなりすぎると、免許が停止されることがあります

57.4 医学的およびその他の事由による運転免許停止

医師は、安全運転に影響を与える病状（例：脳卒中、心臓病、めまい）がある16歳以上の人をオンタリオ州交通省に報告しなければなりません。医学的証拠が安全上の危険がないことを示すまで、運転免許が停止されることがあります。

- ✓ 医師は、安全運転に影響を与える病状がある16歳以上の人を報告しなければならない
- ✓ 医学的証拠が安全上の危険がないことを示すまで、運転免許が停止されることがある

57.5 アルコールと薬物の影響

警察はどの運転者でも停止させ、呼気検査、路上スクリーニング検査、または身体協調検査を要求することができ、応じない場合や拒否した場合は刑法上の罪に問われます。すべての薬物 — 大麻、違法薬物、処方薬、市販薬 — は運転能力を損なう可能性があり、薬物とアルコールの併用は数日後でも危険な場合があります。運転前に医師や薬剤師に副作用について尋ねてください。

- ✓ 警察は停止時または検問時に、呼気検査、スクリーニング検査、協調検査を要求することがあります
- ✓ 呼気検査ができない場合、警察は血液サンプルを要求することがあります
- ✓ 処方薬や市販薬は運転能力を損なうことがあるため、副作用を確認してください

CHAPTER 58

On-road driving test

58.1 路上試験の概要と状況

受験者はさまざまな交通状況がある経路を運転し、シートベルトを着用して安全かつ法令に従って運転します。試験官は特定の操作と全般的な運転行動を採点します。状況が利用できない場合、受験者はその状況を模擬し、自分ならどうするかを説明するよう求められることがあります。

- ✓ 安全かつ責任を持って運転し、シートベルトを着用し、すべての標識、信号、法律に従ってください
- ✓ 事故や走行違反なしで試験を完了してください
- ✓ 操作には左折・右折、交差点、車線変更、走行、カーブ、高速道路、路肩での停車・発進が含まれます
- ✓ 交通状況を模擬し、自分ならどうするかを説明するよう求められることがあります

CHAPTER 59

Dealing with Particular Situations

59.1 眠気運転

眠気は多くの衝突事故の原因となります。疲れた運転者は反応時間が遅くなり、飲酒運転者と同程度に判断力が低下することがあります。眠気が関与する衝突事故は、午前2時から午前6時、および午後2時から午後4時の間に起こる傾向があります。

- ✓ 警告サインには、目を開けていられない、頭が前に傾く、意識がさまよう、頻繁にあくびをする、他の車線に流れるなどがあります
- ✓ 警告サインが一つでもあれば、道路から離れ、安全が確保された場所に駐車して仮眠をとってください
- ✓ カフェインなどの刺激物は睡眠の代わりには決してなりません — 唯一安全な運転者は、十分に休息し注意力のある運転者です
- ✓ 交代勤務者、睡眠障害のある人、商用車運転者はより高いリスクがあります

59.2 注意散漫運転

ハンズフリー以外の携帯電話の使用や、運転に関係のない表示画面の閲覧は禁止されています。運転者は罰金を科され、不注意運転または危険運転で起訴される場合があります。

- ✓ ハンズフリー以外の携帯電話の使用および運転に関係のない表示画面の閲覧は禁止されています
- ✓ 商用運転者は、マイクが手の届く範囲に確実に取り付けられている場合、双方向無線機について恒久的な免除を受けられます
- ✓ 運転支援機能があっても、車両の管理と支配を維持し、直ちに制御を引き継げる状態でなければなりません
- ✓ 携帯電話を使用する際は、車を路肩に寄せて停車してください

59.3 攻撃的運転とロードレイジ

車間距離を詰める、速度超過、割り込みなどの攻撃的な運転行為は、ロードレイジのトラブルを招くことがあります。怒りを抑え、報復しないでください。

- ✓ 他の運転者と競争したり報復したりせず、相手のミスを個人的に受け止めないでください。
- ✓ 不要にクラクションを鳴らさないでください。通常は軽く一度鳴らすだけで十分です。
- ✓ 脅威を感じた場合は、車内にいてドアを施錠し、警察に通報し、クラクションと方向指示器を使って注意を引いてください。
- ✓ 後をつけられている場合は、自宅へは運転せず、警察署か人の多い公共の場所へ運転してください。

59.4 道路上の作業員

工事区域や、道路上または道路付近で人が作業している場所では、特に注意してください。危険の増大を反映した警告標識と速度制限の引き下げに従ってください。

- ✓ 工事区域では車線変更をせず、急停車に備え、作業員と機材に注意してください。
- ✓ 交通を誘導するすべての警告標識、人、装置に従ってください。
- ✓ 道路脇のロードサービス、故障車両、測量士、公益事業の作業員の近くでは減速し、注意して追い越してください。安全であれば一車線隣へ移動してください。

59.5 道路上の動物

ムースやシカなどの動物が関与する衝突事故は増加している問題です。動物横断標識は危険を知らせており、特に野生動物が最も活発な薄暮から夜明けまでの時間帯は注意が必要です。

- ✓ 暗闇、雨、霧の中では速度を落とし、道路の両路肩まで広く見渡し、光る目を警戒してください
- ✓ 動物を見かけたら速度を落とし、クラクションを鳴らしてください。動きは予測できないため、動物を避けて回り込もうとしないでください
- ✓ 動物を見るために路肩に駐車しないでください。車内にとどまってください
- ✓ シカやムースに衝突した場合は、地元警察または天然資源省に通報し、負傷した動物を動かさないでください

CHAPTER 60

Road test

60.1 路上試験の構成要素と合格基準

Class A 路上試験には、日常点検試験、切り離し/連結（Class A）、後退技能（オフセットまたはアレイドック）、路上運転が含まれます。合格するには、安全な運転を実証し、走行違反を犯さず、各構成要素の基準を満たす必要があります。日常点検ではエラー1つまで、切り離し/連結は合計2つまでのエラーで、5回以下のプルアップで完了すること、路上/後退では最大30個のエラーまでで、後退は10分未満で完了することが基準です。

- ✓ 連結は5回以下のプルアップで完了しなければならず、合計2つまでのエラーが許容されます
- ✓ 日常点検試験ではエラーは1つだけ許容されます
- ✓ 路上/後退では最大30個のエラーが許容され、後退は10分未満で完了しなければなりません
- ✓ 走行違反は一切認められません

60.2 エアブレーキ車両の試験前に必要な装備

すべてのクラスA道路試験、およびエアブレーキを備えたクラスD道路試験では、車輪止め（チョック／ブロック）、秒単位で時間を計れるもの、ブレーキペダルを踏んだ状態に保つもの、プッシュロッドストロークを測定する装置を持参しなければなりません。いずれかの物品が欠けると試験は無効となり、再予約のために料金の50%を支払う必要があります。また、有効な日次点検報告書（Daily Inspection Report）、該当するスケジュールを提出し、有効な検査ステッカーを確認しなければなりません。

- ✓ 車輪止め、タイマー、ブレーキペダル保持具、プッシュロッドストローク測定装置を持参する
- ✓ 必要な物品が欠けると試験は無効となり、再予約には料金の50%を支払う必要がある
- ✓ 試験前に、有効かつ記入済みの日次点検報告書と該当するスケジュールを提出する

60.3 路上試験の構成と構造

Class A または D の路上試験には、日常点検試験、切り離し/連結（Class A）、後退技能試験（オフセット後退またはアレイドック）、路上走行試験（曲がり角、交差点、車線変更、一般走行、高速道路、カーブ、路肩停車/発進）が含まれます。

- ✓ 路上試験には、日常点検、連結（Class A）、後退、路上走行の構成要素があります。
- ✓ 後退は、オフセット後退またはアレイドック（90度後退）のいずれかです。

60.4 路上試験の合格基準

合格するには、安全な運転を実証し、走行違反を一切犯さず、各構成要素の基準を満たさなければなりません。日常点検では1項目のみ誤りが許容されます。切り離し/連結（Class A）では合計2つまでの誤りが許容され、連結は5回以内のプルアップで行わなければなりません。路上走行と後退技能では最大30の誤りが許容され、後退は10分未満で完了しなければなりません。

- ✓ 路上試験中は走行違反が一切許されない
- ✓ 日常点検では1項目のみ誤りが許容される
- ✓ 連結は5回以内のプルアップで行い、連結の誤りは最大2つまで許容される
- ✓ 路上走行と後退は最大30の誤りが許容され、後退は10分未満で完了しなければならない

60.5 試験前エアブレーキ要件

クラスA（ARを含む）およびエアブレーキを備えたクラスD路上試験では、ホイールチョック/ブロック、秒単位で時間を計測する手段、ブレーキペダルを踏んだ状態に保つ手段、プッシュロッドストロークを測定する装置を持参しなければなりません。不足品があると試験は無効となり、再予約には料金の50%を支払う必要があります。また、有効な記入済みの日常点検報告書、該当するスケジュール、有効な年間検査ステッカーを提示しなければなりません。

- ✓ ホイールチョック、タイマー、ブレーキペダル保持具、プッシュロッドストローク測定装置を持参する
- ✓ 必須物品が欠けていると試験が無効となり、再予約に料金の50%がかかる
- ✓ 有効な日常点検報告書、該当するスケジュール、検査ステッカーを提出する

CHAPTER 61

Left and Right Turns

61.1 曲がる際のアプローチ

曲がるために接近するときは、周囲の交通を監視し、交差点を目視で確認します。正しい車線を選択し（必要に応じて車線変更を行う）、早めに合図を出し、徐々に減速し、適切なギアを選択し、交差点へ入り、出るための正しい進路を計画します。

- ✓ 接近時に車両、歩行者、物体を目視で確認する
- ✓ 正しい車線を選択し、適切な時点でできるだけ早く合図を出す
- ✓ 通常のRPM範囲内で速度と積載に適したギアを選択する

61.2 曲がる前の停止

停止する場合は、前後に動かず、滑らかに完全停止してください。前方に適切な空間を残し、法令に定められた正しい位置で停止してください。待機中は車輪をまっすぐに保ってください。進入する前に左、前方、右、後方を確認してください。

- ✓ 滑らかに完全停止し、後方または前方に動かないこと
- ✓ 前方に適切な空間を残し、法令に定められた正しい位置で停止すること
- ✓ 曲がるのを待つ間は車輪をまっすぐに保つこと
- ✓ 交差点に進入する前に左、前方、右、後方を確認すること

61.3 右左折の実行

前方、側方、ミラーで交通状況を監視する。両手でハンドルを握り、交差点を通過している間はギアチェンジを最小限にする。適切な速度で右左折を完了し、優先権に正しく対応し、車両の大きさに合った正しい経路を取る（広すぎたり短すぎたりしない）。

- ✓ 交差点を通過している間は両手でハンドルを握り、不要なギアチェンジを最小限にする、または避ける
- ✓ 交通を妨げないよう、適切な場合は自分の優先権を行使する
- ✓ 車両の大きさと長さに適した経路を取る

61.4 ターンの完了

定期的に交通確認を行う。開始した車線に対応する車線へ曲がり、強制的な車線変更なしで走行できる車線を選ぶ。合図を消し、滑らかに加速し、左折後は最も安全で妨げのない直進車線へ移動する。

- ✓ 開始した車線に対応する車線へ曲がること
- ✓ 他の運転者が混乱しないように合図を消すこと
- ✓ 交通を遅らせないように滑らかかつ均等に加速すること
- ✓ 左折後は直進交通に最も安全で妨げのない車線へ移動すること

CHAPTER 62

Dealing with particular situations

62.1 居眠り運転の警告サイン

眠気は衝突事故の増加原因です。疲れた運転者は飲酒運転者と同程度に運転能力が低下している可能性があります。衝突事故は午前2時から6時までと午後2時から4時までの間に最も多く発生し、交代勤務者や商用運転者はより高いリスクがあります。警告サインには、目を開けているのが難しい、頭が傾く、思考がさまよう、頻繁にあくびをする、最近の数キロメートルを覚えていない、信号を見落とす、車線を逸脱する、または道路から外れるなどがあります。車を路肩に寄せ、安全に駐車して仮眠をとってください。覚醒剤やカフェインは決して睡眠の代わりにはなりません。

- ✓ 疲れた運転者は飲酒運転者と同程度に運転能力が低下している可能性があります
- ✓ 眠気の警告サインがある場合は、車を路肩に寄せ、安全な場所に駐車して仮眠をとってください
- ✓ 覚醒剤やカフェインは決して睡眠の代わりにはなりません

62.2 注意散漫運転に関する法律

運転中にハンズフリーでない携帯電話を使用することや、運転に関係のない表示画面を見ることは禁止されており、罰金や処罰、さらに不注意運転または危険運転の罪に問われる可能性があります。商用ドライバーは、マイクが手の届く範囲にしっかりと取り付けられている場合、双方向無線に対して恒久的な適用除外を受けます。運転支援機能があっても、車両の管理と制御を維持し、周囲の状況を監視して、いつでも運転を引き継ぐ準備ができていなければなりません。

- ✓ 運転中にハンズフリーでない携帯電話を使用し、運転に関係のない表示画面を見ることは禁止されています
- ✓ 商用ドライバーは、マイクが手の届く範囲にしっかりと取り付けられていれば、双方向無線を使用できます
- ✓ 運転支援機能があっても、車両の管理と制御を維持しなければなりません

62.3 攻撃的運転とロードレイジ

車間距離を詰める、速度超過、割り込みなどの攻撃的な行為は他のドライバーをいら立たせ、ロードレイジにつながることがあります。ストレスに対処し、競争したり報復したりせず、他のドライバーを指導しようとせず、ミスを個人的に受け止めず、不要なクラクションの使用を避けてください。脅威を感じた場合は、車内にいてドアをロックし、警察に通報し、クラクションと方向指示器を使用してください。後をつけられている場合は、家ではなく警察署か人の多い場所へ運転してください。

- ✓ 他のドライバーと競争したり報復したりしない
- ✓ 脅威を感じた場合は、車内にいてドアをロックし、警察に通報する
- ✓ 後をつけられていると思う場合は、家ではなく警察署か人の多い公共の場所へ運転する

62.4 道路上の作業員と建設ゾーン

建設ゾーンでは特に注意してください。警告標識と交通を誘導する人および装置に従ってください。制限速度を下げると作業員の安全が高まります。車線変更をせず、急停止に備え、作業員と機材に注意してください。その他の道路脇の作業員や故障車両に対しては、減速し、注意して通過し、安全なときは車線を1つ移ってください。

- ✓ 建設ゾーンでは、掲示された低い制限速度、およびすべての交通誘導標識と誘導員に従ってください
- ✓ 建設ゾーンでは車線変更をせず、急停止に備えてください
- ✓ 道路脇の作業員や危険物を通過するときは減速し、安全なときは車線を1つ移ってください

62.5 道路上の動物

動物との衝突事故（主にムースとシカ）は増加する問題です。暗闇、雨、霧の中では速度を落とし、警戒を怠らず、路肩から路肩まで見渡してください。光る目に注意し、安全なときはハイビームを使用してください。動物を見かけたら、減速し、クラクションを鳴らし、他の動物にも注意し、その動物を避けて回り込もうとしないでください。動物を観察する場合は、道路から完全に外れて停車してください。車内に留まってください。シカまたはムースに衝突した場合は、警察または天然資源省に報告してください。

- ✓ 動物がいる可能性がある暗闇、雨、霧の中では速度を落とす
- ✓ 動物を避けて回り込もうとしない - 動物の動きは予測できない
- ✓ 車内に留まる。外に出ると衝突される可能性が高まる
- ✓ シカまたはムースに衝突した場合は、警察または天然資源省に報告する

CHAPTER 63

Left and right turns

63.1 曲がる際のアプローチ

曲がるために接近するときは、周囲の交通を監視し、交差点を目視で確認し、正しい車線を選択し（必要に応じて車線変更を行う）、早めに方向指示器を点け、徐々に減速し、適切なギアを選択し、進入と退出のための正しい経路を計画する。

- ✓ 車両、歩行者、物体を目視で確認し、正しい車線を選択する
- ✓ 接近時に適切なタイミングでできるだけ早く方向指示器を作動させる
- ✓ 速度と積載量に適し、エンジンを通常の回転数範囲に保つギアを選択する
- ✓ 交差点への進入と退出のための正しい経路を計画する

63.2 曲がる際の停止

停止する場合は、車が前後に動かないよう滑らかに完全停止し、前方の状況を見るのに十分な間隔を保ちながら適法な位置に停止し、待機中は車輪をまっすぐに保ち、進入前に左、前方、右、後方を確認してください。

- ✓ 前後へ動かないよう、滑らかに完全停止する
- ✓ 前方車両との適切な距離を保ち、適法な位置に停止する
- ✓ 曲がるのを待つ間は車輪をまっすぐに保つ
- ✓ 進入前に左、前方、右、後方を確認し、進路が安全であることを確かめる

63.3 ターンの実行

ターン中は、前方、側方、ミラーで交通を監視し、両手でハンドルを握った状態を維持し、ギアチェンジを最小限に抑え、適切な速度でターンを完了し、通行権に正しく対応し、車両の大きさに適した経路をたどり、広すぎたり短すぎたりしないようにします。

- ✓ 交差点を通過する間は、両手でハンドルを握った状態を維持し、不要なギアチェンジを最小限に抑えるか避ける。
- ✓ 通行権の義務を認識し、正しく対応する。自分の通行権を行使しないと交通を妨げる。
- ✓ 車両のサイズと長さに適した経路をたどる（広すぎたり短すぎたりしない）。

63.4 曲がり終える

曲がった後は、定期的に交通状況を確認し、曲がり始めた車線に対応する車線へ入り、障害物のない車線を選び、他のドライバーを混乱させないように合図を消し、滑らかに加速してください。左折後は、直進交通にとって最も安全で妨げのない走行を提供する車線を選んでください。

- ✓ 曲がり始めたときにいた車線に対応する車線へ入る
- ✓ 他のドライバーを混乱させないよう、曲がった後に合図を消す
- ✓ 他の交通を遅らせないよう、滑らかに加速して速度を上げる
- ✓ 左折後は、最も安全で妨げのない走行を提供する車線へ移動する

CHAPTER 64

Annual Inspection Certificate

64.1 年次検査要件

運転者は、NSC標準11 パートBに従い、各車両およびトレーラーを認可された自動車検査整備士によって毎年検査を受けなければなりません。基準に適合した車両には年次検査証明書、記録、およびステッカー（デカール）が交付され、フロントガラス／キャブの左下またはトレーラーの前方左側に貼付されます。運転者は日常点検時にデカールの日付を確認し、有効性を確保しなければなりません。

- ✓ 車両およびトレーラーは、NSC標準11 パートBに従い、認可された整備士によって毎年検査を受けなければなりません
- ✓ 検査デカールは、フロントガラス／キャブの外側左下隅またはトレーラーの前方左側に貼付されます
- ✓ 運転者は、日常点検時にデカールの日付を確認し、有効性を確保しなければなりません

CHAPTER 65

Daily Trip Inspection — Classes A and D

65.1 毎日の点検に関する法的要件

運転者は、本人または他の者が過去24時間以内にスケジュール1点検を実施し、点検報告書を作成していない限り、トラックを運転してはならない。この点検はHTAの法的要件であり、24時間ごとに完了する必要があり、車両は走行中ずっと監視されなければならない。運転者は、最新の点検報告書と点検スケジュールの両方を携帯しなければならない（電子的なものでも可）。

- ✓ 運転前に過去24時間以内にスケジュール1点検と報告書を完了しなければならない
- ✓ 運転者は24時間ごとに車両点検を完了しなければならない
- ✓ 運転者は最新の点検報告書と点検スケジュールの両方を携帯しなければならない

65.2 重大な欠陥と軽微な欠陥

点検スケジュールでは、欠陥を重大な欠陥と軽微な欠陥に分類する。軽微な欠陥については、運転者は報告書に記録し、運行管理者に報告しなければならない。重大な欠陥のある車両を運転することは許可されていない。重大な欠陥は、車両を再び運行する前に修理しなければならない。

- ✓ 軽微な欠陥は報告書に記録し、運行管理者に報告しなければならない
- ✓ 運転者は重大な欠陥のある車両を運転することを許可されていない
- ✓ 重大な欠陥は、車両を再び運行する前に修理しなければならない

65.3 よくある運行停止理由

商用車を運行停止にする最も一般的な理由は、エアブレーキの調整不良です。その他の理由には、荷物の固定不良、灯火器やタイヤの欠陥、ばねの破損などがあります。エアブレーキの調整不良は、車両の留置やCVOR の取消し/停止につながる可能性があります。承認されたエアブレーキ調整講習を修了したか、認定整備士でない限り、自分でエアブレーキを調整することはできません。

- ✓ エアブレーキの調整不良は最も一般的な運行停止理由です
- ✓ 承認された講習を修了したか、認定整備士でない限り、自分でエアブレーキを調整することはできません
- ✓ エアブレーキの調整不良は、車両留置や CVOR の取消し/停止につながる可能性があります

65.4 毎日点検の必須項目

毎日点検には（O.Reg 199/07に基づき）以下を含めなければなりません：エアブレーキシステム（装備されている場合）、キャブ、貨物固定、連結装置、危険物、運転者用操作装置、運転席、電気ブレーキシステム、緊急装備、排気システム、フレームおよび荷台、燃料システム、ガラスおよびミラー、ヒーター/デフロスター、ホーン、油圧ブレーキシステム、ランプおよび反射器、ステアリング、サスペンション、タイヤ、ホイール/ハブ/締結具、ウインドシールドワイパー/ウォッシャー。

- ✓ 毎日点検には、エアブレーキシステム（装備されている場合）、キャブ、連結装置、ステアリングを含めなければなりません。
- ✓ タイヤ、ホイール/ハブ/締結具、ランプおよび反射器、サスペンションシステムを含めなければなりません。
- ✓ ガラスおよびミラー、ホーン、排気システム、ウインドシールドワイパー/ウォッシャーを含めなければなりません。

CHAPTER 66

Emergency Vehicles

66.1 緊急車両が接近しているときの対応

緊急車両は、点滅する赤色灯（または赤色と青色の灯）、サイレン／ベル、または交互に点滅する白色のハイビームを使用します。緊急車両がどちらかの方向から接近してきたら、直ちに減速し、できるだけ右に寄って停止しなければなりません。

- ✓ どちらかの方向から接近する緊急車両を見たり聞いたりしたら、直ちに減速し、できるだけ右に寄って停止してください。
- ✓ 同じ方向で通報を受けて出動中の消防車両または救急車の150メートル以内を追従することは違法です。
- ✓ 高速道路では緊急車両が路肩を使用する場合があるため、路肩を走行したり塞いだりしないでください。
- ✓ 緑色の点滅灯を表示しているボランティア対応者に優先通行権を譲ってください。

66.2 停止した緊急車両またはレッカー車への対応

赤色／赤色と青色の灯火を点滅させた緊急車両、もしくは琥珀色の灯火を進行方向に点滅させたレッカー車が停止しているのを見た場合、速度を落として注意しながら通過し、可能であれば車線を変更しなければなりません。

- ✓ 灯火を点滅させて停止している緊急車両またはレッカー車を通過するときは、速度を落として注意しながら通過すること。
- ✓ 道路に2つ以上の車線がある場合は、安全にできるときは車線変更して1車線分の間隔を空けること。
- ✓ 従わない場合、有罪判決、減点、最大2年間の免許停止、および罰金400〜2,000ドル（初回）または1,000〜4,000ドル（再犯）となることがあります。

CHAPTER 67

Daily inspection test

67.1 日常点検試験の構成

日常点検試験は、安全な運行のための知識と技能、および O. Reg. 199/07 に基づく軽微または重大な欠陥を特定する能力を判定します。これは、外観点検、キャブ内確認、室内点検の順に行われます。外観/室内の項目は別表1から無作為に選ばれ、キャブ内の項目はすべて点検する必要があり、別表1を参照資料として使用します。外観点検は、駐車ブレーキをかけ、車輪に輪止めをした状態で行います。

- ✓ 日常点検は、外観、キャブ内、次に室内の順に行います
- ✓ 駐車ブレーキをかけ、車輪に輪止めをした状態で外観点検を行います
- ✓ 試験中は別表1を参照資料として使用できます

67.2 空気圧の上昇と漏れ試験

空気圧が85から100 psiまで上昇するのに2分より長くかかる場合、軽微な欠陥です（600〜900 RPMで試験）。聞こえる空気漏れはすべて軽微な欠陥です。1分間に圧力がClass Aでは28 kPa（4 psi）を超えて、Class Dでは21 kPa（3 psi）を超えて低下する場合、空気損失率は重大な欠陥です — 車輪に輪止めをし、スプリングブレーキを解除し、圧力をカットインとカットアウトの間に保ち、ブレーキペダルを1分間完全に踏み込んだ状態で試験します。

- ✓ 85から100 psiまで2分を超えて上昇するのは軽微な欠陥です
- ✓ 空気損失が4 psi/分（Class A）または3 psi/分（Class D）を超えるのは重大な欠陥です
- ✓ 聞こえる空気漏れはすべて軽微な欠陥であり、空気損失率試験が必要です

67.3 プッシュロッドストローク測定

いずれかのブレーキの作動時プッシュロッドストロークが調整限界を超える場合、重大な欠陥が存在します。輪止めで固定し、空気圧が621 kPa（90 psi）を超えていることを確認し、スプリングブレーキを解除し、解除状態のプッシュロッドに印を付けるか測定します。圧力を90-100 psiまで上げ、エンジンを切り、ブレーキを作動させたまま保持し、その後、作動ストロークを測定します。チャンバー番号/タイプとその調整限界を確認し、調整限界を超えているブレーキを欠陥として特定します。一部の車両（バス、エアディスクブレーキ）は口頭で検査されます。

- ✓ 調整限界を超えるプッシュロッドストロークは重大な欠陥です
- ✓ 空気圧90-100 psi、エンジン停止、ブレーキを完全に作動させた状態で、作動ストロークを測定します
- ✓ 正しい調整限界を特定するために、チャンバーのサイズとタイプを判定します

67.4 トラクタ保護および低空気圧警告テスト

作動しないトラクタ保護弁は重大な欠陥です: トレーラー供給弁を閉じ、サービスブレーキを作動させた状態で、サービスラインカプラー（グラッドハンド）から空気が漏れてはいけません。低空気圧警告システムが作動しない場合、または圧力が55 psi未満に低下する前に作動する場合は重大な欠陥です — ブレーキペダルを踏み込み、警告（ランプ、またはランプと音声）がいつ作動するかに注意してください。

- ✓ 供給弁を閉じた状態でサービスラインから空気が漏れる場合は、トラクタ保護弁の欠陥（重大）を示します。
- ✓ 低空気圧警告が作動しない場合、または55 psiより前に作動する場合は重大な欠陥です。
- ✓ トレーラー供給弁を閉じた状態でトラクタ保護弁をテストします。

67.5 ドア、カプラー、安全チェーンの点検

出入り用のドアが開かない場合は軽微な不具合であり、確実に閉まらない場合は重大な不具合です。カプラー/マウントの締結具が緩んでいるか欠落している場合は軽微な不具合です。第五輪の前後方向の遊びが1/2インチ（13 mm）を超える場合、またはピントルフックの前後方向の遊びが3/8インチ（10 mm）を超える場合は重大な不具合であり、ロックできない損傷したカプラーも同様です。安全チェーン/ケーブルが欠落している、誤った種類である、または摩耗している場合は重大な不具合です。チェーンは二次フックに掛けて交差させなければなりません。

- ✓ 第五輪の遊びが13 mmを超える場合、またはピントルフックの遊びが10 mmを超える場合は重大な不具合です
- ✓ カプラーが適切にロックできない場合は重大な不具合です
- ✓ 安全チェーンは掛けて交差させなければならず、欠落/誤った種類/摩耗したチェーンは重大な不具合です
- ✓ キャブのドアが確実に閉まらない場合は重大な不具合です

67.6 排気、フレーム、燃料システムの欠陥

目立つ排気漏れは軽微な欠陥です。排気ガスがキャブ内に入る排気漏れは重大な欠陥です（ボンネットを開けてエンジンをかけた状態で点検）。ひび割れや曲がった部品などのフレーム/荷台の損傷は軽微な欠陥ですが、フレーム部材のずれ、ひび割れ、崩壊、たわみは重大な欠陥です。燃料キャップの欠落は軽微な欠陥です。燃料タンクの固定不良や燃料の滴下漏れは重大な欠陥です。

- ✓ 排気ガスがキャブ内に入る場合は重大な欠陥であり、一般的な排気漏れは軽微である。
- ✓ ずれ、ひび割れ、崩壊、たわみのあるフレーム部材は重大な欠陥である。
- ✓ 燃料タンクの固定不良または燃料の滴下漏れは重大な欠陥であり、燃料キャップの欠落は軽微である。

67.7 ガラス、ミラー、油圧ブレーキの点検

車体への取付部が破損または損傷している必須のミラーまたはガラスは軽微な欠陥です — すべての外部ミラーと取付部が確実に固定されていることを確認してください。油圧ブレーキシステムでは、ブレーキ液の液面が表示された最小値を下回り、リザーバーが4分の1未満しか満たされていない場合に軽微な欠陥となります。マスターシリンダーリザーバーの位置とブレーキ液の点検方法を把握してください。

- ✓ 必須のミラー/ガラスの取付部が破損または損傷している場合は軽微な欠陥です
- ✓ ブレーキ液が表示された最小値を下回り、リザーバーが4分の1未満しか満たされていない場合は軽微な欠陥です

67.8 外観検査手順

外観検査は、パーキングブレーキを掛けた状態（クラスAおよびエアブレーキ車両では、解除しなければならない場合を除く）で、車輪に輪止めをした状態で行います。無作為に選ばれた4項目を検査し、検査方法を実演・説明し、考えられる欠陥を説明し、軽微または重大な欠陥に対して取るべき措置を説明しなければなりません。

- ✓ パーキングブレーキを掛け、車輪に輪止めをした状態で外観検査を行う
- ✓ 無作為に生成された4項目を検査しなければならない
- ✓ 各項目について、検査方法、欠陥、取るべき措置を説明する

CHAPTER 68

Intersections

68.1 停止交差点

交通の流れを監視しながら接近し、標識や交通制御装置に注意してください。徐々に減速し、適切なギアを選び、同じ車線を維持してください。ずり動くことなく滑らかに完全停止し、法的に正しい位置で停止し、待機中は交通を監視してください。

- ✓ 交差点に接近する際は同じ車線を維持する
- ✓ 後方または前方にずり動くことなく完全停止する
- ✓ 法的に正しい位置で停止し、交差点内で停止しない
- ✓ 許可されている場合は合理的な時間内に発進する

68.2 停止交差点からの発進

進入する前に、前方の交通を監視すること。信号または前方の車両が許可したら、適切な時間内に発進し、適切な時間内に交差点を通過すること。両手でハンドルを握り、交差点内で車線変更をせずに正しい経路を進むこと。

- ✓ 許可されたときは適切な時間内に発進すること
- ✓ 操作装置の操作または変速時を除き、両手でハンドルを握ること
- ✓ 交差点内で車線や位置を変更しないこと

68.3 交差点の通過

交通の流れを乱さないように速度を維持しますが、交差交通が進入する可能性がある場合は減速するか、ブレーキペダルに足を乗せて備えてください。安全な車間距離を保ち、同じ車線を維持してください。進入前に必要な変速を済ませ、交差点を通過し終えた後にミラーを確認してください。

- ✓ 接近時は速度を維持するが、潜在的な交差交通に備えて減速するか、ブレーキを踏む準備をする
- ✓ 交差点を通過する間は同じ車線と位置を維持する
- ✓ 進入前に変速をすべて済ませ、エンジンに負担をかける低回転走行を避けるため必要ならシフトダウンする
- ✓ 交差点を通過し終えた後にミラーを確認する

CHAPTER 69

Emergency vehicles

69.1 接近する緊急車両への対応

赤色または赤色と青色の点滅灯が見えた場合、またはどちらの方向からでもサイレンが聞こえた場合は、直ちに減速し、できるだけ右側に寄って停止してください。落ち着いて方向指示器を使用し、ミラーを確認し、右側に寄って徐々に停止し、車両が通過するのを待ち、他の緊急車両にも注意してください。高速道路の路肩をふさがないでください。出動中の消防車または救急車の150メートル以内を追走してはいけません。緑色の点滅灯を表示しているボランティア対応者には道を譲ってください。

- ✓ 接近する緊急車両のために直ちに減速し、右側に寄って停止する
- ✓ 出動中の消防車または救急車の150メートル以内を追走することは違法である
- ✓ 緑色の点滅灯を表示している消防士またはボランティア対応者に優先通行権を譲る

69.2 停車している緊急車両またはレッカー車への対応

進行方向に向けて赤色/青色灯を点滅させて停車している緊急車両、または黄色灯を点滅させているレッカー車を見かけたら、減速して注意しながら通過してください。2車線以上の道路では、安全に行える場合は車線変更して1車線分の間隔を空けてください。遵守しない場合、有罪判決、違反点数、最大2年の免許停止、初回違反で400〜2,000ドルの罰金(5年以内の再違反は1,000〜4,000ドル)、最大6か月の禁固刑となることがあります。

- ✓ 停車している緊急車両またはレッカー車のそばは減速し、注意して通過する
- ✓ 2車線以上の道路では、安全なときは車線変更して1車線分の間隔を空ける
- ✓ 違反には罰金、違反点数、免許停止、禁固刑の可能性がある

CHAPTER 70

Uncoupling and Coupling of Combinations (Class A only)

70.1 連結/切り離し前の注意事項

連結または切り離しの手順を行う前に、窓を下ろし、オーディオシステムを切り、後退する前にホーンを鳴らしてください（路上試験中は電気ホーンに限る）。そして、その場所が適切で安全であることを確認してください。正しい連結と切り離しを理解することは、安全な連結車両の運転の基本です。

- ✓ 連結/切り離しの前に窓を下ろし、オーディオシステムを切る
- ✓ 後退する前にホーンを鳴らす（路上試験中は電気ホーンに限る）
- ✓ 連結/切り離しに適した安全な場所であることを確認する

70.2 切り離し手順

切り離すには：トラック／トラクターとトレーラーの両方を固定する（両方のパーキングブレーキをかけ、トランスミッションをパーク／ニュートラルにし、トレーラーの車輪に輪止めを置く）。トレーラーを持ち上げないように、ランディングギアを地面すれすれ又は接地するまで下げる。エア／電気ラインと安全チェーンを取り外して収納する。第五輪／連結装置のロックを解除し、トラクターを前方に引いて第五輪を外す。トレーラーが安定していることを確認してから、トラクターを完全に引き出す。

- ✓ トラック／トラクターとトレーラーの両方のパーキングブレーキをかけ、トレーラーの車輪に輪止めをする
- ✓ トレーラーを第五輪から持ち上げないように、ランディングギアを地面すれすれ又は接地するまで下げる
- ✓ 完全に引き出す前に、エア／電気ラインと安全チェーンを取り外して収納する

70.3 連結手順と位置合わせ

連結するには：第五輪（フィフスホイール）、連結装置、ライン、チェーン取付点を点検する。車両を配置し、位置合わせと高さを確認する。第五輪がトレーラーのすぐ前方に来て、トレーラーに触れるか、キングピンに当たらず少し下に入るまでゆっくり後退する。トレーラーは、トラクターによって少し持ち上げられる程度に低くなければならない。低すぎるとトラクターがトレーラーの前部を損傷するおそれがあり、高すぎると正しく連結できないことがある。

- ✓ 第五輪がトレーラーのすぐ前方に来るまで後退し、キングピンに当てない
- ✓ トラクターが下に進入したとき、トレーラーが少し持ち上げられる程度に低くなければならない
- ✓ トレーラーが高すぎると正しく連結できないことがあり、低すぎるとトレーラーの前部を損傷することがある

70.4 カップリングの係合と確認

第五輪に係合するために後退した後、トラクターとトレーラーを引っ張る牽引テストを行い、トレーラーがロックされていることを確認します。その後、降車して、第五輪の上に隙間がないこと、リリースレバーがロックされていること、ジョー/ラッチがキングピンの周囲で閉じていることを目視で確認します（トレーラーの下に潜る必要があります）。第五輪以外の場合は、セーフティチェーンを交差して接続します。

- ✓ トラクターにトレーラーがロックされていることを確認するために牽引テストを行います
- ✓ トレーラーの上面プレートと第五輪の間に隙間がある場合、カップリングが確実に固定されていないことを示します
- ✓ トレーラーの下から、リリースレバーがロックされ、ジョーがキングピンの周囲で閉じていることを目視で確認します

70.5 エアラインの色と最終連結手順

業界標準のエアライン色：BLUEはサービス用、REDは供給/非常用です。ラインを接続した後、ランディングギアを完全に上げてハンドルを格納し、トレーラーに空気を供給して通常圧力を確立し、エンジンを停止して供給接続部とサービス接続部の漏れに耳を傾け、ゆっくり前進してブレーキ操作をテストします。

- ✓ 業界標準：BLUE = サービス、RED = 供給または非常
- ✓ 移動前にトレーラーのランディングギアを完全に上げ、ハンドルを格納すること
- ✓ 空気を供給して漏れに耳を傾け、その後ゆっくり前進してブレーキ操作をテストすること

70.6 フックアップのテスト

フックアップをテストするには、トランスミッションをリバースに入れ、クラッチを部分的にリリースして、パワーユニットを短く鋭い動きで後方へ動かします（「ピンを打つ」）。次に、トレーラーブレーキ（ハンドコントロールまたはパーキングブレーキ）を設定し、ピンに対して前方へ引っ張ってみます。その後、トレーラーの下で連結部の目視検査を行います。

- ✓ 「ピンを打つ」は、パワーユニットを急激に後退させてフックアップをテストする
- ✓ トレーラーブレーキを設定し、ピンに対して前方へ引っ張ってロックを確認する
- ✓ キャブを離れ、上部プレートが第五輪にしっかりと載っていることを目視で確認する

CHAPTER 71

Dealing with Emergencies

71.1 緊急警告装置および手順

限定的な視認性の時間帯に、オンタリオ州の州道上を走行するすべての商用自動車は、十分な緊急警告装置を携帯する必要があります。車両が動作不能になった場合は、自分の車両および他の運転者を保護するための措置を講じてください。

- ✓ 少なくとも150メートル(500フィート)の距離から見える、8時間以上継続する2つの警告灯を発生させるフレア/ランプ/ランタンを携帯するか、携帯式反射器を持つ必要があります
- ✓ 非常点滅灯をオンにします。視認性が制限されている場合はロービームヘッドライトを使用します
- ✓ 時速60km/hを超える速度規制地域で、車両を路面から移動できない場合、限定的な視認性の中で、前方と後方に約30メートル(100フィート)の間隔で警告装置を設置します
- ✓ 限定的な視認性の時間は、日没の30分前から日出の30分後までであり、150メートル以上の明確な視認性を妨げる他の悪い照明条件を含みます

71.2 負傷者または燃料漏れを伴う衝突事故

衝突事故に関与したすべての運転者は、現場にとどまるか現場に戻り、可能な限りの援助を行わなければなりません。負傷者や燃料漏れがある場合は、人と財産を保護するための措置を講じてください。

- ✓ 車両を移動せず、すべてのエンジンを切り、接近する運転者に警告する
- ✓ 法律により、負傷者がいる場合、または損害が5,000ドルを超える場合は、衝突事故を警察に報告する
- ✓ 燃料漏れの場合は、車両の近くでの喫煙や発炎筒の使用を許可しない。火災の危険がない限り、負傷者をその場に残す
- ✓ 負傷者を覆ってショックを軽減し、救助が到着するまで付き添う

71.3 火災予防と火災分類

商用ドライバーは、火災を予防し、各火災分類に適した消火器を使用する方法を知っておく必要があります。一般的な原因には、空気圧不足のタイヤ、過熱したブレーキ、燃料漏れがあります。

- ✓ クラスA：木材、紙、繊維、タイヤ；クラスB：グリース、油、ガソリン、溶剤、塗料；クラスC：通電中の電気設備；クラスD：燃焼中の金属
- ✓ 火災が発生したら、建物や車両から離れた安全な場所に停車し、可能であれば連結車両を切り離してください
- ✓ 消防署に連絡し、どの種類の物質が燃えているかを伝えてください
- ✓ 火災が短絡によるものである場合は、バッテリーケーブルを取り外してください；積荷が爆発性の場合は、交通を停止させ、見物人に警告してください

71.4 負傷者のいない衝突事故

負傷者のいない衝突事故では、情報交換や必要な場合の届出を含む特定の手順に従ってください。

- ✓ 警察にあなたの氏名と住所、登録所有者の氏名と住所、車両のナンバープレートと許可証番号、および賠償責任保険カードを提示してください。
- ✓ 損害額が5,000ドル未満であっても、情報交換は行わなければなりませんが、その衝突事故を警察に届け出る必要はありません。
- ✓ すべての目撃者の氏名、住所、電話番号を取得し、請求を行う場合は保険会社に連絡してください。

CHAPTER 72

Lane Changes

72.1 車線変更の実施

交通の流れを観察し、どこでいつ車線変更するかを判断し、合図を出し、安全な車間距離を保ち、ミラーと死角を確認して、意図的かつ滑らかに車線変更を行ってください。急な動きやためらいのある動きは避けてください。交差点、横断箇所、または実線の上では車線変更をしないでください。

- ✓ 車線変更の前に合図を出し、完了したら合図を消してください
- ✓ 並走している車、追い越している車、後方から接近している車がないか、ミラーと死角を確認してください
- ✓ 目標車線の空きが車両の長さに対して十分であることを確認してください
- ✓ 交差点、歩行者用/鉄道踏切、または実線の路面標示の上では車線変更をしないでください
- ✓ 制限速度を超えず、掲示された制限速度の10 km/h以内で運転してください

CHAPTER 73

Dealing with emergencies

73.1 緊急警告装置

州道を走行するすべての商用自動車は、日没の30分前から日の出の30分後までの間、少なくとも150メートル（500フィート）先で少なくとも8時間見える警告灯を2つ発する発炎筒／ランプ／ランタン、または携帯用反射板を携行しなければなりません。速度制限が60km/hを超える区域で、車両を道路外へ移動できない場合、視界が制限されているときは、前方と後方の約30メートル（100フィート）の地点に警告装置を設置してください。すべての緊急時に推奨されます。

- ✓ 発炎筒／ランプ／ランタン（150m先で8時間見える警告灯2つ）または携帯用反射板を携行する
- ✓ 60km/h超の区域では、前方と後方の約30メートル（100フィート）に警告装置を設置する
- ✓ 視界が制限される時間帯（日没30分前から日の出後まで）には警告装置が必要

73.2 負傷者または燃料漏れを伴う衝突

十分に備蓄された救急箱を携帯してください。衝突に関与したすべての運転者は、現場にとどまるか戻り、可能な限りの援助を行わなければなりません。負傷者または燃料漏れがある場合：漏れの近くでは注意して警告装置を設置し、車両を移動せず、エンジンを切り、接近する運転者に警告し、助けを求めてください。負傷者が出た衝突、または損害額が$5,000を超える衝突は警察に報告してください。燃料漏れの近くでの喫煙やマッチの使用を防いでください。火災の危険がない限り、負傷者をその場に残してください。応急処置の訓練の範囲内で処置し、ショックに備えて毛布を掛けてください。救助が到着するまで負傷者に付き添ってください。

- ✓ 負傷者または$5,000を超える物的損害を伴う衝突は警察に報告してください
- ✓ 車両を移動せず、エンジンを切り、接近する運転者に警告してください
- ✓ 燃料漏れの可能性がある近くで、誰にも喫煙させたりマッチを点火させたりしないでください
- ✓ 火災の危険がない限り、医療救助が到着するまで負傷者をその場に残してください

73.3 駐車および障害車両の規則

障害のある車両を安全な限り道路からできるだけ遠く移動させてください。非常点滅灯を点灯させ、視界が限られている場合は下向きのヘッドライトを点灯させてください。車両が移動できない場合、または両方向で少なくとも125メートル(400フィート)の明確な視界がある場合を除き、道路に駐車したり放置したりしないでください。150メートル(500フィート)以内の丘またはカーブによって車両の視界が遮断されている場合は、追加の警告信号を配置してください。

- ✓ 障害のある車両を安全な限り道路からできるだけ遠く移動させ、点滅灯を点灯させてください
- ✓ 両方向で少なくとも125メートル(400フィート)の明確な視界がない場合は、道路に駐車しないでください
- ✓ 150メートル以内の丘またはカーブによって視界が遮断されている場合は、追加の警告信号を配置してください

73.4 火災予防と分類

火災分類を理解すること：A（木材、紙、繊維、タイヤ）、B（グリース、油、ガソリン、溶剤、塗料）、C（通電中の電気設備）、D（マグネシウム、ナトリウム、カリウムなど、特殊な消火剤を必要とする燃焼金属）。トラック火災の一般的な原因には、空気圧不足のタイヤ、過熱したブレーキ、燃料系統の漏れ、偏った積載、不注意な喫煙、不適切な位置のフレア、短絡が含まれる。タイヤ点検時にはハブ温度を確認すること。積み込み/積み下ろし中は絶対に喫煙しないこと。

- ✓ A類：普通可燃物；B類：可燃性液体；C類：電気；D類：金属
- ✓ D類の金属火災には、可燃性金属に適した特殊な消火剤が必要
- ✓ 過熱したブレーキを検知するため、タイヤ点検のたびにハブ温度を確認すること
- ✓ 積み込みまたは積み下ろし中は絶対に喫煙しないこと

73.5 火災発生時の措置

火災が発生した場合：建物や他の車両から離れた安全な場所に車両を停止させる。連結車両の場合は、可能であれば切り離す。消防署に連絡し、どのような物質が燃えているかを伝える。火災の種類に応じて消火措置を講じる。短絡が疑われる場合は、バッテリーケーブルを取り外す。積荷が爆発性の場合は、交通を停止させ、見物人に後退するよう警告する。

- ✓ 建物や車両から離れた場所に車両を停止させ、可能であれば連結車両を切り離す
- ✓ 消防署にどの種類の物質が燃えているかを伝える
- ✓ 短絡が疑われる場合は、バッテリーケーブルを取り外す
- ✓ 爆発性の積荷の場合は、交通を停止させ、見物人に後退するよう警告する

73.6 負傷者のいない衝突事故

誰も負傷していない場合：注意して警告装置を設置し、損害額が5,000ドルを超える場合は警察に通報する。可能な限りの援助を行い、自分の氏名、住所、所有者情報、ナンバープレート／許可証番号、保険証券を提供する。目撃者の氏名と連絡先を取得する。損害額が5,000ドル未満でも情報交換は必要だが、警察への通報は不要である。請求を行う場合は保険会社に連絡する。

- ✓ 損害額が5,000ドルを超える場合は警察に通報する
- ✓ 損害額が5,000ドル未満でも情報（氏名、住所、所有者、ナンバープレート／許可証、保険）を交換する
- ✓ すべての目撃者の氏名、住所、電話番号を取得する

CHAPTER 74

Air brake inspection items

74.1 空気圧上昇速度の遅さ

車両は、空気圧が85psiから100psiまで上昇するのに2分を超える場合、この軽微な不具合があります。手順：トレーラー供給バルブを閉め、ブレーキをポンピングして80psi以下にし、600〜900 RPMを維持し、85psiから100psi（587〜690kPa）までの上昇時間を計測して、その時間を報告します。

- ✓ 85〜100psiまでの上昇に2分を超える場合、上昇の遅さは軽微な不具合です。
- ✓ 上昇時間を計測している間、エンジン回転数を600〜900 RPMに維持してください。
- ✓ 上昇時間を試験官に報告してください。

74.2 聞こえるエア漏れ

エア漏れの音が聞こえる場合、車両にこの軽微な欠陥があります。漏れは定期的に点検する必要があります。

- ✓ 聞こえるエア漏れは軽微な欠陥です
- ✓ エア漏れを定期的に点検してください

74.3 空気損失率が規定限度を超える

この重大欠陥は、1分間に空気圧がClass Aでは28 kPa（4 psi）を超えて、Class Dでは21 kPa（3 psi）を超えて低下した場合に発生します。手順：車止めで固定し、スプリングブレーキを解除し、圧力がカットイン／カットアウト（80〜145 psi）の間にあることを確認し、エンジンを切り、ブレーキペダルを完全に踏み込んだままにして、1分間ゲージを観察します（初期の低下は無視します）。

- ✓ 空気損失が毎分4 psi（Class A）または毎分3 psi（Class D）を超えると重大欠陥です
- ✓ スプリングブレーキを解除し、ブレーキペダルを完全に踏み込んだままにして試験します
- ✓ 圧力が安定した後、1分間ゲージを観察します

74.4 プッシュロッドストロークが調整限界を超えている

この重大欠陥は、いずれかのブレーキのプッシュロッドストロークが規定の限界より長い場合に存在します。車両を固定し、空気圧が90 psiを超えていることを確認し、スプリングブレーキを解除し、解除したプッシュロッドの位置に印を付けるか測定し、圧力を90〜100 psiまで高め、エンジンを止め、ブレーキを完全に掛けた状態を保持してから、掛けた状態のストロークを測定します。チャンバーサイズ（16/20/24/30）とタイプ（標準/ロングストローク）を判断し、調整限界と比較します。一部の車両は口頭で検査されます。

- ✓ いずれかのブレーキの過大なプッシュロッドストロークは重大欠陥です
- ✓ 掛けた状態のストロークを測定する前に、空気圧が90 psiを超えていることを確認し、90〜100 psiまで高めます
- ✓ チャンバーサイズとタイプを判断し、ストロークを調整限界と比較します

74.5 エア圧低下警告システムの故障

この重大な欠陥は、エア圧低下警告が作動しないか、圧力が55 psi未満に下がる前に作動した場合に発生します。手順：空気圧が90 psi以上であることを確認し、イグニッションをオンにし、警告が作動するまでブレーキペダルを踏んで圧力を下げ、作動時の圧力を記録します。

- ✓ 警告が作動しない、または55 psi未満で作動することは重大な欠陥です
- ✓ エア圧低下警告が作動するには、イグニッションがオンになっている必要があります
- ✓ ブレーキペダルを踏んで圧力を下げ、作動圧力を記録します

74.6 トラクター保護バルブ不作動

この重大な欠陥は、トレーラー供給バルブが閉じている状態でサービスブレーキを作動させている間に、サービスラインから空気が漏れると発生します。手順：圧力を通常範囲（80〜135 psi）に保ち、トレーラー供給バルブを閉じ、トレーラーのサービスライン・グラッドハンドを取り外して観察できる場所に置き、サービスブレーキを作動させ、空気漏れを確認します。

- ✓ 供給バルブを閉じた状態でサービスラインから空気が漏れることは重大な欠陥です
- ✓ 試験するには、トレーラー供給バルブを閉じ、サービスライン・グラッドハンドを取り外します
- ✓ アンチコンパウンディングバルブがない場合は、先にスプリングブレーキを解除します

CHAPTER 75

Lane changes

75.1 車線変更手順

交通の流れを観察し、どこでいつ車線変更するかを判断し、他者に知らせるために合図をし、安全な車間距離と車両の長さに適した目標車線の十分なスペースを確保し、ミラーと死角を確認し、合法な場所を選ぶ。車線変更は意図的でありながら滑らかに行い、目標車線の中央へ向かってハンドルを操作する。

- ✓ 車線変更の前に合図をし、完了したら合図を消す
- ✓ 目標車線のスペースが車両の長さに十分であることを確認し、ミラーと死角を確認する
- ✓ 交差点、横断歩道、踏切、または実線の路面標示の上では車線変更をしない
- ✓ 車線変更は意図的で滑らかかつ安定して行い、目標車線の中央へ向かってハンドルを操作する
- ✓ 制限速度の10 km/h以内で運転し、制限速度を超えない

CHAPTER 76

Traffic Signs and Lights

76.1 標識の形状と色

交通標識は、容易に識別できるようにさまざまな記号、色、形状を使用しています。標準的な形状を認識することは、その意味を特定するのに役立ちます。

- ✓ 一時停止標識は八角形で、赤地に白い文字です — 完全に停止してください。
- ✓ 譲れ標識は白地に赤い縁取りの三角形です — 交差点内または交差点付近の交通を先に通してください。
- ✓ 踏切標識は白地に赤い輪郭のX字型です — 減速して左右を確認してください。
- ✓ 学校区域標識は蛍光黄色/緑色の背景の五角形です — 減速して子供に注意してください。

76.2 トラック固有の規制標識

トラックを規制する標識は多数あり、車線制限、重量制限、長さ制限、危険物ルートが含まれます。

- ✓ 標識は、車線内でトラックの通行が禁止されていること、または指定された車線で長さ6.5メートルを超えるトラックの通行が禁止されていることを示します。
- ✓ 重量制限標識には、最大トン数、車軸ごとの最大トン数、橋梁構造物に対する異なる制限が含まれます。
- ✓ 危険物ルート標識は、危険物または有害物質を積載したトラックの通行を許可または禁止します。
- ✓ 5トンを超えるトラックは、ETRを利用するために有効な407トランスポンダーを搭載する必要があります。信号が点滅しているときは、トラックは検査所に入らなければなりません。

76.3 スクールバス停車標識

標識は、信号が点滅しているときにスクールバスのために停車するよう運転者に促します。中央分離帯のない複数車線の高速道路でも同様です。

- ✓ スクールバスの信号灯が点滅しているときは、そのスクールバスのために停車してください。
- ✓ 中央分離帯のない複数車線の高速道路では、両方向から接近する運転者は、点滅しているスクールバスのために停車しなければなりません。
- ✓ スクールバス乗降区域標識は、バスが赤色の交互点滅灯とストップアームを使用せずに乗降する場所を示します。

76.4 規制標識

規制標識は従わなければならない指示を示し、通常は長方形または正方形です。緑の円はその行為をしてよい、またはしなければならないことを意味し、線が入った赤い円はその行為が許可されていないことを意味します。

- ✓ 緑の円は示された行為が許可または義務であることを意味し、線が入った赤い円は許可されていないことを意味します
- ✓ 一時停止禁止標識は一瞬たりとも停止してはならないことを意味し、停車禁止標識は乗客の乗降以外は停止してはならないことを意味し、駐車禁止標識は乗客や商品の積み降ろし以外は停止してはならないことを意味します
- ✓ 標識は転回、Uターン、赤信号での右折、一方通行、速度制限の変更を規制します

CHAPTER 77

Driving Along

77.1 走行の基本

大きな死角があるため、前方をよく見てミラーを頻繁に確認する。掲示された制限速度付近で運転する。商用車は停止距離が長いため車間距離を調整し、他車の死角で走行することを避ける。安全に走行できる最も右側の車線を選ぶ。

- ✓ 掲示制限速度を超えず、その10 km/h以内で運転する
- ✓ 商用車の停止距離に合わせて車間距離を調整する
- ✓ 他車の横や死角を走行することを避ける
- ✓ 安全に走行できる最も右側の車線を選ぶ

77.2 高速道路を出る

出口標識を前方から確認し、正しい出口車線を把握してください。高速道路上にいる間に減速する前に方向指示器を出し、減速後は消してください。必要に応じて車線変更を意図的かつ滑らかに行ってください。高速道路上では減速しないでください。減速には出口車線を使用してください。調整された車間距離を維持してください。

- ✓ 高速道路上にいる間に減速する前に方向指示器を出し、減速後は消す
- ✓ 高速道路上では減速しない。減速には出口車線を使用する
- ✓ 車線変更が必要な場合は、意図的かつ滑らかで安定して行う

CHAPTER 78

Traffic signs and lights

78.1 標準的な標識の形状と色

停止標識は八角形で、赤地に白い文字です — 停止線、横断歩道、歩道の端、または交差点の端の順に完全に停止してください。学校区域標識は五角形で、蛍光黄緑色の背景です。譲れ標識は三角形で、白い背景に赤い枠線です。鉄道踏切標識はX字形で、白い背景に赤い輪郭です — 減速し、両方向の列車を確認し、停止できるように準備してください。

- ✓ 停止標識は八角形の赤色です - 停止線で停止し、次に横断歩道、歩道の端、または交差点の端で停止してください
- ✓ 譲れ標識は三角形です。交差点内または交差点付近の交通を先に通してください
- ✓ 鉄道踏切標識はX字形です - 減速し、両方向を確認し、停止できるように準備してください

78.2 規制標識と色分け

規制標識は従わなければならない指示を示し、通常は長方形または正方形です。緑の円は、示された行為を行ってもよい、または行わなければならないことを意味します。赤い円に斜線が入っている場合は、その行為が禁止されていることを意味します。例としては、左折禁止、Uターン禁止、赤信号時の右折禁止、停車禁止、乗降以外の停車禁止、駐車禁止、島の右側通行、速度制限の変更などがあります。

- ✓ 緑の円は、示された行為が許可されている、または義務付けられていることを意味する
- ✓ 赤い円に斜線が入っている場合は、その行為が禁止されていることを意味する
- ✓ 規制標識は従わなければならない指示を示す

78.3 トラック専用の規制標識

トラック標識には以下が含まれます：車線内トラック通行禁止；車線内6.5メートル超トラック通行禁止；大型トラック通行許可（緑色の円）；大型トラック通行禁止；午後7時～午前7時は大型トラック通行禁止；最大10トン；車軸あたり5トン以下；トラック種別による橋の重量制限；危険物輸送ルート許可（緑色のひし形）；危険物輸送禁止；灯火が点滅しているときはトラックは検査所に進入しなければならない；5トン超のトラックはETR利用に有効な407トランスポンダーが必要です。

- ✓ 6.5メートル超のトラック通行禁止標識は、長いトラックが指定車線を通行することを制限する
- ✓ 重量制限標識は、最大総トン数または車軸あたりのトン数を示す
- ✓ 緑色のひし形は許可された危険物輸送ルートを示し、赤い斜線は危険物輸送を禁止する
- ✓ 灯火が点滅しているときは、トラックは検査所に進入しなければならない

78.4 スクールバスと車線利用標識

スクールバスの信号灯が点滅しているときは停止してください。中央分離帯のない多車線道路では、「both directions」標識は両方向の運転者が停止しなければならないことを意味します。標識はバス、タクシー、高乗車率車両、自転車用に車線を指定することがあります。多車線道路では低速の交通は右側を通行しなければなりません。登坂・追越車線では追い越すとき以外は右側を通行してください。通学区域の最高速度は黄色灯が点滅しているときに適用されます。コミュニティ安全ゾーン標識は罰金が増額されることを意味します。

- ✓ スクールバスの信号灯が点滅しているときは停止する。
- ✓ 中央分離帯のない多車線道路では、「both directions」標識により両方向からの停止が求められる。
- ✓ 黄色灯が点滅しているときは通学区域の速度制限が適用される。
- ✓ コミュニティ安全ゾーンでの交通違反は罰金が増額される。

CHAPTER 79

Coupling and mechanical inspection items

79.1 カプラー締結具と安全性

カプラーまたはその取付部に締結具の緩みや欠落がある場合は軽微な欠陥です。カプラーが不安定な場合、または第五輪の移動量が1/2インチ（13 mm）を超える場合、もしくはピントルフック／ドローバーアイの前後移動量が3/8インチ（10 mm）を超える場合は重大な欠陥です。測定するには、第五輪にチョークで印を付け、トラクターを前へ引いてから後ろへ引き、移動量を観察します。

- ✓ カプラー締結具の緩みまたは欠落は軽微な欠陥です
- ✓ 第五輪の移動量が13 mmを超える場合、またはピントルフックの移動量が10 mmを超える場合は重大な欠陥です
- ✓ カプラー締結具の緩みまたは欠落を確認し、指摘してください

79.2 カプラー施錠および安全チェーン

カプラーまたはロックが損傷している、または適切にロックされていない場合は重大な欠陥です。第五輪のリリースハンドル、露出した機構、およびロックジョー（またはピントルフックの掛止/ロック機構）を目視で確認してください。安全チェーンまたはケーブルが欠落している、誤ったタイプである、または損傷/摩耗している場合は重大な欠陥です。チェーンが掛けられ、二本の場合は交差され、二次フックで固定されていることを確認してください。

- ✓ 損傷している、または不適切にロックされたカプラーは重大な欠陥です
- ✓ 第五輪のロックジョーまたはピントルフックのロック機構を目視検査してください
- ✓ 安全チェーン/ケーブルの欠落、誤り、または損傷は重大な欠陥です。チェーンは交差させて掛けなければなりません

79.3 キャブドア

乗員用、運転者用、または乗客用ドアが開かない場合は軽微な欠陥です（緊急時に開くことができなければなりません）。キャブまたは寝台ドアが確実に閉まらない場合は重大な欠陥です（走行中は閉まった状態を保たなければなりません）。選択した各ドアをテストし、適切に開き、確実に閉まることを確認してください。

- ✓ 緊急時に開かないドアは軽微な欠陥です
- ✓ 走行中に確実に閉まらないドアは重大な欠陥です

79.4 排気、フレーム、燃料システムの欠陥

目に見える排気漏れは軽度の欠陥です。排気ガスが運転室に入るのは重大な欠陥です。目に見えるフレーム/荷物車体の損傷は軽度の欠陥ですが、目に見えてずれたり、ひび割れたり、崩壊したり、垂れ下がったりしているフレーム部材は重大な欠陥です。燃料キャップがないのは軽度の欠陥です。不安定な燃料タンクまたは燃料が滴る漏れは重大な欠陥です。

- ✓ 排気ガスが運転室に入るのは重大な欠陥です。一般的な排気漏れは軽度です
- ✓ ずれたり、ひび割れたり、垂れ下がったりしているフレーム部材は重大な欠陥です
- ✓ 燃料キャップがないのは軽度です。不安定なタンクまたは燃料が滴る漏れは重大な欠陥です

79.5 ミラー、ガラス、油圧ブレーキフルード

必要なミラーまたはガラスの取付部が破損または損傷している場合は軽微な欠陥です。すべての外部ミラーと取付部が確実に固定されているか点検してください。油圧ブレーキでは、ブレーキフルードが表示された最小量を下回り、リザーバーが4分の1未満しか入っていない場合は軽微な欠陥です。マスターシリンダーリザーバーの位置とフルードの点検方法を理解しておいてください。

- ✓ 必要なミラーまたはガラスの取付部が破損または損傷している場合は軽微な欠陥
- ✓ ブレーキフルードが最小量を下回り、リザーバーが4分の1未満の場合は軽微な欠陥
- ✓ 外部ミラーと取付部が確実に固定され、損傷していないか点検する

CHAPTER 80

Driving along

80.1 走行と車間距離

大きな死角があるため、前方をよく見て、常にミラーを確認してください。商用車は停止距離が長くなるため、十分な車間距離を保ち、他の車両の横や死角を走行することを避けてください。安全に走行できる最も右側の車線を使用してください。

- ✓ 掲示された制限速度を超えず、その10km/h以内で運転すること
- ✓ 停止距離が長くなることに合わせて車間距離を調整し、他の車両の死角を避けること
- ✓ 危険を左側に保つため、安全に走行できる最も右側の車線を選ぶこと

80.2 高速道路からの退出

出口標識を前方で探し、適切な出口車線を把握し、前方、後方、側方を確認してください。高速道路の車線にいる間に、減速する前に方向指示器を出してください。高速道路自体では減速せず、出口車線を使って減速し、車両の停止距離に合わせて車間距離を調整してください。

- ✓ 高速道路の車線にいる間に減速する前に方向指示器を出し、その後は消してください
- ✓ 高速道路では減速せず、出口車線を使って減速してください
- ✓ 出口車線への必要な車線変更は、意図的で滑らかかつ安定して行わなければなりません

CHAPTER 81

Hours of Service

81.1 1日の運転時間および勤務時間制限

運転者は1日につき10時間の勤務外時間を確保しなければならず、1日に13時間を超えて運転することはできず、また1日の勤務時間が14時間を経過した後は運転できません。少なくとも8時間の勤務外時間の後、16時間が経過すると運転できません。勤務状態の4区分：勤務外（寝台区画ではない）、寝台区画での勤務外、運転中の勤務、運転していない勤務。

- ✓ 運転者は1日につき10時間の勤務外時間を確保しなければならない
- ✓ 運転者は1日に13時間を超えて運転することはできず、また勤務時間が14時間を経過した後は運転できない
- ✓ 少なくとも8時間の勤務外時間の後、16時間が経過すると運転できない

81.2 勤務時間規則を遵守しなければならない対象者

勤務時間規則は、総重量/登録重量が4,500kgを超える商用自動車の運転者、およびバス/スクールバスに適用されます。免除には、4,500kg以下の車両（バスを除く）、30日未満のリース車両、レッカー車、モーターホーム、緊急車両および警察車両、救急車、ならびに主に農産物/林産物/海産物/湖産物を運搬する2軸/3軸車両が含まれます。

- ✓ 勤務時間規則は、4,500kgを超える商用車両およびバス/スクールバスに適用されます
- ✓ 4,500kg以下の車両（バスを除く）は免除されます
- ✓ レッカー車、モーターホーム、救急車および緊急車両は免除されます

81.3 サイクル要件とリセット

運転者はサイクルを指定する：7日間（最大70時間のオン・デューティー）または14日間（最大120時間のオン・デューティー、24時間連続のオフを取らずに70時間を超えて運転してはならない）。すべての運転者は、直前の14日間に少なくとも24時間連続のオフを取る必要がある。リセット／切り替え：7日間サイクルは36時間連続のオフ、14日間サイクルは72時間連続のオフが必要。

- ✓ 7日間サイクル：70時間のオン・デューティー後は運転不可；14日間サイクル：120時間後は運転不可
- ✓ 直前の14日間に少なくとも24時間連続のオフ・デューティーを取らなければならない
- ✓ リセットには36時間連続のオフ（7日間）または72時間連続のオフ（14日間）が必要

81.4 日次運行記録の要件と免除

日次運行記録（手書き、コンピューターまたは記録装置）には、運転者の氏名、日付、共同運転者、開始時刻、サイクル、走行距離計の値、ナンバープレート番号、事業者名/住所、勤務状態の時刻/場所、総走行距離、署名が含まれなければなりません。運転者が開始地点から160km以内でのみ運転し、その日の終わりにそこへ戻り、その日に1つの事業者のためだけに働く場合、日誌は免除されます。

- ✓ 日次運行記録には、勤務状態の開始/終了時刻、場所、走行距離計の値、署名を含めなければなりません。
- ✓ 半径160km以内で運転し、開始地点に戻り、1つの事業者のために働く場合は、日次運行記録は不要です。
- ✓ 日次運行記録が免除される場合、事業者は運転者の勤務状態と時間の記録を保管しなければなりません。

CHAPTER 82

Curve

82.1 カーブの通過

カーブに入る前に速度を調整して、安全にカーブを通過できるようにし、急ブレーキを避ける。大型車はオフトラッキングを起こすため、外側の車線位置から進入し、後輪がカーブを横切って内側に食い込まないようにする。絶えず目視確認を行い、ミラーで後輪のオフトラッキングを確認する。

- ✓ カーブに入る前に速度を調整し、カーブ内での急ブレーキを避ける
- ✓ 後輪がカーブを横切らないよう、外側の車線位置から進入する
- ✓ ミラーで後輪のオフトラッキングを確認し、早めに調整を見越す

CHAPTER 83

Expressway

83.1 高速道路への進入

オンランプで加速しながら前方とミラーを確認すること。安全に合流する責任はあなたにあります。早めに方向指示器を出し、新しい車線に入るまで点けたままにすること。車間距離を調整し、車線の標示内を保つこと。加速車線を使って高速道路の速度にできるだけ近づくこと。意図的に、かつ滑らかに合流すること。

- ✓ 安全に合流する責任はあなたにあり、優先権はありません。
- ✓ 早めに方向指示器を出し、新しい車線に入るまで消さないこと。
- ✓ 加速車線を使い、できるだけ高速道路の速度に近づくこと。
- ✓ 掲示されたランプの推奨速度を超えないこと。
- ✓ 急な横方向の動きを避け、意図的に、かつ滑らかに合流すること。

CHAPTER 84

Driving — Classes A and D: Starting and Moving

84.1 エンジン始動手順

始動するには：パーキングブレーキをかけ、クラッチを踏み、トランスミッションをニュートラルに入れ、電源を入れてスターターを作動させ、必要に応じてエンジン回転数を上げ、エンジン油圧が十分か確認します。エアブレーキ車両では、発進前にエア圧力計が十分な圧力を示し、警告ブザー/ランプが消えていなければなりません。

- ✓ 始動前にパーキングブレーキをかけ、クラッチを踏み、トランスミッションをニュートラルに入れる
- ✓ 始動後にエンジン油圧が十分か確認する
- ✓ エアブレーキ車両では、発進前にエア圧力が十分で、警告ブザー/ランプが消えていること

84.2 車両の発進

発進するときは、クラッチを徐々に放しながらハンドコントロールバルブまたはパーキングブレーキを解除し、一部の車両ではエンストを防ぐためにエンジン回転を徐々に上げます。発進後すぐに、少なくとも15 m（50 ft）以内でブレーキを点検してください。最も低い適切なギアで発進してください。

- ✓ クラッチを徐々に放しながらパーキングブレーキを解除し、エンジン回転を上げる
- ✓ 発進後、少なくとも15メートル（50フィート）以内にブレーキを点検する
- ✓ 最も低い適切なギアで発進する

84.3 トランスミッションとクラッチの操作

シフトパターンを熟知し、製造元のマニュアルを学習してください。クラッチを急に放してドライブラインに衝撃荷重をかけないでください。上り坂で重い荷物を積んでいる場合は、動力を徐々に加えてください。クラッチを過度に滑らせないでください（過熱／損傷）。クラッチブレーキ付きの場合、停車時以外はペダルを完全に踏み込まないでください。

- ✓ クラッチペダルを急に放してドライブラインに衝撃荷重をかけないでください
- ✓ クラッチを過度に滑らせないでください。過熱や損傷の原因になります
- ✓ クラッチブレーキ付きの場合、停車時以外はシフト時にペダルを完全に踏み込まないでください

84.4 アクスル間デフロックの使用

アクスル間デフロックは、タンデム後車軸を備えた車両で使用され、ロック位置とロック解除位置があるレバー/バルブで操作します。通常はロック解除位置にしておきます。車輪が滑る可能性がある状況に近づくときだけロックを使用してください。ロックは両方の車軸に動力を均等に伝達します。不要な使用（タイヤ摩耗、車軸への負担）は避け、車輪が実際に空転しているときは絶対に作動させないでください。

- ✓ 通常はアクスル間デフロックをロック解除位置にしておく
- ✓ 車輪が滑る可能性がある状況に近づくときだけロックを使用する
- ✓ 車輪が実際に空転しているときはデフロックを絶対に作動させない

CHAPTER 85

Brake Inspection and Use of Brakes

85.1 ブレーキの適切な使用

停止の初めには一定の圧力をかけ、車両が減速するにつれて圧力を緩め、停止直前に少しだけ緩めて衝撃を避け、その後再び圧力をかけて保持する。滑りやすい路面（限界ブレーキング）を除き、ブレーキをポンピングしてはいけない。ポンピングは空気圧を低下させ、乾燥した路面では意味がなく、長い下り坂でポンピングすると空気圧が必要最低値を下回る可能性がある。

- ✓ 一定の圧力をかけ、車両が減速するにつれて圧力を緩める
- ✓ 滑りやすい路面（限界ブレーキング）を除き、ブレーキをポンピングしてはいけない
- ✓ 長い下り坂でポンピングすると、必要な最低空気圧を下回る可能性がある

85.2 降坂時のブレーキングとエンジンブレーキ

長い下り坂では過度なブレーキ使用を避けてください。過熱したブレーキは危険なほど効きが悪くなります。長い勾配で速度を制御する主要な手段としてエンジンブレーキを使用してください。下るときは登るときと同じギアを使い、下る前にギアを選択してください。低空気圧警告が作動した場合は、直ちに最も安全な場所に停車し、損失を修正してから進んでください。

- ✓ 長い勾配で速度を制御する主要な手段としてエンジンブレーキを使用してください
- ✓ 勾配を下るときは登るときと同じギアを使用し、下る前に選択してください
- ✓ 低空気圧警告が作動した場合は、直ちに停車し、損失を修正してから進んでください

85.3 連結車両のブレーキとスキッドコントロール

トラックトラクターとセミトレーラーでは、フットバルブを介してトレーラーブレーキがトラックブレーキと同時に作動します（バランス制動、等圧）。トレーラーブレーキはハンドバルブを介して独立して作動します。濡れた路面やカーブでの過剰なブレーキは、スキッドやジャックナイフを引き起こします。トラクターがジャックナイフした場合（後輪が横に滑る）は、トレーラーブレーキのみを作動させます。トレーラーの後輪が横に滑る場合は、すべてのブレーキを解除し、徐々に加速します。

- ✓ バランス制動は、フットバルブを介してトレーラーとトラックに等しい圧力をかける
- ✓ トラクターがジャックナイフしている場合は、トレーラーブレーキのみを作動させる
- ✓ トレーラーの後輪が横に滑る場合は、すべてのブレーキを解除し、徐々にアクセルを踏む

85.4 スプリングブレーキとブレーキ故障

スプリングブレーキは駐車時およびサービスブレーキ故障時に作動し、空気圧が設定値（通常414 kPa／60 psi）を下回ると自動的に作動します。平坦な道路でブレーキが故障した場合は、シフトダウンしてエンジンブレーキを使用してください。より短い距離で停止する必要がある場合は、トラクター／トレーラーの非常ブレーキを使用してください。修理が完了するまで再び運転しないでください。

- ✓ 空気圧が約414 kPa（60 psi）を下回るとスプリングブレーキが自動的に作動する
- ✓ 平坦な道路でブレーキが故障した場合は、シフトダウンしてエンジンブレーキで減速する
- ✓ 修理が完了するまで車両を再び運転しない

85.5 油圧ブレーキ点検

パワーアシスト付き油圧ブレーキの場合：エンジンを停止した状態でペダルを数回踏み、アシストを除去してから、適度に踏み込み、エンジンを始動します（ペダルは少し下がって止まるはずです）。下がり続ける場合、または下がらない場合は、運行停止にして専門的に点検を受けてください。パワーアシストなしの場合：適度に踏み込んで保持します。ペダルが一定に下がる場合は、運行停止にしてください。

- ✓ パワーアシスト付きの場合、エンジン始動時にペダルは少し下がって止まるはずです
- ✓ ペダルが下がり続ける場合は、車両を運行停止にしなければなりません
- ✓ パワーアシストなしの場合、ペダルが一定に下がる場合は、車両を運行停止にしてください

CHAPTER 86

Roadside Stop/Start

86.1 路側停車

交通の流れを監視しながら接近し、適切なギアで徐々に減速し、方向指示器を出す（早すぎないように）。できるだけ右端に停車し、縁石と平行に、縁石に当たらない程度に近づける。パーキングブレーキをかけるまでサービスブレーキをかけ続け、方向指示器を消し、ハザードランプ（四方向フラッシャー）を点け、車両を固定する。

- ✓ 縁石/道路端に当たらないように、平行かつ近くに停車する
- ✓ パーキングブレーキを作動させるまでサービスブレーキをかけ続ける
- ✓ 方向指示器を消し、ハザードランプを点ける
- ✓ 車両が動かないように固定する

86.2 路肩発進

正しいギアに入れ、前進する前にブレーキを解除します。ハザードランプ（四方向フラッシャー）を消し、交通に知らせるために左折ウインカーを点け、走行車線に入ったらウインカーを消します。前方、左、右、ミラーを確認し、特に合流方向を確認してから、加速して適切に合流します。

- ✓ 前進する前に正しいギアに入れ、ブレーキを解除する
- ✓ フラッシャーを消して左折ウインカーを点ける。車線に入ったらウインカーを消す
- ✓ 前方、左、右、ミラーを確認する。特に合流方向を
- ✓ 交通の流れを妨げずに加速して合流する

CHAPTER 87

Roadside stop/start

87.1 路肩停車への接近と停止

路肩停車に接近するときは、交通の流れを監視し、適切なギアで徐々に減速し、適切なタイミングで合図を出します。できるだけ右側に寄せ、縁石にぶつけずに縁石と平行かつ近接して停止し、パーキングブレーキを設定するまでサービスブレーキをかけ続けます。方向指示器を消し、四方向ハザードランプを点灯させ、車両を固定します。

- ✓ 縁石にぶつけず、縁石と平行かつ近接して、迷惑を最小限にするようできるだけ右側に停車する
- ✓ パーキングブレーキが作動するまでサービスブレーキをかけ続ける
- ✓ 停止したら方向指示器を消して四方向ハザードランプを点灯させ、その後車両が動かないように固定する

87.2 路肩発進

発進するには、車両を正しいギアに入れ、前方に進む前にブレーキを解除します。四方向ハザードを消し、左折ウインカーを点けて周囲の交通に知らせ、走行車線に入ったら消します。合流する前と後に、前方、左、右、ミラーを確認します。

- ✓ 前方に進む前に、車両を正しいギアに入れ、ブレーキを解除する
- ✓ 四方向ハザードを消し、左折ウインカーを点け、走行車線に入ったら消す
- ✓ 特に合流する方向の交通を、前方、左、右、ミラーで確認する

CHAPTER 88

Parking and Stopping

88.1 駐車時の注意事項

駐車時に車両を固定するには：パーキングブレーキをかけ、片側または両側の後輪の前後に輪止め/ブロックを設置して車両を固定します。いかなる状況でも、運転者はトレーラーハンドバルブやトラクター保護バルブを使用して駐車中の車両を保持してはなりません。

- ✓ パーキングブレーキをかけ、後輪の前後に輪止めを設置する
- ✓ トレーラーハンドバルブやトラクター保護バルブを使用して駐車中の車両を保持してはならない

88.2 停止技術と位置取り

前方の停止地点を確認し、ミラーを確認し、早めにブレーキをかけ、滑らかに停止する。両方のペダルとも右足で操作する。すべての停止標識と赤信号では完全に停止すること。停止線がある場合は停止線で、なければ横断歩道で、なければ歩道の端で、なければ交差点の端で停止する。下り坂に入る前にシフトダウンし、下り坂でも上り坂と同じギアを使用する。

- ✓ 停止線、横断歩道、歩道の端、交差点の端の順で完全に停止すること
- ✓ 下り坂を開始する前にシフトダウンし、下り坂でも上り坂と同じギアを使用すること
- ✓ 速度が低下した状態で急な坂を上るときは、上っている間ずっと四方向ハザードランプを点滅させること

CHAPTER 89

Performance Categories

89.1 一般的な運転性能基準

道路試験全体を通して、観察、交通確認、車線使用、速度、車間距離、クラッチ/ギア使用、ブレーキ/アクセルの滑らかさ、ステアリング、方向指示器について採点されます。常にミラーを確認し、できるだけ右側の安全な車線を選び、滑らかに操作し、自動で戻らない方向指示器は手動で戻してください。

- ✓ 掲示された制限速度を超えず、制限速度の10 km/h以内で運転する
- ✓ できるだけ両手でハンドルを握る
- ✓ 駆動系の損傷を避けるため、常にクラッチを使用する
- ✓ 車間距離を調整し、あまり近づいて追い越さない
- ✓ ほとんどの商用車は方向指示器が自動で戻らないため、手動で戻す

89.2 交差点/鉄道踏切の交通確認

交差点や鉄道踏切に向かって走行している間は、ミラーを通して前方、側方、後方の交通を監視し、変化する状況を把握してください。

- ✓ 交差点/鉄道踏切付近では、ミラーを通して前方、側方、後方の交通を監視する
- ✓ 接近する車両や車両の動きを観察するために、常にミラーを監視する

CHAPTER 90

Performance categories

90.1 総合的な運転遂行の採点区分

試験全体を通して、運転者は観察、交差点・鉄道交通の確認、車線の使用、速度、車間距離、クラッチ・ギア、ブレーキ・アクセル、操舵、方向指示器によって採点されます。これらは商用車における継続的な状況認識、滑らかな操作、正しい合図を反映します。

- ✓ 接近する車両や車両の進行位置を確認するため、常にミラーを監視する。
- ✓ 掲示された制限速度の10 km/h以内で、制限速度を超えずに運転する。
- ✓ 駆動系への負担やギアの摩耗を避けるため、常にクラッチを適切に使用する。
- ✓ 操作装置の操作や変速時を除き、ハンドルを両手で握る。
- ✓ ほとんどの商用車の方向指示器は自動で解除されないため、手動で解除しなければならない。

CHAPTER 91

Stopping at Railway Crossings

91.1 踏切ルール

踏切は赤と白の「X」標識でマークされています。電車は完全な緊急制動下で最大2キロメートル進むことができてから停止します。速度を落とし、耳を傾け、両方向を確認してください。電車が来ている場合は、最も近いレールまたは遮断機から少なくとも5メートル離れた場所で停止してください。決して電車と競争しないでください。下降、降下中、または上昇している遮断機の周りを、下をくぐって、または通過して運転しないでください。また、線路上に停止しないでください。

- ✓ 電車が来ている場合は、最も近いレールまたは遮断機から少なくとも5メートル離れた場所で停止してください
- ✓ 下降、降下中、または上昇している鉄道遮断機の周りを、下をくぐって、または通過して決して運転しないでください
- ✓ 電車は完全な緊急制動下で最大2キロメートル進むことができてから停止します

91.2 バスおよびスクールバスの鉄道踏切での停車

バスおよびその他の公共車両は、遮断機、信号機、または一時停止標識で保護されていない鉄道踏切で停車しなければなりません。スクールバスは、保護の有無にかかわらず鉄道踏切で停車しなければなりませんが、これらの停車では上部の交互点滅赤色灯を使用してはいけません。これらのバスに注意し、その後方で停車できるよう準備してください。踏切内に閉じ込められた場合は、全員を車外の安全な場所へ退避させ、当局に連絡してください。

- ✓ スクールバスは、保護の有無にかかわらず、すべての鉄道踏切で停車しなければなりません
- ✓ スクールバスは、鉄道踏切で停車する際に上部の交互点滅赤色灯を使用してはいけません
- ✓ 踏切内に閉じ込められた場合は、直ちに全員を車外の安全な場所へ退避させてください

CHAPTER 92

High Occupancy Vehicle (HOV) Lanes

92.1 HOV車線における商用車

大型トラックは乗車人数にかかわらずHOV車線を通行できません。商用自動車は2人以上乗車し、全長6.5メートル未満でなければなりません。バスと緊急車両は乗車人数の規則が免除され、グリーンプレート車両は乗車人数を問わず対象となります。

- ✓ 大型トラックは乗員数にかかわらずHOV車線を通行できません
- ✓ 商用車は2人以上乗車し、全長6.5メートル未満でなければなりません
- ✓ バスは乗員数にかかわらずいつでもHOV車線を利用できます。緊急車両は免除されます

92.2 HOV車線の目的と規則

HOV車線は、より少ない車両でより多くの人を運び、排出ガスを削減し、燃料を節約します。HOV車線は24時間年中無休で運用され、条件を満たす車両に限定されています。車線は縞模様のバッファーゾーンで区切られており、これを横断することは違法で危険です。不適切な使用は違反切符の対象となることがあります。

- ✓ HOV車線は1日24時間、週7日利用できます
- ✓ 2人以上乗車の車両、バス、許可タクシー、グリーンプレート車、空港リムジン、自動二輪車、HOT許可証所持者、緊急車両専用です
- ✓ バッファーゾーンの縞模様の路面標示を横断することは違法で危険です
- ✓ 不適切な使用は違反切符の対象となることがあり、次の進入/退出ゾーンで一般車線に戻らなければなりません

92.3 HOVレーンの規則と制限

HOVレーンは、指定された乗車人数を満たす車両専用で、より多くの人を輸送しながら移動時間を短縮できます。大型トラックは乗車人数にかかわらず許可されません。このレーンは、横断することが違法で危険な縞模様の緩衝地帯によって分離されています。

- ✓ HOVレーンは週7日、24時間利用できます
- ✓ 大型トラックは乗車人数にかかわらずHOVレーンを利用できません
- ✓ 商用自動車は、HOVレーンを利用するには2人以上乗車し、長さ6.5メートル未満でなければなりません
- ✓ 縞模様の緩衝地帯を横断することは違法で危険です。不適切な利用は違反切符の対象となる場合があります
- ✓ バスと緊急車両は免除されます。緑色ナンバープレートの車両は乗車人数に関係なく利用できます

CHAPTER 93

Stopping at School Crossings and for School Buses

93.1 スクールバスのための停止

上部の赤色灯が交互に点滅している停車中のスクールバスに対しては、後方からであっても前方から対向してであっても停止しなければなりません。後方から接近する場合は、少なくとも20メートル離れた地点で停止してください。中央分離帯のある道路では、バスの後方にいる車両のみ停止しなければなりません。停止アームが格納され、赤色灯の点滅が止むまで停止したままでいてください。

- ✓ 上部の赤色灯が点滅しているスクールバスには、後方からであっても対向してであっても停止する
- ✓ 後方から接近する場合は、少なくとも20メートル離れて停止する
- ✓ 中央分離帯のある道路では、バスの後方にいる車両のみ停止しなければならない

93.2 スクールバスの罰則

赤色灯を点滅させて停車しているスクールバスのために停車しないことは違法です。初回違反は400ドルから2,000ドルの罰金および6点の減点、5年以内の2回目は1,000ドルから4,000ドル、6点の減点、および最長6か月の拘禁刑の可能性があります。運転者が起訴されない場合、登録所有者が罰金を科されることがあり、未払いの罰金は車両許可証の更新を妨げます。

- ✓ スクールバスのために停車しなかった初回違反：400ドルから2,000ドルの罰金および6点の減点
- ✓ 5年以内の2回目違反：1,000ドルから4,000ドル、6点の減点および拘禁刑の可能性
- ✓ 登録所有者は罰金を科されることがあり、未払いの罰金は車両許可証の更新を妨げます

93.3 学校横断歩道の交通指導員による停止

学校横断歩道の交通指導員が赤と白の停止標識を掲げている場所では、横断歩道の手前で停止し、指導員を含むすべての人が道路全体から離れるまで停止したままでいなければなりません。要件に従わない運転者は、多額の罰金と3点の減点を受けることがあります。

- ✓ 交通指導員の赤と白の停止標識で停止し、道路が空になるまで停止したままでいること
- ✓ 学校横断歩道の交通指導員に従わないと、罰金と3点の減点となることがあります

CHAPTER 94

Driving Efficiently - Smart Driving Practices

94.1 燃料効率の良い始動と暖機運転

燃料効率は点火時から始まります。スロットルを必要としないギアでゼロスロットルを使用し、スロットルをポンピングしないでください（燃料はあらかじめ計量されています）。エーテルは控えめに使用してください。3〜5分、0°C未満の場合は7〜10分、空ぶかしせずに暖機してください。オイルと空気の圧力が正常範囲内にあることを確認してください。

- ✓ ゼロスロットルで始動し、燃料を無駄にしシリンダー壁を損傷するためスロットルをポンピングしないでください
- ✓ 空ぶかしせずに3〜5分、0°C未満の場合は7〜10分暖機してください
- ✓ エンジンへの損傷を避けるため、エーテルは控えめに使用してください
- ✓ 始動時にオイルと空気の圧力が正常な動作範囲内にあることを確認してください

94.2 プログレッシブシフトと効率的な運転

ギアをスムーズに変速し（運行コストが約30%改善）、ギアの歯を保護するために常にクラッチを使用してください。ガバナ最高回転数に達する前に、1600 RPM付近でプログレッシブシフトを練習してください。低回転域を維持するために最も高いギアレンジで走行し、下り坂ではアクセルを緩めてください。

- ✓ トランスミッションのギアの歯の摩耗を避けるため、常にクラッチを使用してください
- ✓ ガバナ最高回転数に達する前に、約1600 RPMでプログレッシブシフトを練習してください
- ✓ 低回転域を維持するため、最も高いギアレンジでエンジンを回してください
- ✓ 下り坂ではアクセルを緩め、適切な場合はクルーズコントロールを使用してください

94.3 アイドリングと燃料消費のテクニック

少しの間でも停車したらエンジンを停止して、燃料を節約し、整備を減らし、エンジン寿命を延ばし、排出ガスを削減しましょう。アイドリング中のトラクター・トレーラーは900 RPMで1時間あたり最大4リットルの燃料を消費します。適切な始動、アイドリング管理、RPMを無駄にしない運転、プログレッシブ・シフトの使用、道路速度の管理を行いましょう。

- ✓ 少しの間でも停車したらエンジンを停止する
- ✓ アイドリング中のトラクター・トレーラーは900 RPMで1時間あたり最大4リットルの燃料を消費する
- ✓ 平均速度を下げ、プログレッシブ・シフトを使って燃料を節約する
- ✓ タイヤをメーカー推奨の空気圧に保つ — 10 psiの空気圧不足ごとに燃料の1%が無駄になる

CHAPTER 95

Driving efficiently

95.1 スマートな始動と暖機の実践

適切な暖機は部品を潤滑し、摩耗を減らします。スロットルを踏まない状態で、スロットルを必要としないギアで始動してください。燃料はあらかじめ計量されているため、スロットルをポンピングしないでください。エーテルは控えめに使用してください。エンジンをふかさずに徐々に暖機し、油圧と空気圧が正常範囲内にあることを確認してください。

- ✓ スロットルを必要としないギアで、スロットルを一切踏まずに始動してください。スロットルをポンピングしないでください。
- ✓ エンジンをふかさずに3〜5分、0°C未満の場合は7〜10分暖機してください。
- ✓ 始動時に油圧と空気圧が正常な運転範囲内にあることを確認してください。

95.2 燃料効率的な運転技術

約1600RPMでスムーズに変速し、段階的シフトを使用して、摩耗、騒音、燃料消費を削減してください。常にクラッチを使用し、低RPMのため最高ギアレンジで走行し、下り坂では速度を落とし、適切な場合はクルーズコントロールを使用し、停止中はエンジンを切ってください。

- ✓ 約1600RPMで段階的ギアシフトを練習し、最大制限RPM前に変速してください
- ✓ トランスミッション歯車の摩耗を防ぐため、常にクラッチを使用してください
- ✓ 燃料を節約し、排出ガスを減らすため、停止中はエンジンを切ってください
- ✓ プロフェッショナルなシフト操作は運営コストを約30%改善できます

95.3 燃費効率の事実（グリーンスマーツ）

経路と車両の設定は燃料使用量に大きく影響します。平坦な多車線高速道路、適切なタイヤ空気圧、速度抑制、制御されたアイドリングはすべて燃料を節約します。受験者はグリーンスマーツのクイズで出題される具体的な数値を知っておく必要があります。

- ✓ 雪に覆われた道路では、燃料消費が15〜20%増加する可能性があります。
- ✓ タイヤはメーカーの推奨空気圧まで空気を入れます。空気圧が10 psi不足するごとに燃料の1%が無駄になります。
- ✓ アイドリング中のトラクター・トレーラーは、900 RPMで1時間あたり最大4リットルの燃料を消費します。
- ✓ 新型ディーゼルエンジン：約1200 RPMでシフトダウンし、約1600 RPMでシフトアップします。
- ✓ 平均速度を下げることと空気抵抗を10%減らすことは、それぞれ燃費効率を約5%改善できます。

CHAPTER 96

Stopping for Pedestrian Crossovers

96.1 歩行者クロスオーバー規則

歩行者クロスオーバーは、信号機がない場所で歩行者が横断できるようにするもので、上部に黄色の点滅灯が付いている場合もあります。運転者（自転車運転者を含む）は停止して歩行者が横断できるようにし、歩行者と交通指導員が安全に歩道に移動した後にのみ進行しなければなりません。クロスオーバーから30メートル以内ではいかなる車両も追い越してはならず、歩行者のために停止した車両を決して追い越してはなりません。

- ✓ 歩行者クロスオーバーでは、停止して歩行者が完全に横断するまで待ってから進行すること
- ✓ 歩行者クロスオーバーから30メートル以内では、いかなる車両も追い越してはならない
- ✓ 歩行者が横断できるように停止した車両を決して追い越してはならない

CHAPTER 97

Mandatory Vehicle Branding Program

97.1 車両ブランドとプログラム

保険業者、自己保険者、競売人、輸入業者および解体業者が中古車両を所持する場合、深刻な損傷または全損車両にブランド表示が必要かどうかを判断し、運輸省に通知する必要があります。ブランドはライセンス、抜粋およびUVIPに表示され、中古車購入者を保護します。4つのブランドがあります：なし、修復不可能、解体および再構築。

- ✓ 修復不可能：損傷が非常に深刻で、車両は部品/スクラップにのみ使用でき、オンタリオで運転することはできません
- ✓ 解体：車両は修理・再構築される可能性がありますが、再構築されるまで運転に適した状態として登録することはできません
- ✓ 再構築：以前は解体され、再構築され、構造検査に合格しました。安全基準証明書に合格した場合、運転に適した状態として登録可能です
- ✓ 廃棄されたオートバイは修復不可能としてブランド表示される必要があり、解体としてブランド表示されることはできません
- ✓ トレーラー、農用トラクター、モペッド、動力除雪車両、路面電車および1980年以前の車両は除外されます

97.2 車両ブランドとプログラム要件

保険会社、車両保有者、オークション業者、輸入業者、サルベージ業者は、深刻な損傷を受けた車両または全損扱いの車両にブランドを付けるべきか判断し、オンタリオ州交通省に通知しなければなりません。ブランドは許可証、車両アブストラクト、UVIP に表示され、中古車購入者を保護します。4つのブランドがあります：None、Irreparable、Salvage、Rebuilt。

- ✓ Irreparable: 損傷が非常に深刻で、部品またはスクラップとしてのみ使用でき、オンタリオ州では決して運転できません。
- ✓ Salvage: 修理または再構築が可能ですが、検査に合格するまで運転に適した車両として登録することはできません。
- ✓ Rebuilt: 以前に Salvage だった車両で構造検査に合格したものであり、安全検査に合格すれば運転に適した車両として登録できます。
- ✓ 全損となったオートバイは Irreparable のブランドを付けなければならず、Salvage のブランドを付けることはできません。
- ✓ トレーラー、農用トラクター、モペット、雪上車、路面電車、および 1980 年モデル以前の車両は免除されます。

CHAPTER 98

Clearances, Turns and Steering

98.1 曲がり角とカーブでのオフトラッキング

後輪は操向せず、前輪よりも短い経路（オフトラック）をたどります。ホイールベースが長いほど、オフトラックは大きくなります。カーブの急さとオフトラックに応じて旋回軌道を先に取ってください。右カーブでは前輪を車線の左寄りに保つ必要があり、左カーブでは前輪を右端寄りに保ち、後輪が対向車線にはみ出さないようにする必要があります。

- ✓ 後輪は前輪よりも短い経路（オフトラック）をたどる
- ✓ ホイールベースが長いほど、オフトラックの量は大きくなる
- ✓ 右カーブでは前輪を左に、左カーブでは前輪を右に保ち、オフトラックを制御する

98.2 車両のクリアランス

車両の高さと幅を把握し、橋やアンダーパス（地下道）の高さ制限標識に従ってください。オンタリオ州の車両最高高さは4.15メートルです。道路補修、悪路、氷、洪水により、通常は十分なクリアランスが減少する可能性があることを忘れないでください。危険な状況では標識に従い、特定の高速道路、時間帯、曜日のトラック禁止にも従ってください。

- ✓ オンタリオ州の車両最高高さは4.15メートルです
- ✓ 橋やアンダーパス（地下道）の高さ制限標識に従ってください
- ✓ 道路補修、氷、洪水により、通常は十分なクリアランスが減少する可能性があります